

ORIGAMI

TANTEIDAN

折紙探偵団

M A G A Z I N E

定価 600円

イベント情報

前川折り鶴コレクション展 in おりがみはうす

Maekawa's Orizuru (Crane) Goods Exhibition at Origami House



クローズアップ Close-up : What Diagrams Tell You

折り図表現について 小松英夫 Komatsu Hideo

折り図 トリケラトプス Triceratops 高井弘明 Model & Diagrams by Takai Hiroaki

展開図折りに挑戦! ひつじ Sheep 西川誠司 Nishikawa Seiji

好評連載

Tomoko in the Box : Fuse Tomoko / Tomoko's Shikishi-Hyakka : Tanaka Tomoko / Let's Enjoy Math through Origamics : Haga Kazuo /
 Tomokoのびっくり箱:布施知子/ともこさんの色紙百花:田中具子/数理を楽しむオリガミクス
 Takagi Satoshi's the Origami Reference Room : Takagi Satoshi/ Still Yet Another Series of Origami Sampo: Maekawa Jun
 :芳賀和夫/高木智の折り紙資料館:高木 智/まだまだ折紙散歩:前川 淳

 通巻 **78** 号

日本折紙学会 (JOAS) の理念

The Purpose of Japan Origami Academic Society

第一章 名称と目的

第一条 会の名称

1. 本会の名称は日本折紙学会とする。
2. 本会の英語での名称は、Japan Origami Academic Societyとする。
3. 本会の略称は、JOASとする。

第二条 会の目的

1. 本会は、折り紙の専門研究と折り紙の普及の促進、ならびに、それらを通しての広く国内、外の折り紙愛好家との交流の促進を目的とする。
2. 第一項の折り紙の専門研究とは、折り紙の創作、折り紙の創作技術の研究、折り紙に関する批評・評論、数学研究、教育研究、歴史・書誌研究、先取権の研究、工学・商業デザインの研究等を意味する。
3. 第一項の折り紙の普及とは、折り紙の社会的認知度の向上活動、折り紙愛好者層の拡大活動、折り紙に関する人材の育成と発掘等を意味する。

規約第1章より抜粋

Chapter 1: Name and Purpose

Article 1: Name

1. This society is to be called Nihon Origami Gakkai in Japanese.
2. This society is to be called Japan Origami Academic Society in English.
3. The abbreviated name of this society is JOAS.

Article 2: Purpose

1. The purpose of JOAS is to promote studies of origami, diffusion of origami, and both domestic and international association of all origami-lovers.
2. The studies of origami mentioned above includes designing, designing techniques, criticism, mathematical studies, educational studies, history, bibliography, studies on the preferential right, studies of industrial and commercial design, and so on.
3. The diffusion of origami mentioned above includes widening appreciation of origami, expansion of the community of origami-lovers, scouting and rearing the origami talent, and so on.

●折り方の約束記号 SYMBOL FOR FOLDING

谷折り線
Line indicating
valley fold.

山折り線
Line indicating
mountain fold.

手前に折る
Fold forward.

後ろへ折る
Fold backward.

折り筋を
つける
Fold and unfold.

段折り
Pleat.

裏返す
Turn over.

引き出す
Pull out flap.

図の見る
位置が変わる
Rotate.

図が
大きくなる
Diagram enlarged.

見えない
ところ
X-ray.

押す、
押しつぶす
Push here.

切る
Cut.

表紙作品解説

六角箱^{プラス}シリーズ
作:布施知子 (P.4)

Hexagonal Boxes with Another Angle
Fuse Tomoko (P.4)

■惜しまれつつ最終回を迎える「びっくり箱」シリーズ。作例は張りつつやのある用紙で制作され、硬質な漆器のようなイメージに仕上がっています。ひたすら丁寧な作業こそがユニット上達の近道、好きな紙を選んでじっくり取り組んでみましょう。

(解説: 北條高史) Comments: Hojyo Takashi

No. 78

C O N T E N T S

■ 好評連載陣

Series

Tomokoのびっくり箱 最終回 4

Tomoko in the Box

六角箱^{プラス}シリーズ

A Hexagonal Box with Another Angle

布施知子 Fuse Tomoko

ともこさんの色紙百花 最終回 8

Tomoko's Shikishi-hyakka

クレマチス Clematises

田中具子 Tanaka Tomoko

数理を楽しむオリガミクス 14

Let's Enjoy Math through Origamics

折り紙錬金術

Origami alchemy

芳賀和夫 Haga Kazuo

高木 智の折り紙資料館 16

Takagi Satoshi's the Origami Reference Room

「誹諧七福神之内 寿老人(三代目豊国画)」と
「女用教訓 繪本花之宴」(深藏作、西川祐尹画)

Jurojin the God of Longevity in "Seven Gods of Luck with a Poem" by Toyokuni III (Kunisada) and "Ehon Hana no En" Written by Shinzo and Painting by Nishikawa Suketada

高木 智 Takagi Satoshi

まだまだ折紙散歩 18

Still Yet Another Series of Origami Sampo (Origami Walk)

銀座でお買い物

Shopping in Ginza

前川 淳 Maekawa Jun

■ カラーページ

ORIGAMI PHOTO GALLERY 20

解説・北條高史 Comments: Hojyo Takashi

■ クローズアップ

Close-up

折り図表現について 11

What Diagrams Tell You

小松英夫 Komatsu Hideo

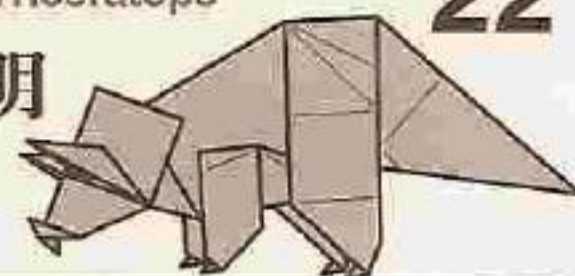
■ 折り図

Diagrams

トリケラトプス Triceratops 22

作・折り図: 高井弘明

Model and Diagrams
by Takai Hiroaki



イクチオサウルス 30

Ichthyosaur

作・折り図: 山田勝久

Model and Diagrams by Yamada Katsuhisa

展開図折りに挑戦! 34

Crease Pattern Challenge

ひつじ Sheep

西川誠司 Nishikawa Seiji

■ エッセイ・コラム

Essay & Column

おりすじ 磯村 浩 33

Orisuji ("Fold-Creases") Isomura Hiroshi

■ インフォメーション

日本折紙学会 (JOAS) 35

13期報告と14期予定

FROM the Board of JOAS (Summary)

つまみおり Rabbit Ear (Information) 36

・「復活「私の秘密」」に出演

Report on an NHK TV program "My Secret"

・神谷哲史氏3連覇! 第5回TVチャンピオン折り紙王選手権

Behind the Scenes of TV Champion "Origami King Tournament"

・前川折り鶴コレクション展 in おりがみはうす

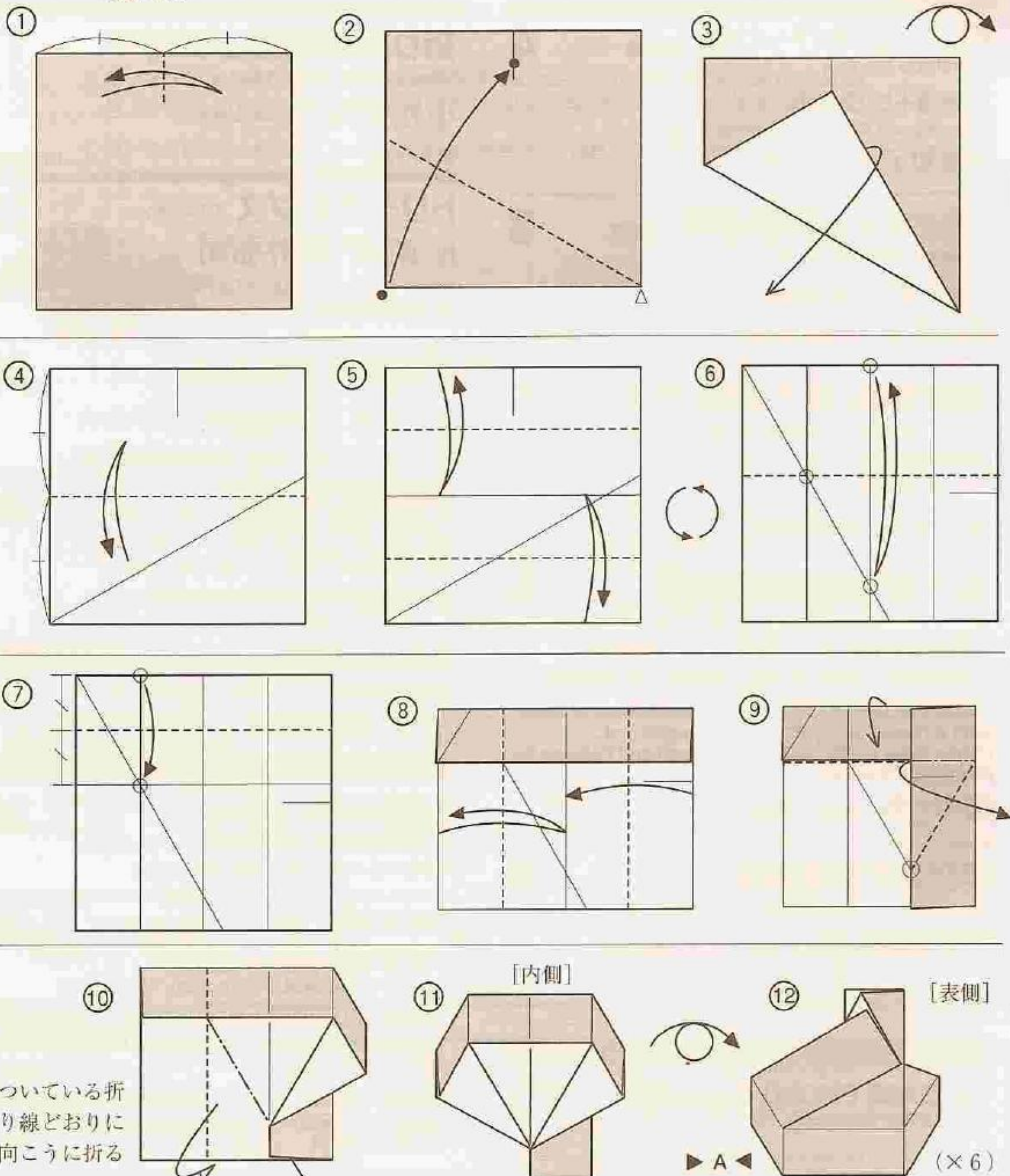
Maekawa's Orizuru (Crane) Goods Exhibition at Origami House

六角箱・+シリーズ

箱でふたを開けた連載の最終回は、やはり箱でふたを閉じることにしましょう。16回の「五角箱」と同じシリーズで、基本線は正方形に田の字につきます。いろいろなバリエーションが可能です。市販のおりがみを使うときは、15cm角ではおおぶりの出来上がりになるので、紙の厚さと強度を考えると、12cm角くらいがよいでしょう。

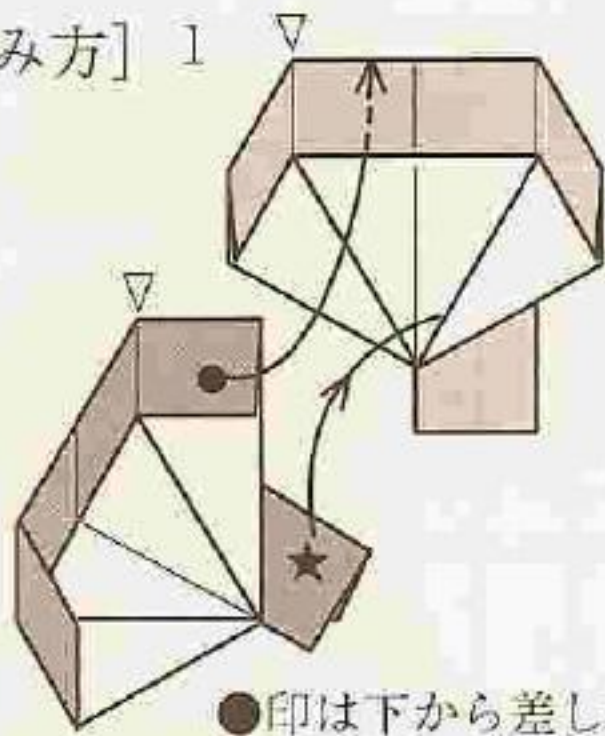


ふた



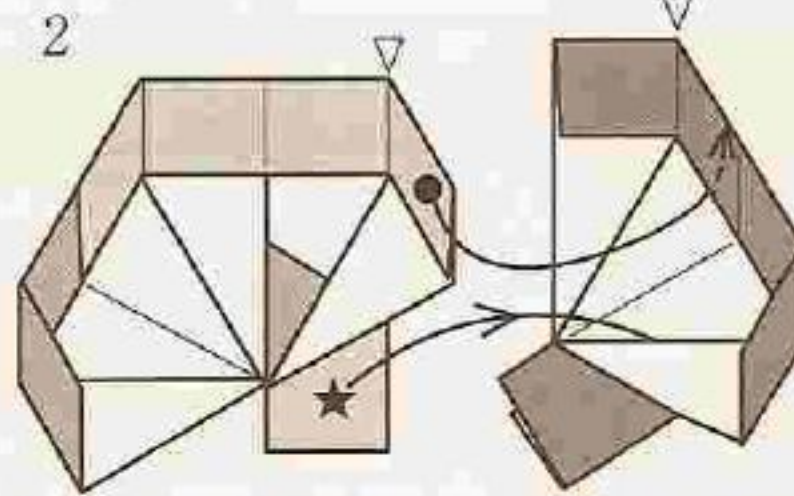
ついている折り線どおりに向こうに折る

[組み方] 1

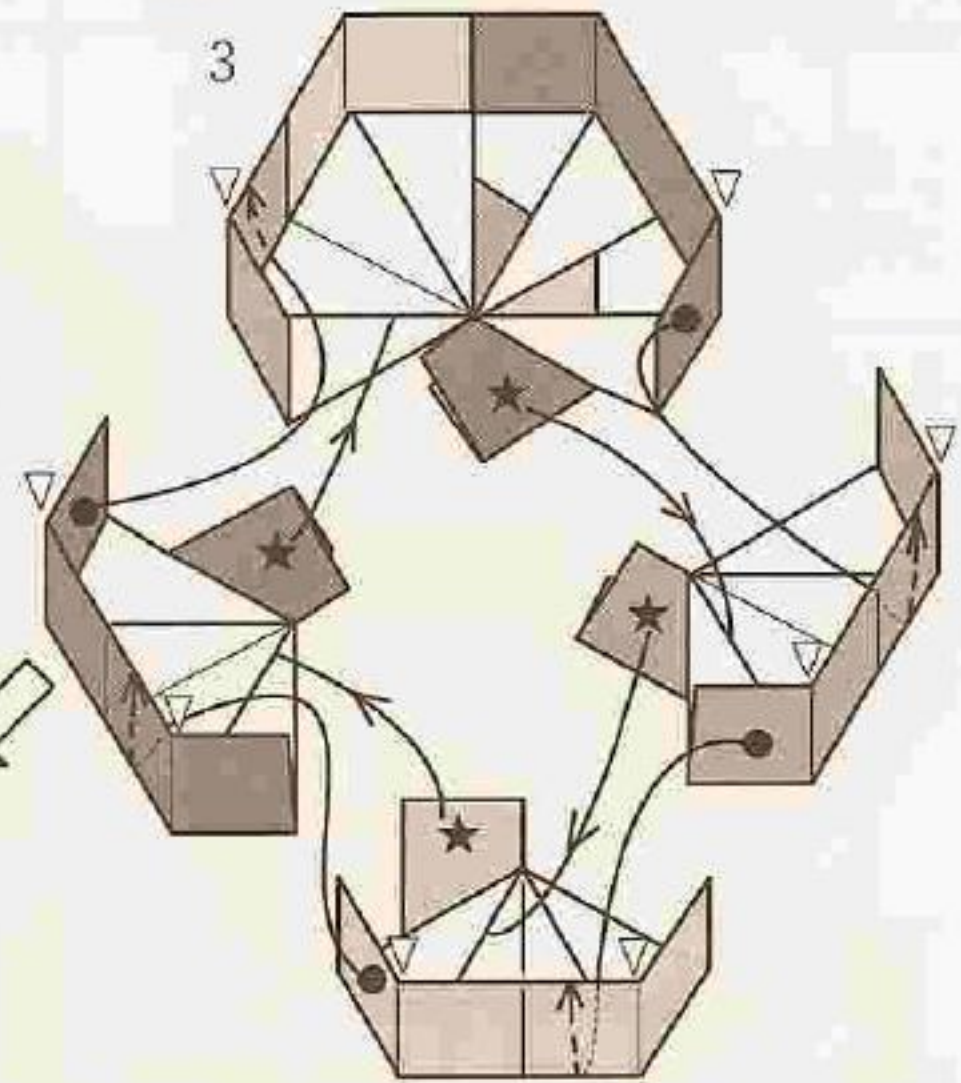


●印は下から差し込んで、
△印を合わせて、フック
のように引っ掛ける
★印は中へ

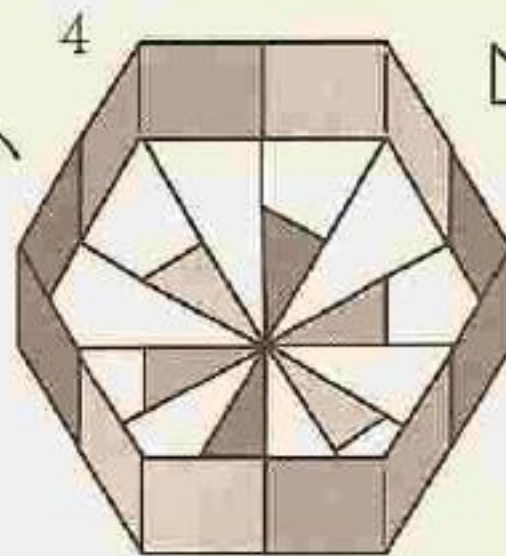
2



3

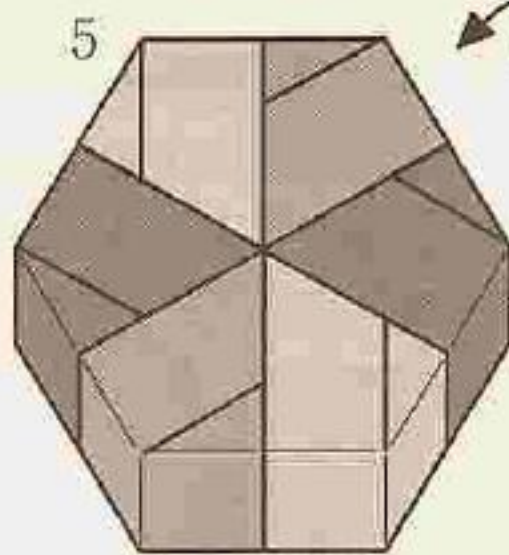


4



[内側]

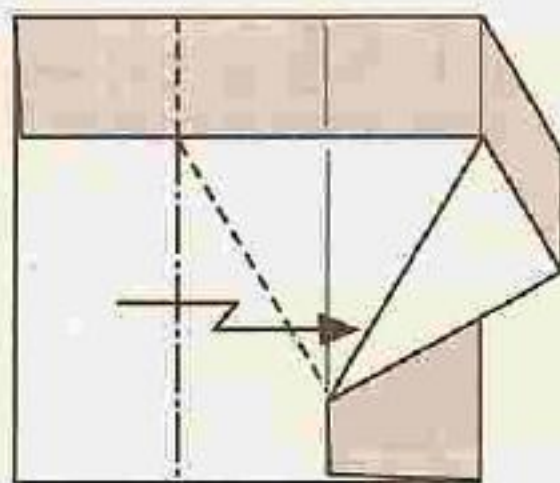
5



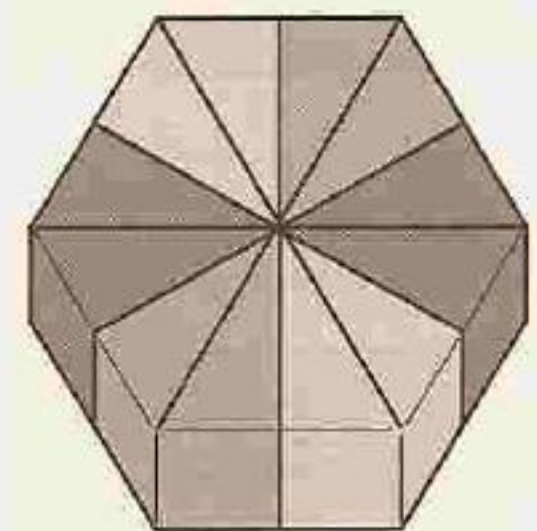
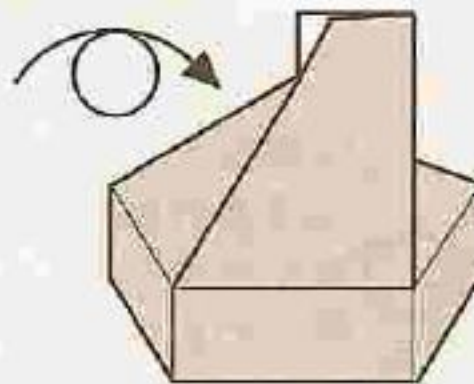
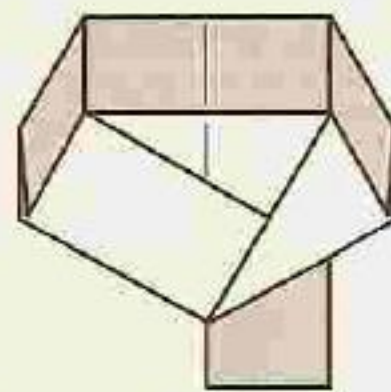
[表側]

同じ要領で6枚を組んでいく。
最後はふちをいったん上に開い
て差し込むとよい。
中心のまとめは、6枚を組んで
からやり直すときれいにいく。

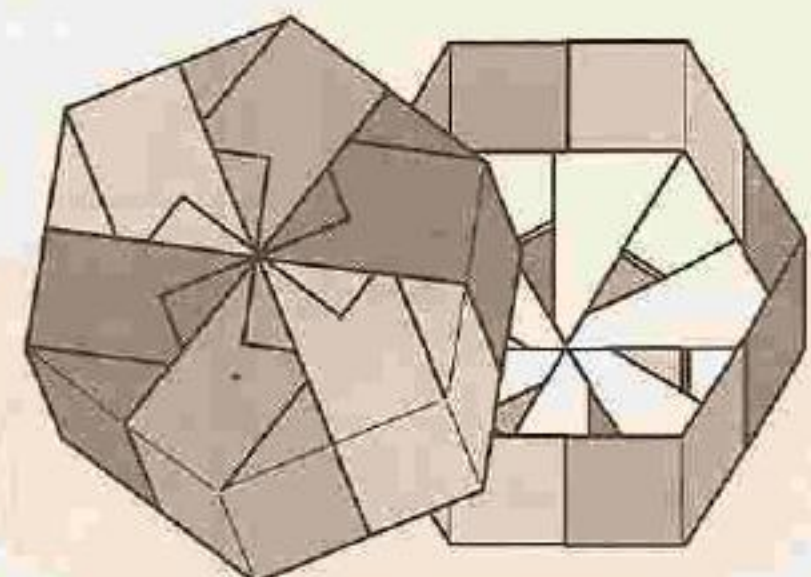
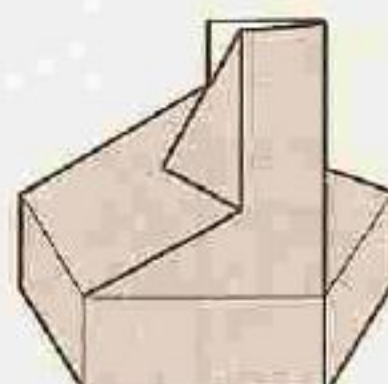
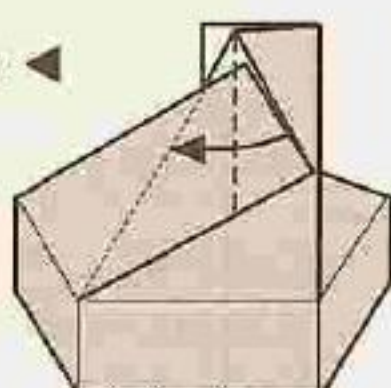
▶ B ◀



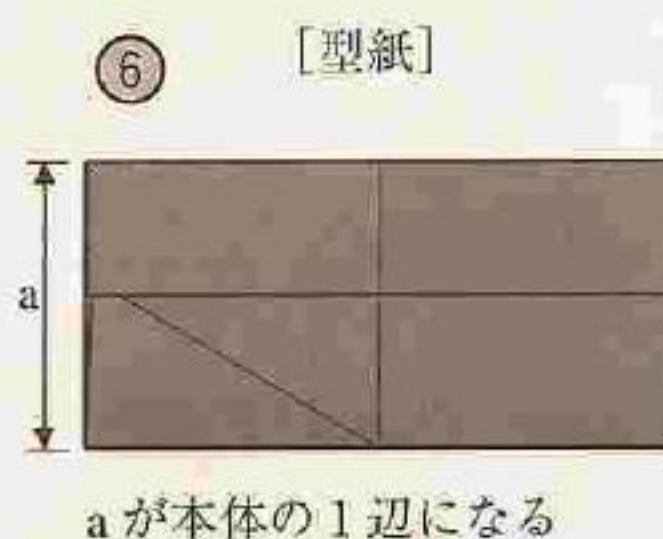
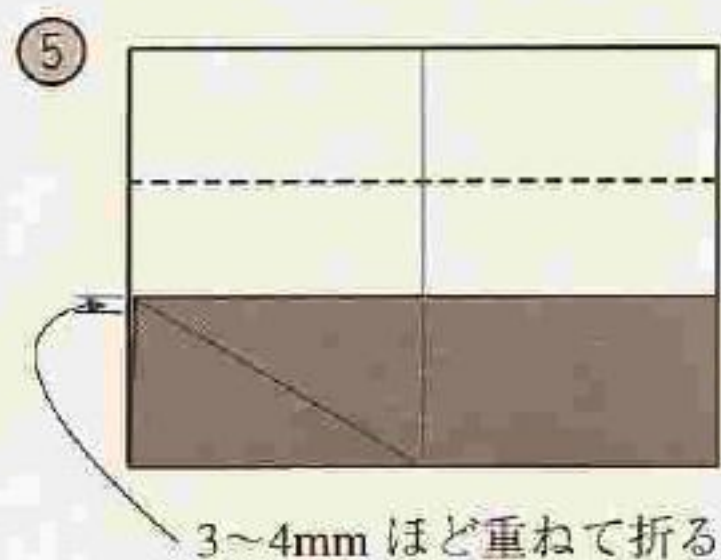
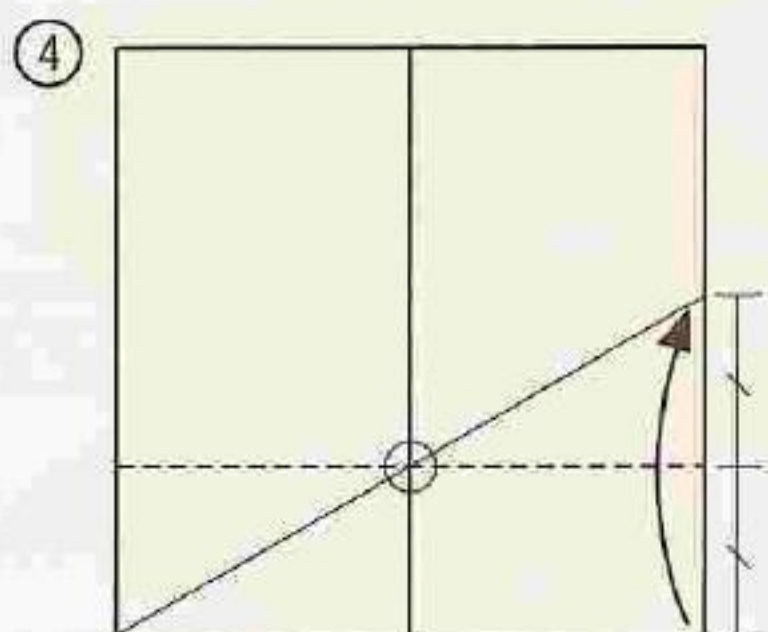
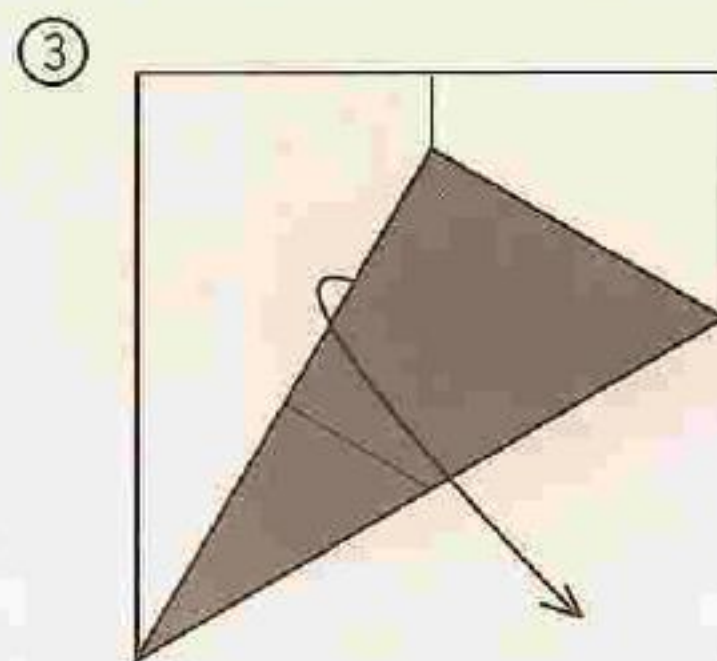
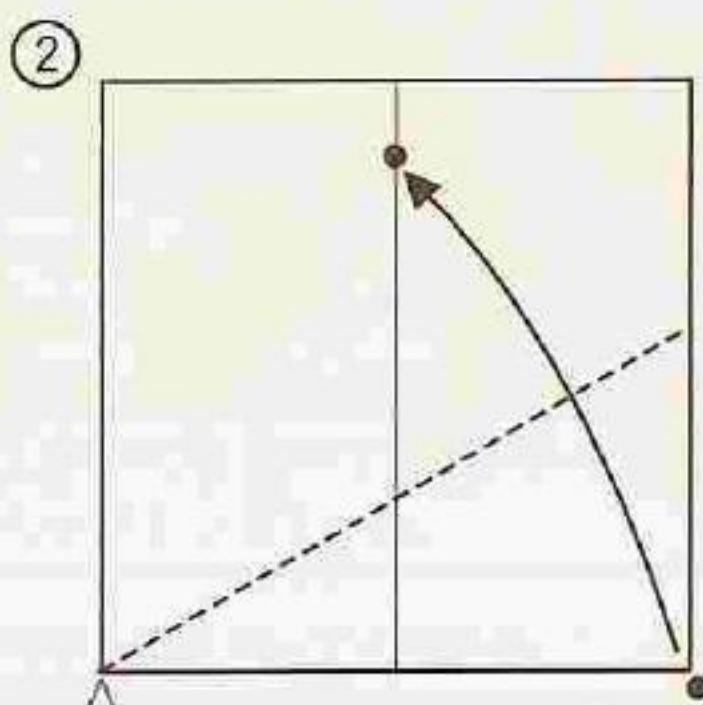
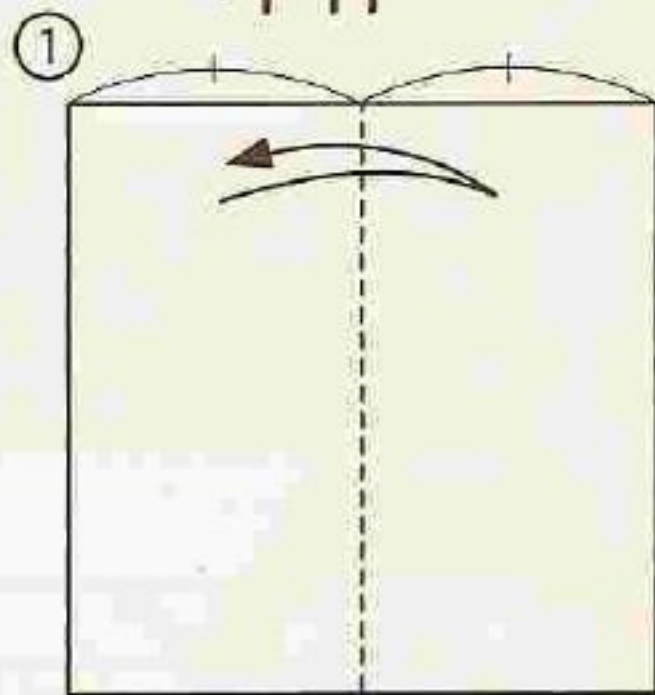
ひだを寄せて折り、中にしまう



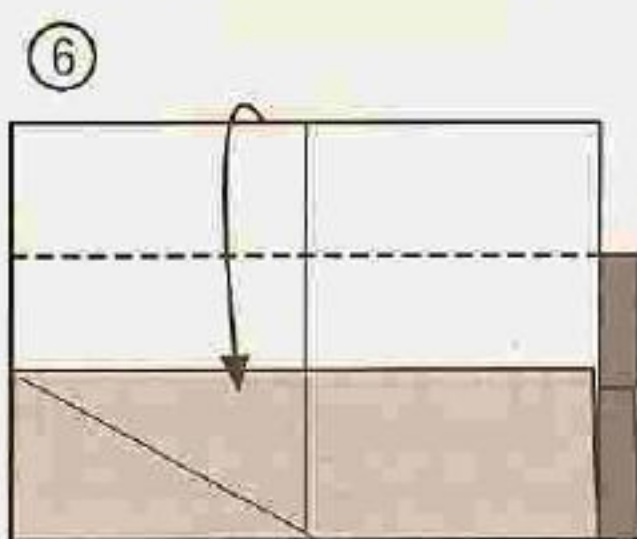
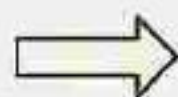
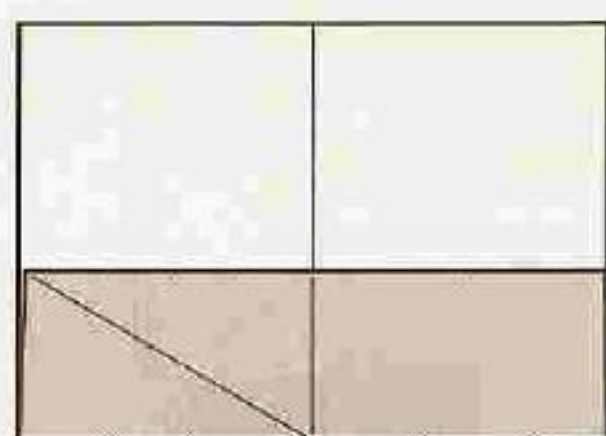
▶ C ◀



本体

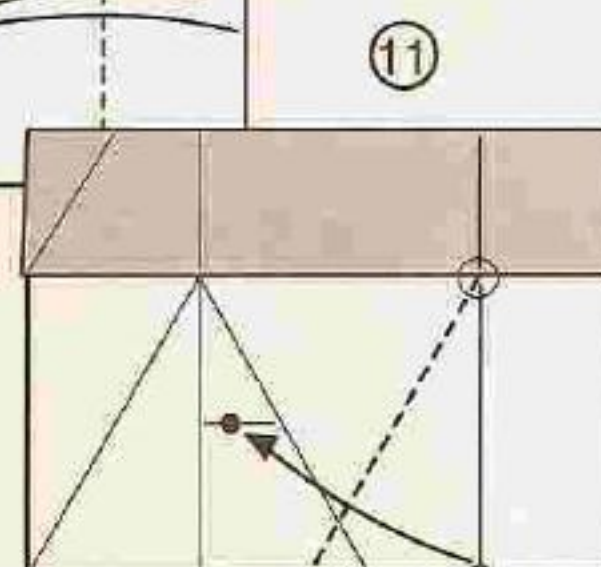
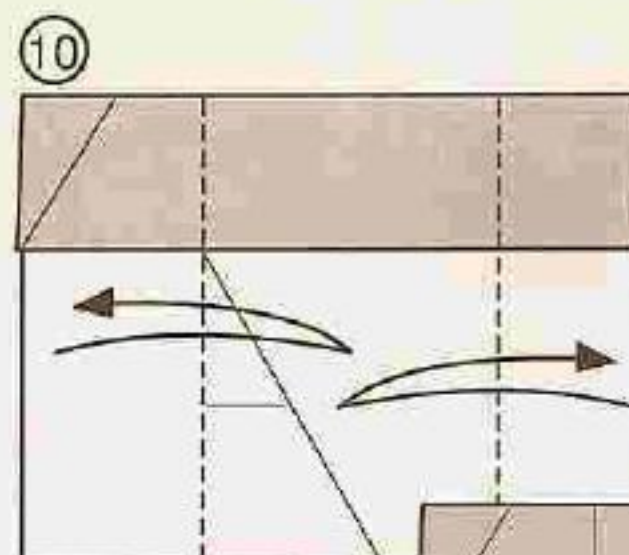
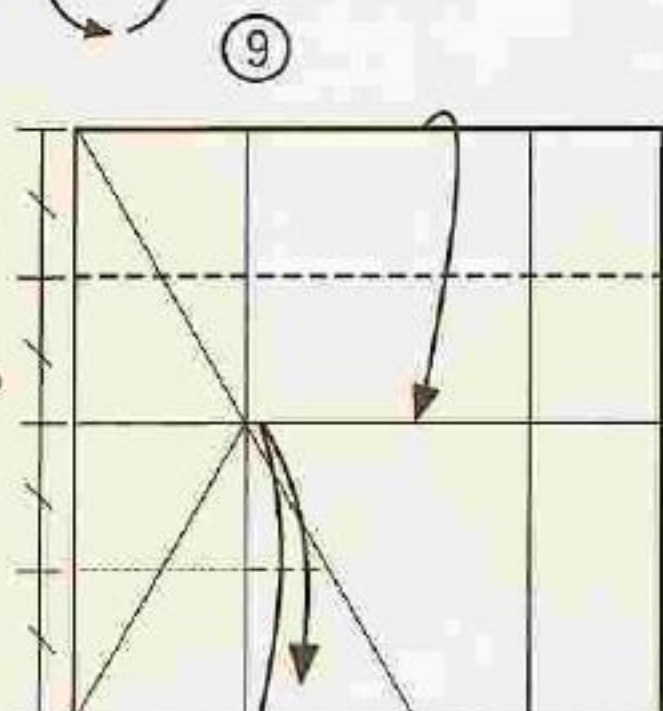
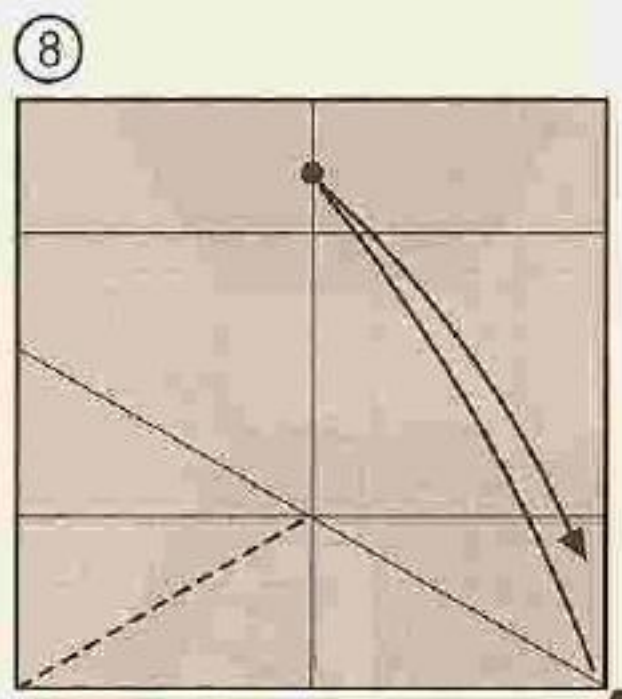
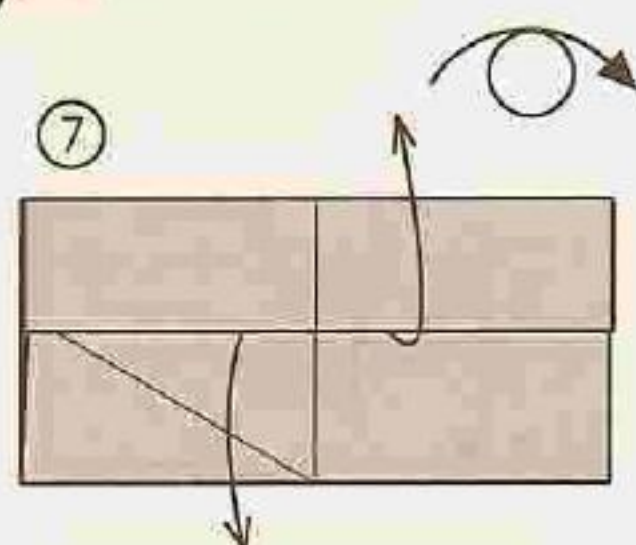


⑤まで折ったものを
型紙の上に重ねる

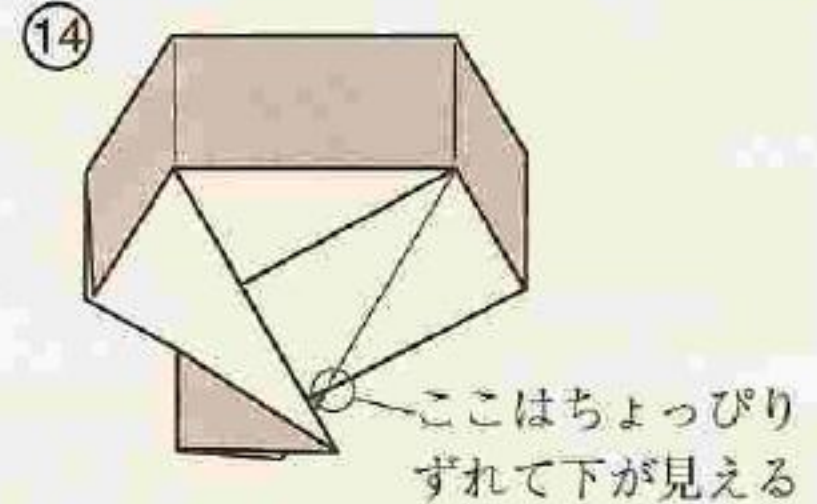
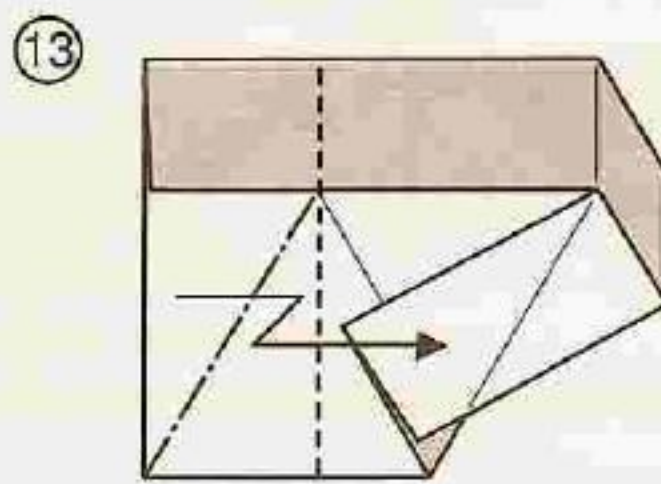
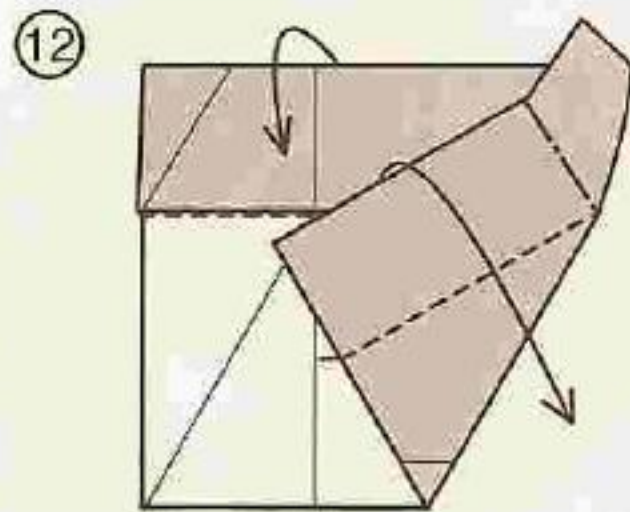


型紙に寸法を合わせて折る

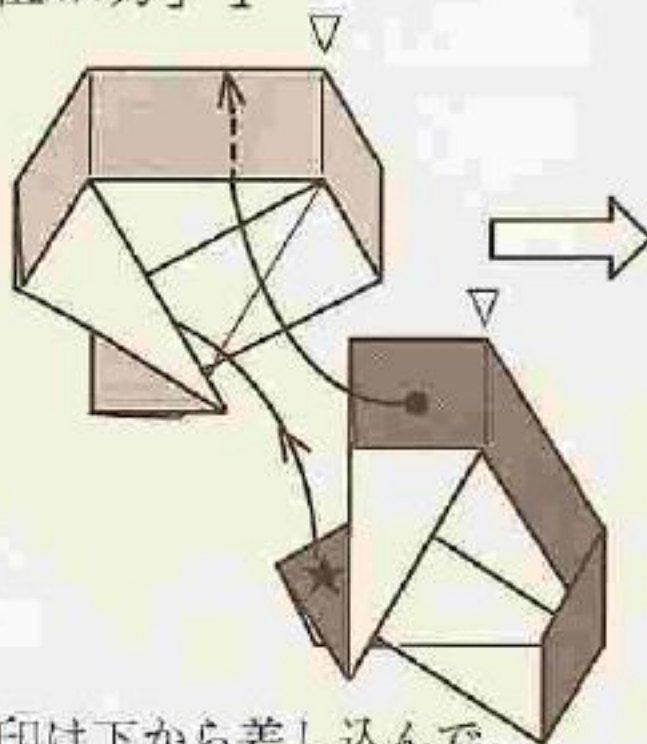
下へ



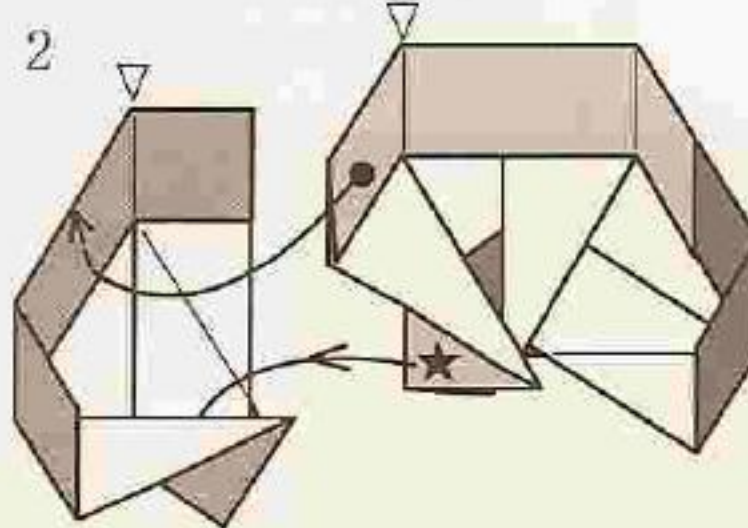
●印を合わせて○印まで折る



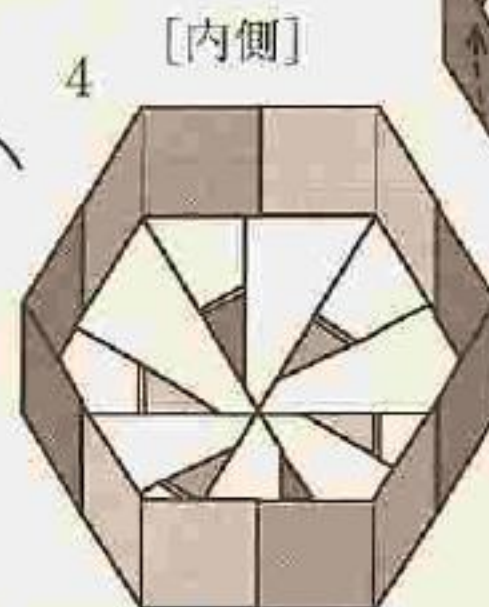
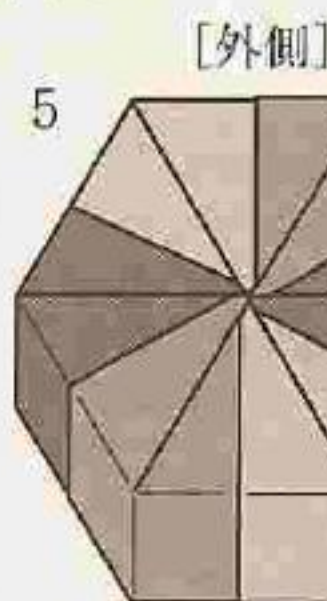
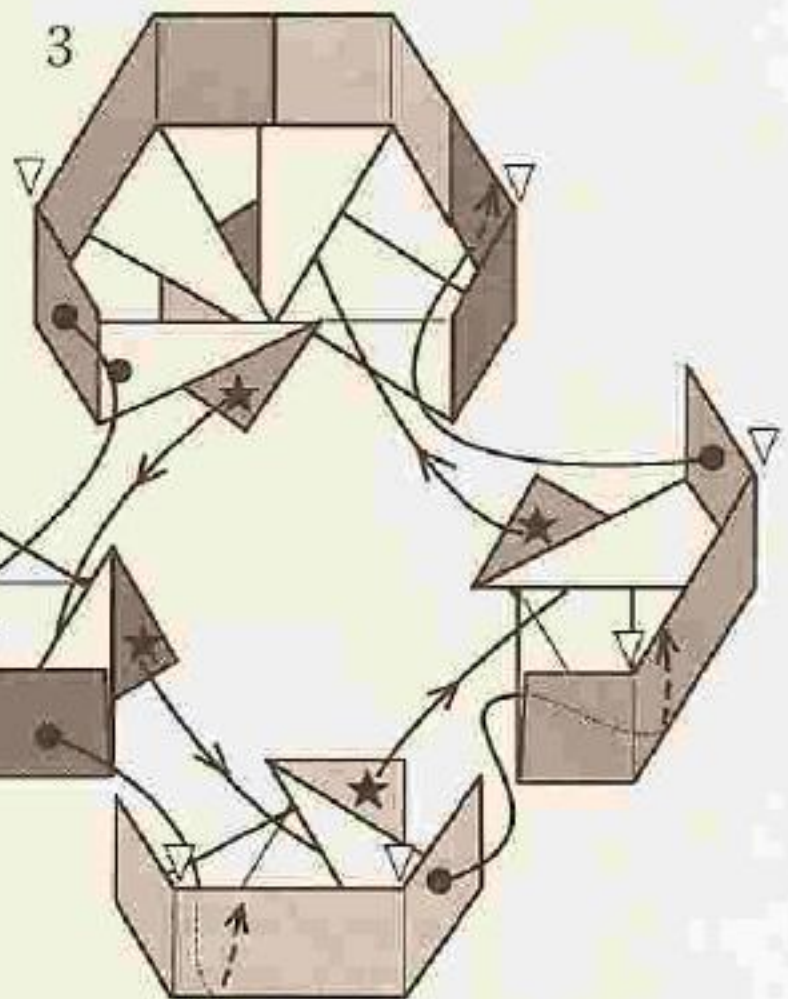
[組み方] 1



●印は下から差し込んで、
△印を合わせて、フック
のように引っ掛ける
★印は中へ



同じ要領で6枚を組んでいく。
最後はふちをいったん上に開い
て差し込むとよい。
中心のまとめは、6枚を組んで
からやり直すときれいにいく。



ショートエッセイ「福寿草が咲くまで」

庭の福寿草が咲くまで、と思ってこの冬は少々手間のかかる、根気のいる作品に取り組んでいる。

ひと所にじっと腰を据えて何かに集中するのに、冬は適している。大気がぴりぴりに冷えて窓ガラスに氷の華が咲き、道も吐息も凍りつき、寒さが厳しければ厳しいほど。

またもうひとつには、この頃、仕事の注文は、だれでも折れる簡単なものを中心に、というのが多く、それはそれですっかり楽しんで作るのだけれど、続くと反動で口直しがしたくなる。

一枚折りありユニットあり。平面あり立体あり。ありがたいことに折り紙はさまざまな手立てがある。そこをあちこち飛んで、空気を入れ替

え気分転換をする。

私には「折る」ということ以外に、はさみを入れることや用紙の数形についてかくあるべし、というきまりや信念がないので、面白い方へ、興味が湧いた方へとずんずんずれていく。本当はもっとずれてとんでもない方へ行きたいのだけれど、長年折り紙をやりすぎたようで、どうも折り紙っぽさから抜けきれない。紙に向かうと、すぐに発想が折り紙になっている。

紙に1本の線を折る意味を研ぎ出したい。少なくとも、そう思い続けることだけはやっていこう。

寒さは行きつ戻りつしているが、日差しはずいぶん高くなった。夜半

タロ氏が呼ぶので、襟を搔き合わせて外に出ると、東の空の低いところに牛飼座のアークトゥルスが歌でも歌うようにまたたいていた。ひとときわ明るい橙色。春の兆し。再び時がめぐったことに感慨を持つ。

年令の数だけの春が堆積していく。時の質と感覚が変わっていく。それを豊穡と言い換えたくない。どこかが鈍くなっている。

紙は十分ある。福寿草が咲くまで、この作業を続けよう。

福寿草が咲いたら、日だまりで伸びをして、冬をふるい落として、新しい靴をはこう。

ももこさんの 色紙 百花

クレマチス Clematises

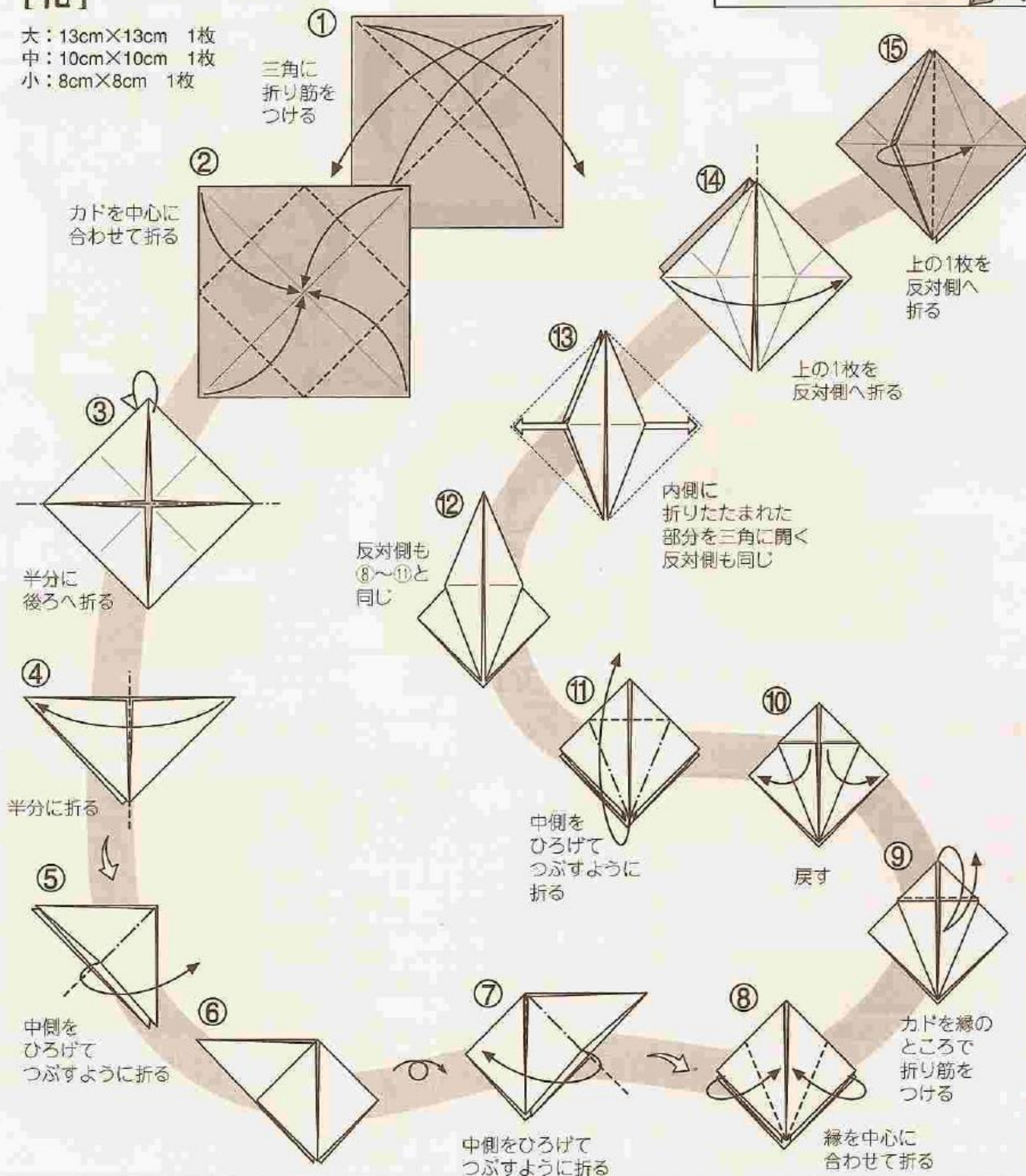
田中具子
Tanaka Tomoko

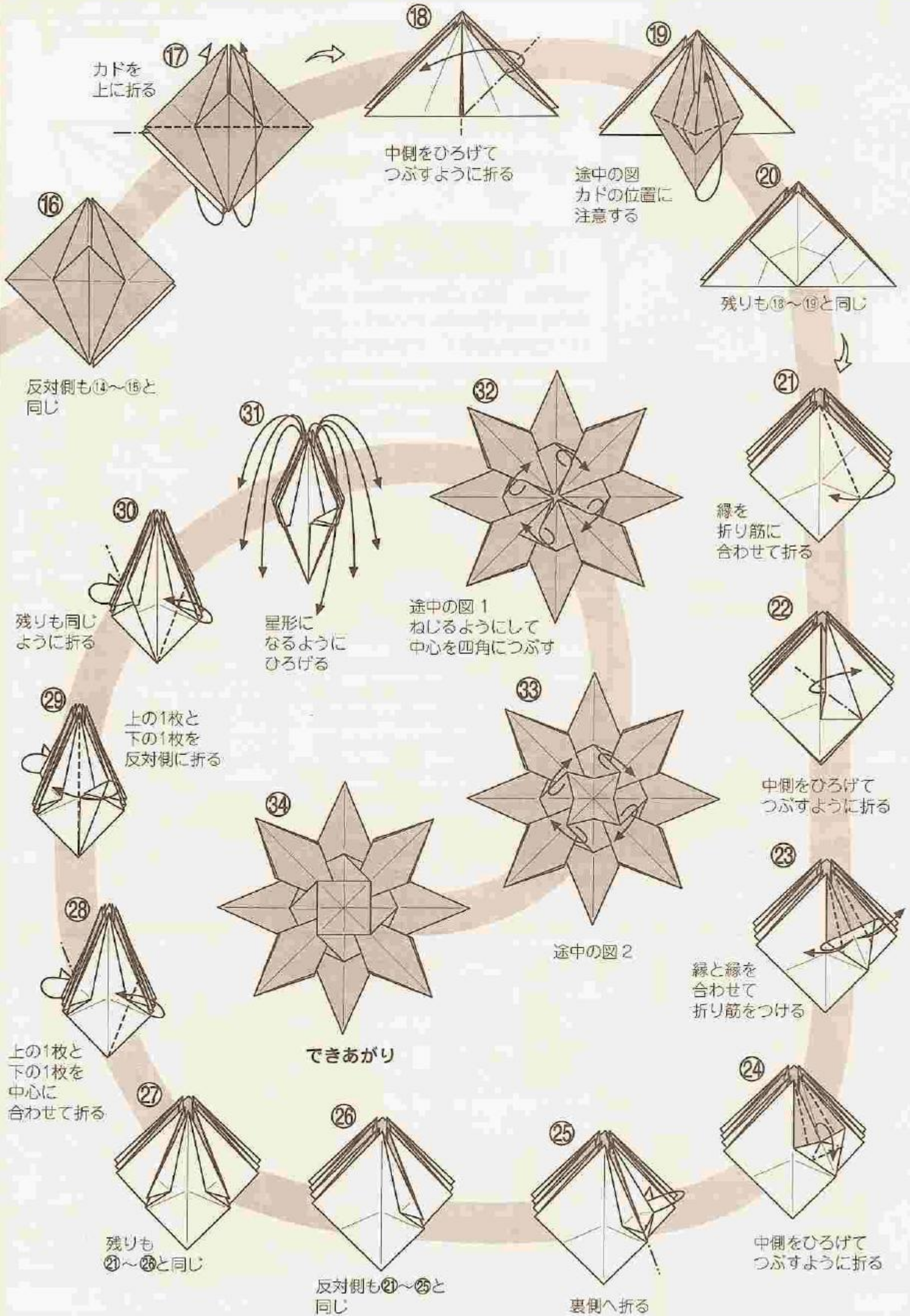


⑫から重なりが多くなってきます。折るときに紙がずれないように注意しながら折りましょう。

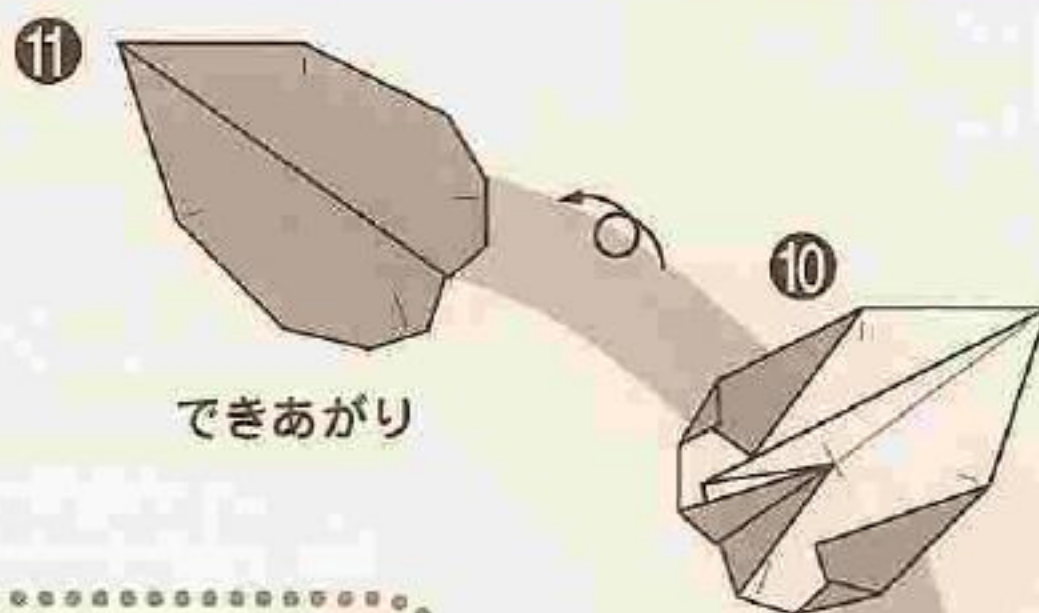
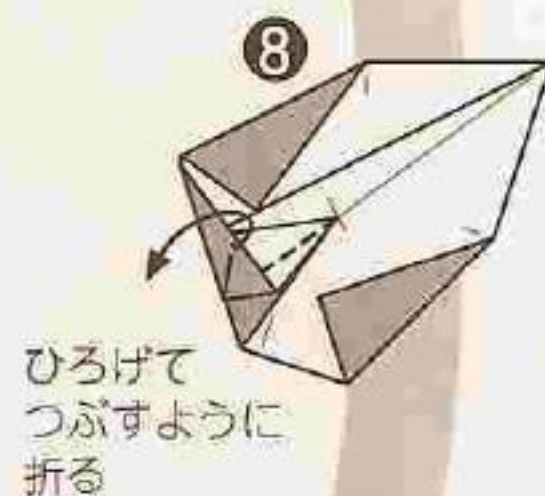
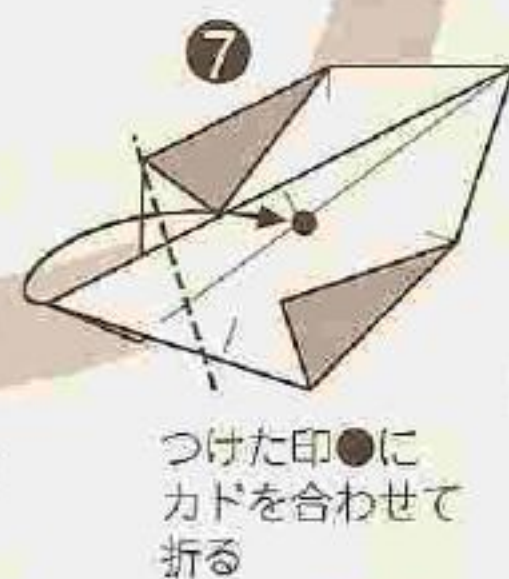
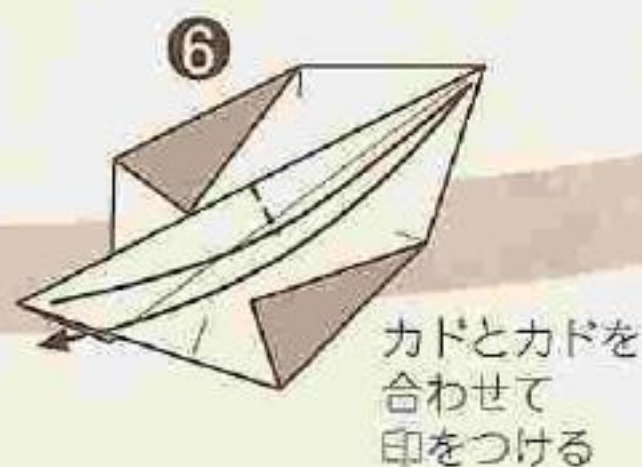
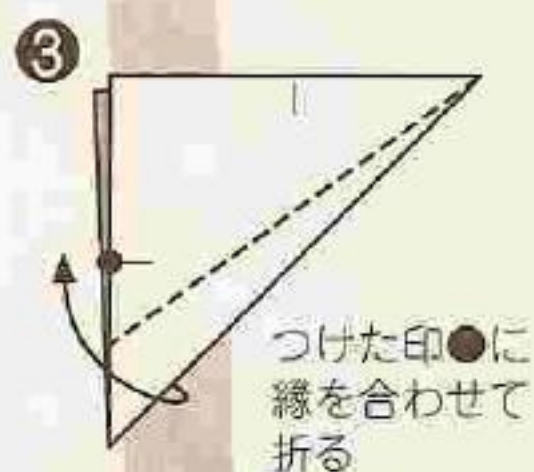
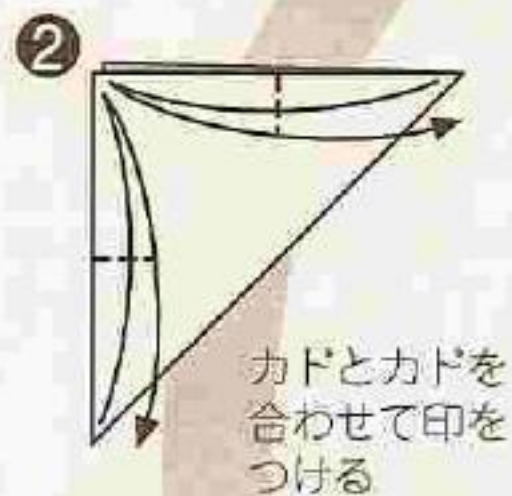
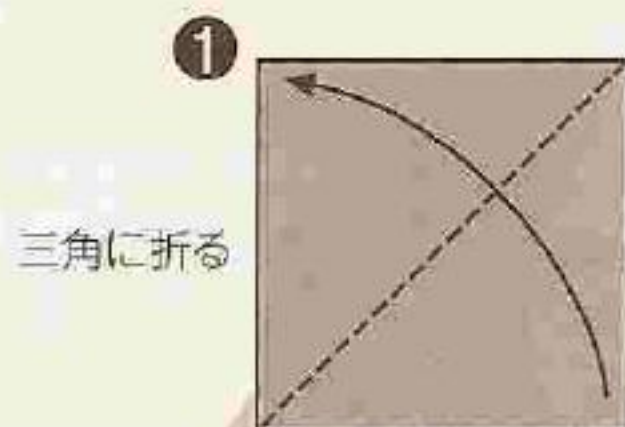
[花]

大：13cm×13cm 1枚
中：10cm×10cm 1枚
小：8cm×8cm 1枚





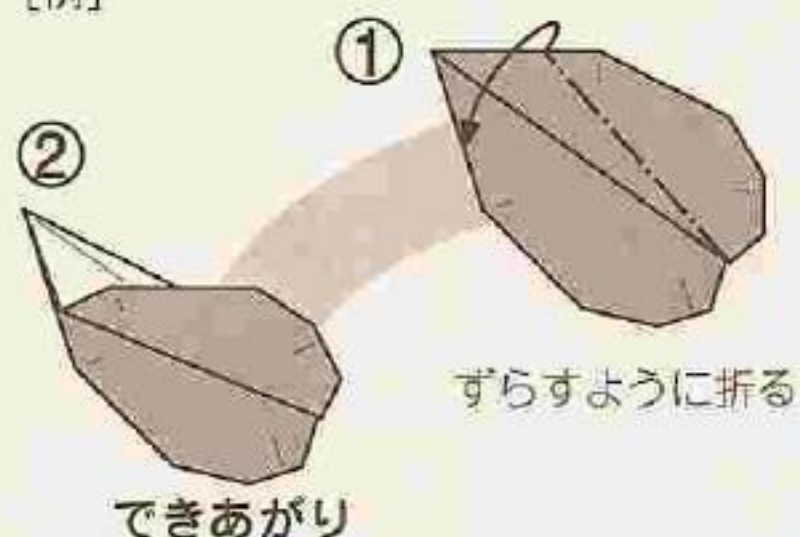
[葉]	大	4cm×4cm	2枚
	中	3.5cm×3.5cm	8枚
	小	3cm×3cm	26枚
	極小	2.5cm×2.5cm	6枚



[葉]の変化のつけかた

作例では、[葉]に様々な変化をつけ、奥行きを出す工夫をしています。これといった決まりはなく、できあがりのものを適当に折りかえしたり、ずらしたりしています。本物の花を実際に観察して、自分で雰囲気をつかみ、工夫してみるのもよいでしょう。

[例]



[蔓]

0.5cm×25cm
8枚

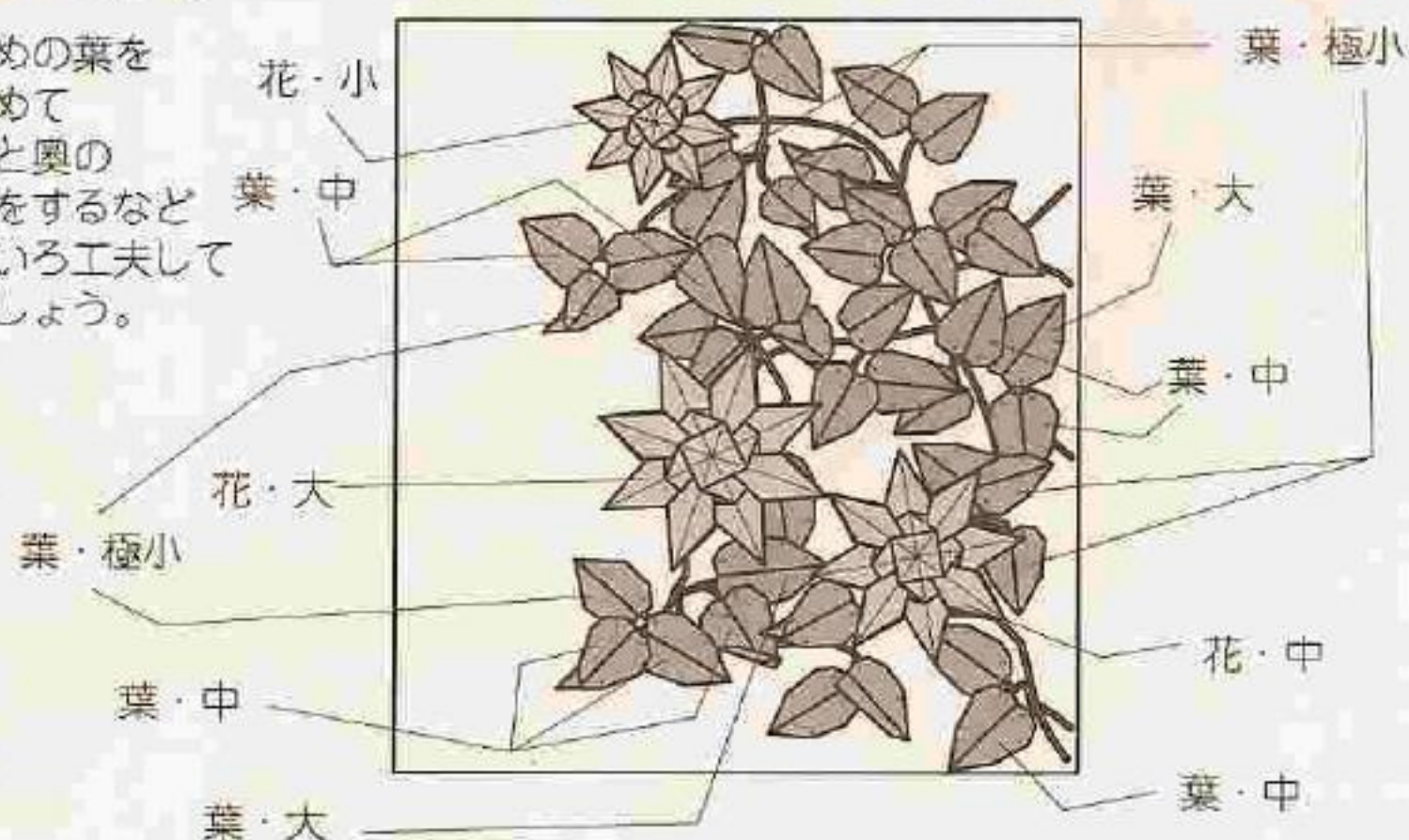
こよりをより
適当な長さに
切って使う



[組み方]

大きめの葉を
かためて
手前と奥の
表現をするなど
いろいろ工夫して
みましょう。

重なりを考えて奥からレイアウトする



折り図表現について

What Diagrams Tell You

小松英夫

Komatsu Hideo



はじめに

折り図は折り方を伝える為のひとつの手段に過ぎませんが、これまで多くの人がこの形式を採用し様々な工夫を投入してきた結果、間接的に折り工程を伝える方法としては最も洗練されたものになっていると思います。

私が折り図を描いて自作品の折り工程を発表するようになってから、6年ほど経ちます。描き始めた当初は様々な人の手による折り図を参考にしながらの、まさ

に試行錯誤の連続でした。多くの折り図を参考にする内に各制作者による表記の違いなどが面白く思えてきて、いつしか折り図を眺めること自体を楽しめるようになってしまいました。

今回はそのような折り図表現から見えてくる事について書いてみたいと思います。



折り図記号と折り技法

「山折り線」「押し込む」「裏返す」……等々の折り図記号は日本折紙協会によって統一化が試みられるなどして、今では基本的な部分でかなり統一されていますが、それでも折り図制作者によって微妙に異なる表現が使われています(図1)。海外の折り図と日本の折り図の違いとしてもしばしば話題に挙がります。用いる折り図記号が違うだけではあり

ません。多くの工程では複数の記号を組み合わせる必要があるため、例えば「中割り折り」という折り技法の表し方にも折り図制作者によって差があります(図2)。日本では「中割り折り」を表す記号として「蛇行する矢印」があるのでそれを用いれば済みますが、海外では「inside reverse fold」に単体で対応する記号が無いようです。そこで「押し込む」「開く」等の補助的な記号を用いてinside reverse foldを表現しているのです。

技法の表記の違いについて、もうひとつ例を挙げます。図3はいわゆる「両側に段折り」で、折り線の組み合わせで「かぶせるように段折り」だとか「内側に段折り」などに分けられます(図3で示したのは後者)。この技法の表記には他にも様々なものが見られますが、ここでは矢印の向きと段々の描き方に注目して4種の表記を並べておきました。

図1 折り図記号の違いの例

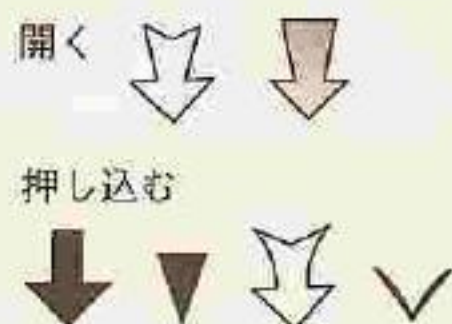


図2 中割り折りの表記いろいろ

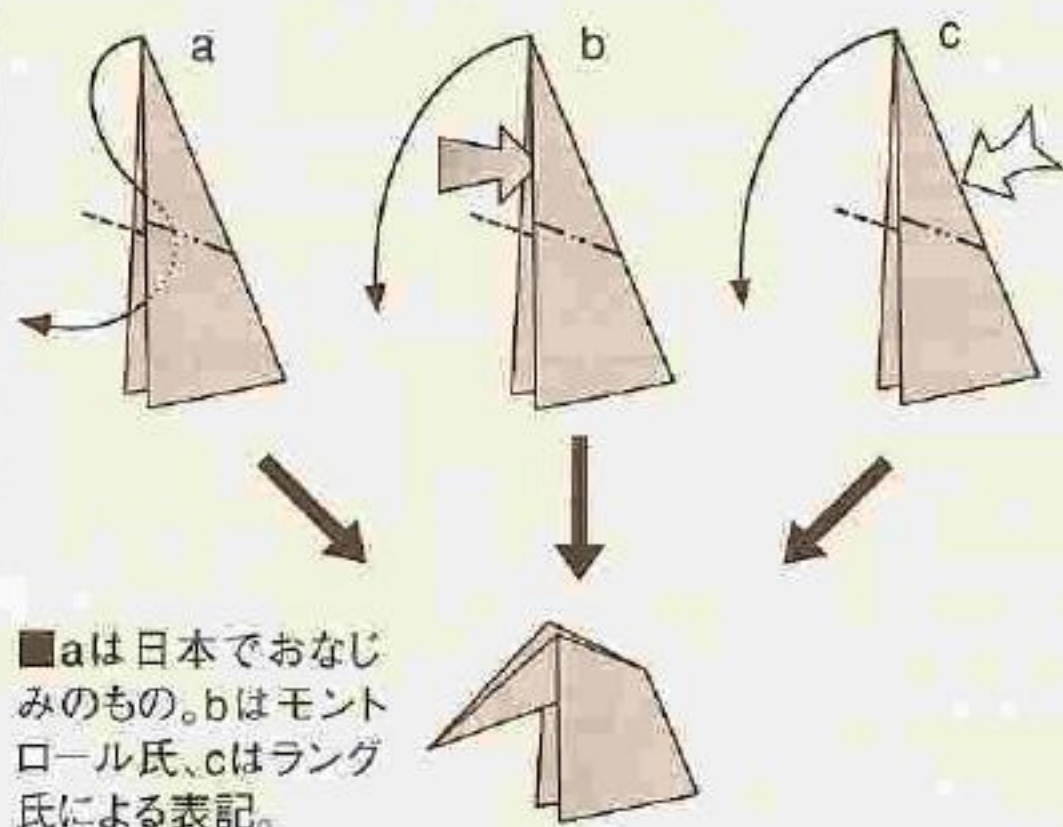
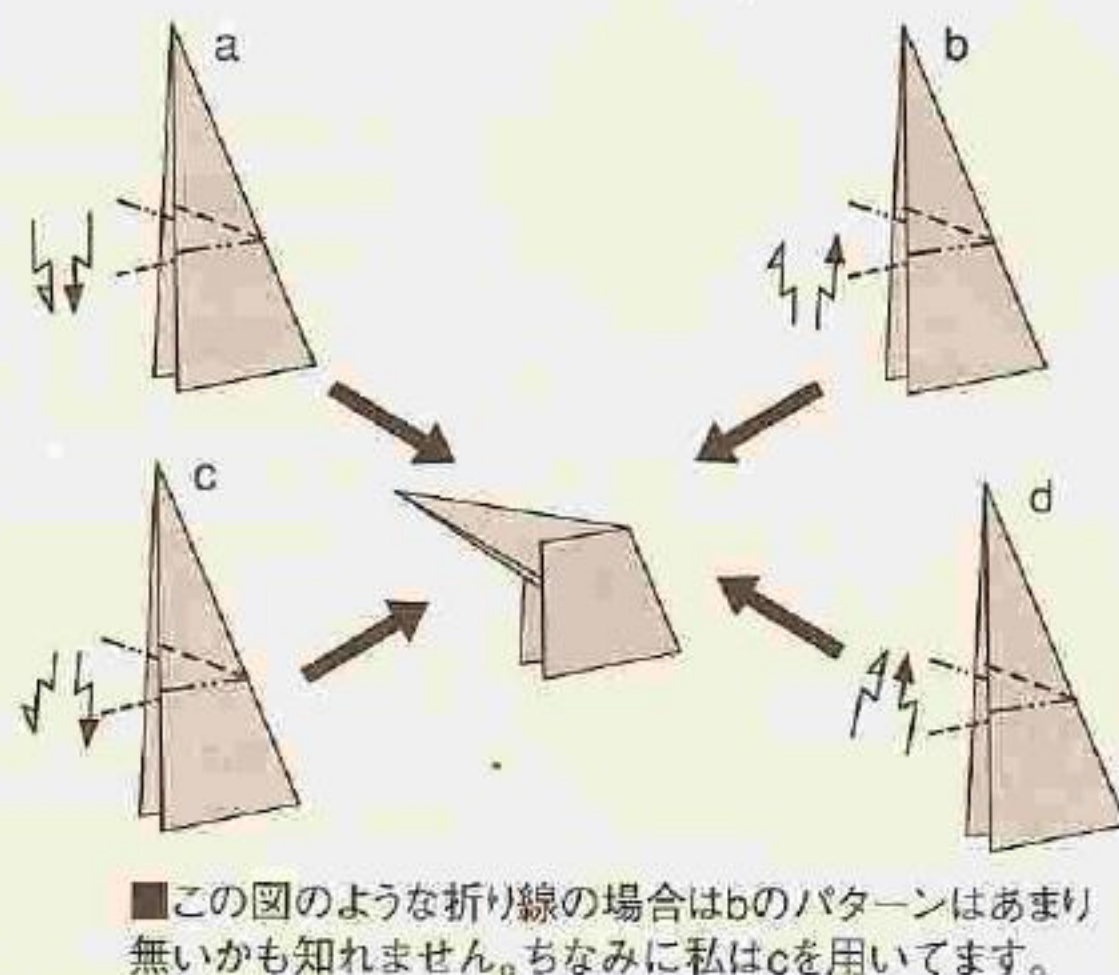


図3 両側に段折り(内側に斜めに段折り)



折り図表現について

What Diagrams Tell You

小松英夫

Komatsu Hideo



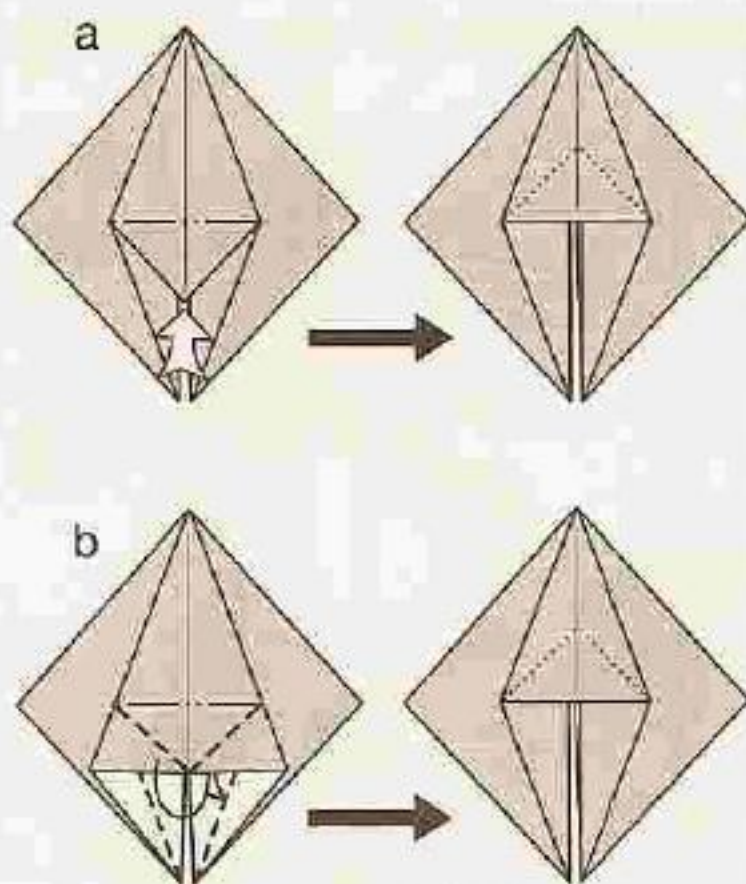
折り技法と折り感覚

ある工程における折りの操作を記号化する上で、手の動き・紙の動きを感覚的に捉えることが手がかりになります。ステップの前後で形がどう変わるかだけではなく折りの動作全体を意味するものとして、以下これを「折り感覚」と呼ぶことにします。

このような折り感覚は「～するように折る」などとネームで補足することが多いですが、ネームは海外の人には通じませんから、出来る限り記号を用いて表現できればそれに越したことはありません。

特に、対応する折り図記号が明確な工程ではない場合(表記が定義された折り技法として類型化されていないよう

図4 これは沈め折り?



■bはよくある表し方の一例です。

な紙の動きなど)、折り図制作者は自らの折り感覚にもとづいて記号を組み合わせることになります。

先の「両側に段折り」を見ると、図3a、図3bの表記では矢印が内側に向かっていることで「押し込むような」折り感覚を反映していることが読み取れます。対して、図3c、図3dでは矢印のジグザグは「折られた後の紙の断面」という普通の段折りの記号と同じ理屈で描かれています。

矢印の向きについては、普通の段折りでも二種類が見られます。紙がたぐり寄せられる方向を示すものの方が割と一般的かと思いますが、逆方向で書かれるケースもよく見かけます。これは矢印の方向が折る順番を表していると考えるのが妥当なようです。両者では全く異なる「折り感覚の記号化」が行われているわけです。

技法同士の関わりをどう捉えるかによって、折り技法の表し方もまた変わってきます。図4はラング氏の折り図で見られる表記です。矢印はsink(押し込む)を表す記号ですが、図のようにカドが用紙内部ではなく辺にある状態でも、この記号が使われています。

展開図で見ると、sinkにおける構造変換(図5)と同一のものであることが確認出来ます(図6)。図2で見たとおり、ラング氏は中割り折りにおいてもsink記号を用いていますが、これも同様に解釈できます(図7)。押し込むという操作を軸に、中割り折りや沈め折りを同一の記号で統一的に表現しているのです。

折り感覚の解釈によって折り図表現

が異なるものになることがお分かりになったと思いますが、これら折り図記号・折り技法・折り感覚を総合的に考えることで、複雑な工程にぶちあたった時でもどのよ

図5 沈め折りにおける折り線の変化

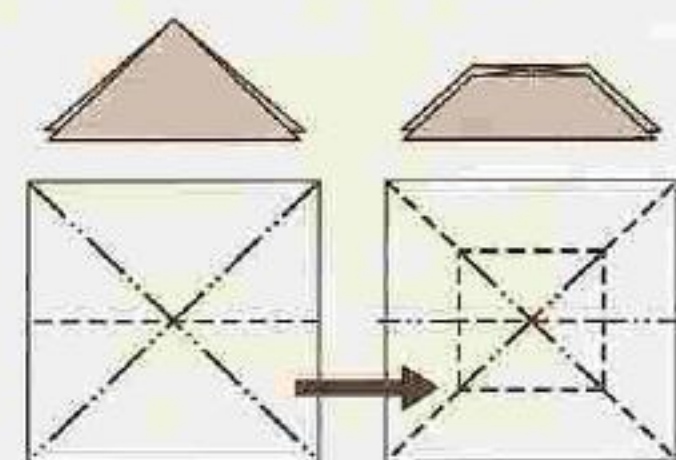
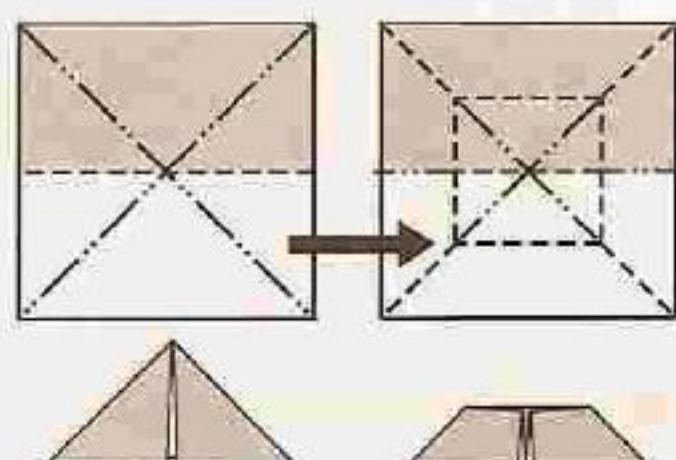
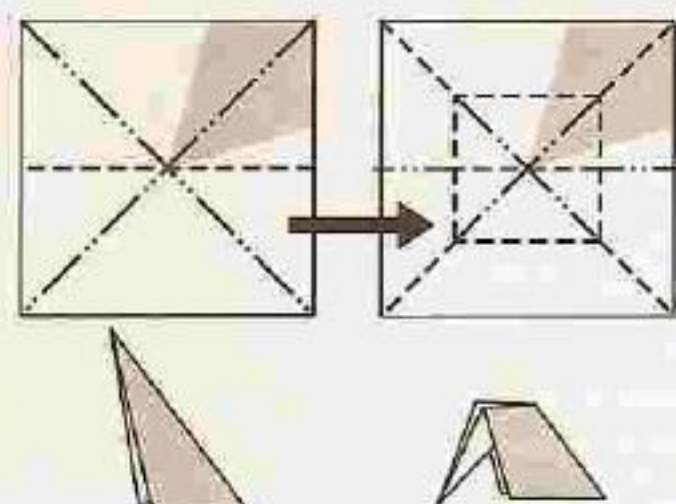


図6 辺での沈め折り



■図5の一部分を取り出すと(アミカケ部分)、図4の折りに相当しています。

図7 カドの沈め折り＝中割り折り



○小松英夫(こまつ・ひでお)=1977年生まれ。
動物ばかり折ってます。個人ウェブサイト開設
しました。<http://origami.gr.jp/~komatsu/>



うに表記すればいいかの指針が得られるはず。従来の表記では説明しづらい時には、思い切って新しい記号を導入する必要があるかもしれません。

ただし図8のような“うっかりミス”もありえますから、折り図制作者としては自分自身が記号に翻弄されないように気をつけたいところです。(補足/もちろん「どの表記がもっとも分かりやすいか」を一概に決めることはできません。“感覚”である以上、人によっては意図が伝わらずにかえって混乱させてしまう場合もあるかもしれません。同じ技法を折ったとしても手の動きは人それぞれに違いがありますし、難しいところです。)



折り「図」

さて、今まで例に見てきた表記上の問題はかなりマニアックなもので、「折れる・折れない」という折り図本来の観点から言えば些細な問題ではあります。多くの折り手は記号や表記の違いを特に意識することなく折っていることでしょう。折り感覚を反映した記号やネームはいうならば補足的なものであり、「より分かりやすく」するためのものです。また既

に見てきたように、表記がまちまちな記号表現に頼り過ぎることは伝達にあたって誤解を招く可能性を高くする恐れもあります。基本としては折りの前後での紙の形の変化を忠実に描くことが大切でしょう。

それぞれの図は、そのステップで必要とされる折りの操作に対応したかたちで描く必要があります。それは図から読み取れる情報をコントロールすることであり、この点で絵という形式は自由度が高く非常に適しています。折り筋を折りヒダを省略する、あるいは逆に強調するなど、描かれた絵ならではの効果です。

図9は複数の折りが加えられている場合で、このように複数方向からの視点をひとつの図に盛り込むこともできます。写真でこのような画像を得るのは、不可能あるいは図を描く以上に手間のかかる作業になると思われます(逆に立体的な工程や完成形などの情報量の多い形状を正確に伝えたい場合には、写真の方が向いているといえます)。

大事な部分は手間がかかっても丁寧に描き、手を抜ける部分は思い切って抜いて、図と折り図記号のトータルで分か

りやすい折り図を目指したいものです。



おわりに

私自身が折り図を描く上で最も悩み気を遣う点は、折り手の想定です。技術的なレベルをどの程度折り手に要求し、どの程度の説明を加えるべきか、それは作品そのものに大きく関わる事柄です。どんな人がこの作品を折りたいと思うだろうか？

その人はこの工程で、この描写ではたして迷わずに折れるだろうか？

折り工程を考え折り図を描くことは、作品を客観的に見つめなおす作業でもあります。

折り図表現に関しては、効果的なネームや、折り図と折り工程との関係など興味深いトピックがまだまだたくさんありますが今回は触れることができませんでした。本稿が折り図について考える契機のひとつになったならば大変嬉しく思います。

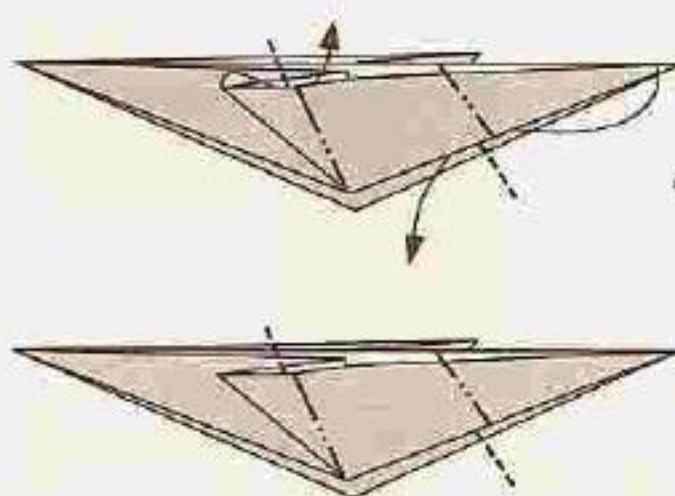
折り手の立場からも、表記を見て折り図制作者の細かい意図や苦勞の跡(!)を読み取ってみるのもまた一興かもしれません。

図8 表記の“うっかりミス”

■「折り筋をつける」という記号には“方向性”があります。このとおり折ると……折りにくい！

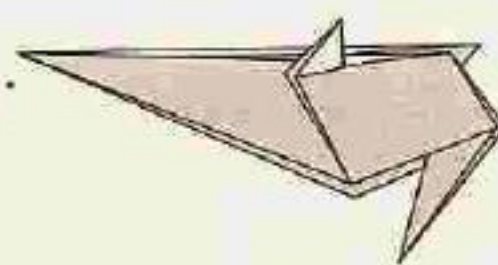


図9 絵ならではの“ウソ”



■二ヶ所の中割り折りを記述するために、左上からの視点と右下からの視点を混在させています。

情報の取捨選択という点では、工程に関係ない後ろ側のカドについてはいくぶん簡略化して描いてもいます。



数理を 楽しむ

オリガミクス ⑫

芳賀和夫

Let's Enjoy Math through Origamics
Haga Kazuo

○芳賀和夫(はが・かずお)♂1934—
去る2月中旬、NHK教育TVの学校放送
小学校3年理科「ふしぎいっぱい」に出演
しました。「童心に帰ってまるで子どもみ
たい!」という世評を受けて悲しいやら嬉
しいやら。



折り紙錬金術

Origami alchemy

この連載では、素材としての正方形の紙をひらがなで「おりがみ」、それ以外の意味合いでは「折り紙」と書くことにします。

鉄や銅などの卑金属から、あるいは土、紙などの非金属素材から金あるいは銀といった貴金属を作り出そうとする試みは古代エジプトに遡るといいます。この錬金術は、貴金属ばかりか、不老不死の秘薬づくりも目指したため、ときにまやかしや魔術、さらには宗教とも結びついた怪しげな雰囲気を持つ語として、揶揄的に用いられることもしばしばです。

一方、錬金術は中世に至るまでに物質の溶解、濾過、蒸留、昇華などの技術を培って近代化学の基盤になったばかりか、医学の進歩、陶芸やガラス工芸の技術、さらには染色の分野まで、幅広い実験技術と経験的知識を集積させました。

現代のオリガミクスでは、錬金術を引き継いで、1枚の紙から金や銀を作る技術も研究します(!?)。

シルバー長方形

連載の⑦で解説しましたが、簡単にもう一度書くと、A4、B5など辺の比が $1:\sqrt{2}$ の規格長方形用紙は、長い方の辺($\sqrt{2} \approx 1.414\cdots$)を半裁した場合、

$$\frac{\sqrt{2}}{2}:1=1:\sqrt{2}$$

となって辺の比が変わらないので、半分のまた半分と裁断して同じ比の小さい用紙を作ることが簡単にできるという特徴があり、日本工業規格、つまりJISでその紙サイズが決められています(図1)。これにはA判とB判という、もとになる紙のサイズが違う2つの系列があって、半裁するごとにA3→A4のように数字は逆に大きくなります。

ドイツの先生からいただいたパンフレットには、同じサイズのA4の紙はDIN(ドイツ工業規格)紙と呼ばれ、それを折って数理を学ぶことが出ています。

この、 $1:\sqrt{2}$ の規格紙をヨーロッパでは

silver rectangleと呼んでいるので、そのまま日本語にして「シルバー長方形」と言ったり「白銀比長方形」と言ったりします。

黄金比長方形

白銀比長方形という言い方は「黄金比

長方形」の語呂合わせです。よく知られているこの黄金比長方形golden rectangleは、短辺を1辺とする正方形を取り去ると残りがやはり黄金比長方形になっているという性質があります(図2)。この辺の比を1辺の上にとると、下の比例関係があり、

$$1:x=x:(1-x)$$

これから下式が導かれます。

$$x^2+x-1=0$$

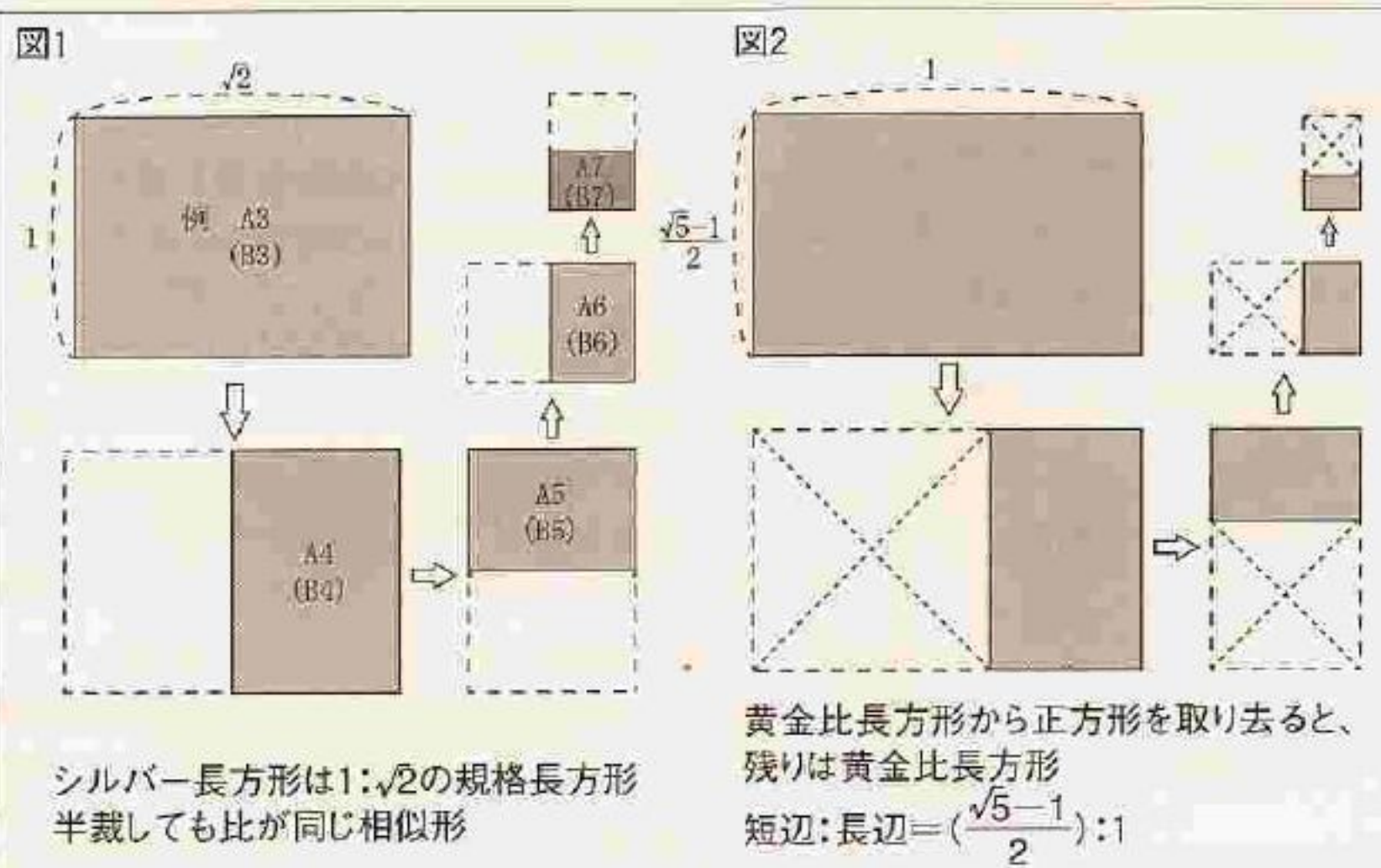
この二次方程式を解の公式を使って解くと、

$$\frac{\sqrt{5}-1}{2} \approx 0.618$$

となって、黄金比長方形の辺の比は、長辺:短辺が $1:0.618$ であることが分かります。逆に短辺を基準にすると、短辺:長辺が $1:1.618$ という小数以下が同じ数字になります。

正方形の「紙から銀」

それでは、紙から銀を作ってみましょう。おりがみをシルバー長方形、つまり $1:\sqrt{2}$ の

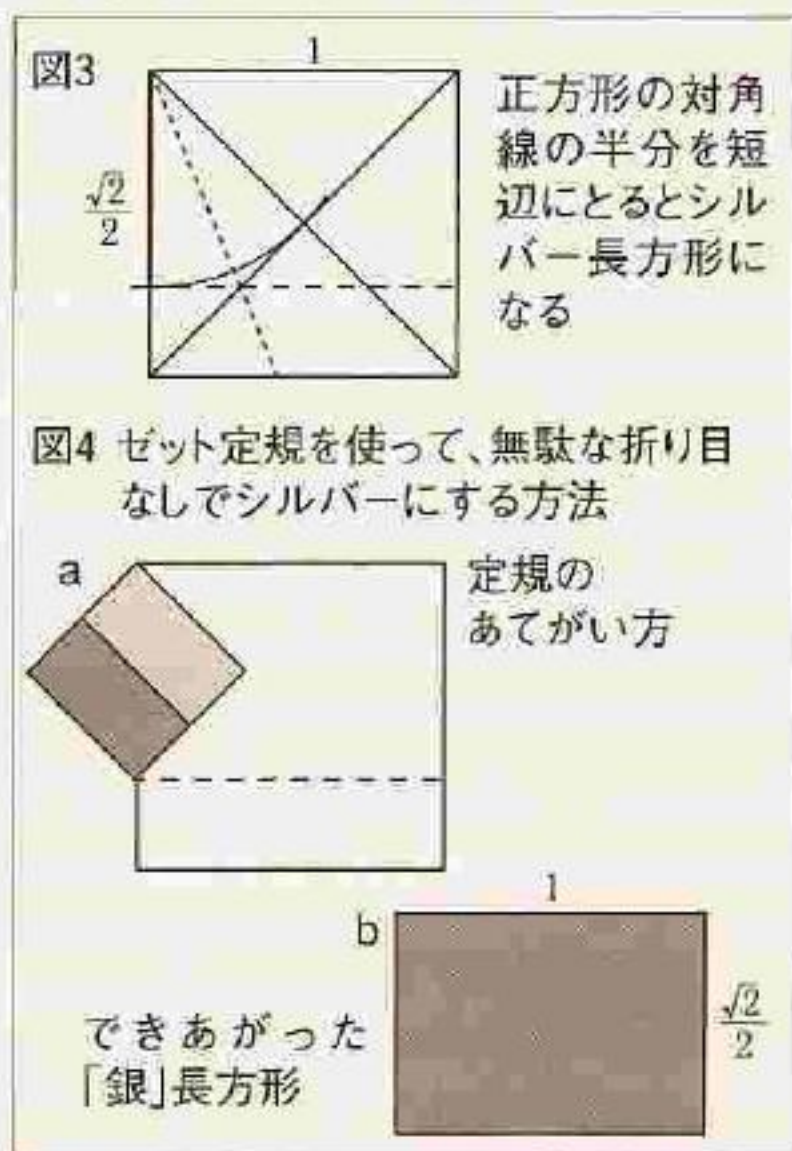


規格長方形にするのですが、理屈は簡単でも、実際に無駄な折り目を付けず作ろうとすると厄介です。おりがみ正方形の1辺を規格長方形の長辺にすると短辺は、

$$1 : \sqrt{2} = \frac{\sqrt{2}}{2} : 1$$

となって、正方形の対角線の半分の長さということです。したがって、図3のように直交する2本の対角線を作り、それに正方形の1辺を合わせて1本の対角線の半分の長さを写しとればよいのですが、それでは無用な折り線の入った長方形になってしまいます。

そこで、おりがみを折って作るZ定規(70号14-15ページ)を使うことにします。Z定規を図4のようにおりがみにあてがえば、正方形用紙の対角線の半分の長さを用紙の1辺上に容易にとることができ、規格長方形用紙が出来上がります。



正方形の「紙から金」

上に挙げた70号(連載第4回)でやはりZ定規を使って黄金比長方形を作る方法を紹介しました。ただし、字数を節約しすぎてヒントになる図を載せただけでしたので、ここで、すこし説明を加えます。

上記の黄金分割の値、

$$x = \frac{\sqrt{5}-1}{2} \div 0.618$$

をとるために、図5aのように上辺中点と下辺の端を結ぶ折り線を折って直角三角形を作ります。今、仮におりがみの1辺を2とすると、1辺の半分は1なので、三平方の定理

(ピタゴラス)でその斜めの折り線は $\sqrt{5}$ になります。上辺左側をその線に合わせて折ると、斜め線の下方に $(\sqrt{5}-1)$ が得られると同時に、相似の直角三角形の辺の相似比から、 $\frac{\sqrt{5}-1}{2}$

もできます(図5b)。ただし、これはおりがみの1辺を2とした場合なので、それを1にした場合に直さなければいけません。ところがうまくいって、斜め線に上辺左側を合わせて折ったときに出来る直角三角形に対して、斜め線に下辺全体を合わせて折ったときにできる大きな直角三角形は相似なうえに辺の長さが2倍になっています(図5c)。したがって、その左辺にできた折り目が、おりがみの1辺を1にしたときの $\frac{(\sqrt{5}-1)}{2}$ という黄金分割点になり、その点を通るように紙を折れば(図5d)黄金比長方形、つまり「金」ができるわけです(図5e)。

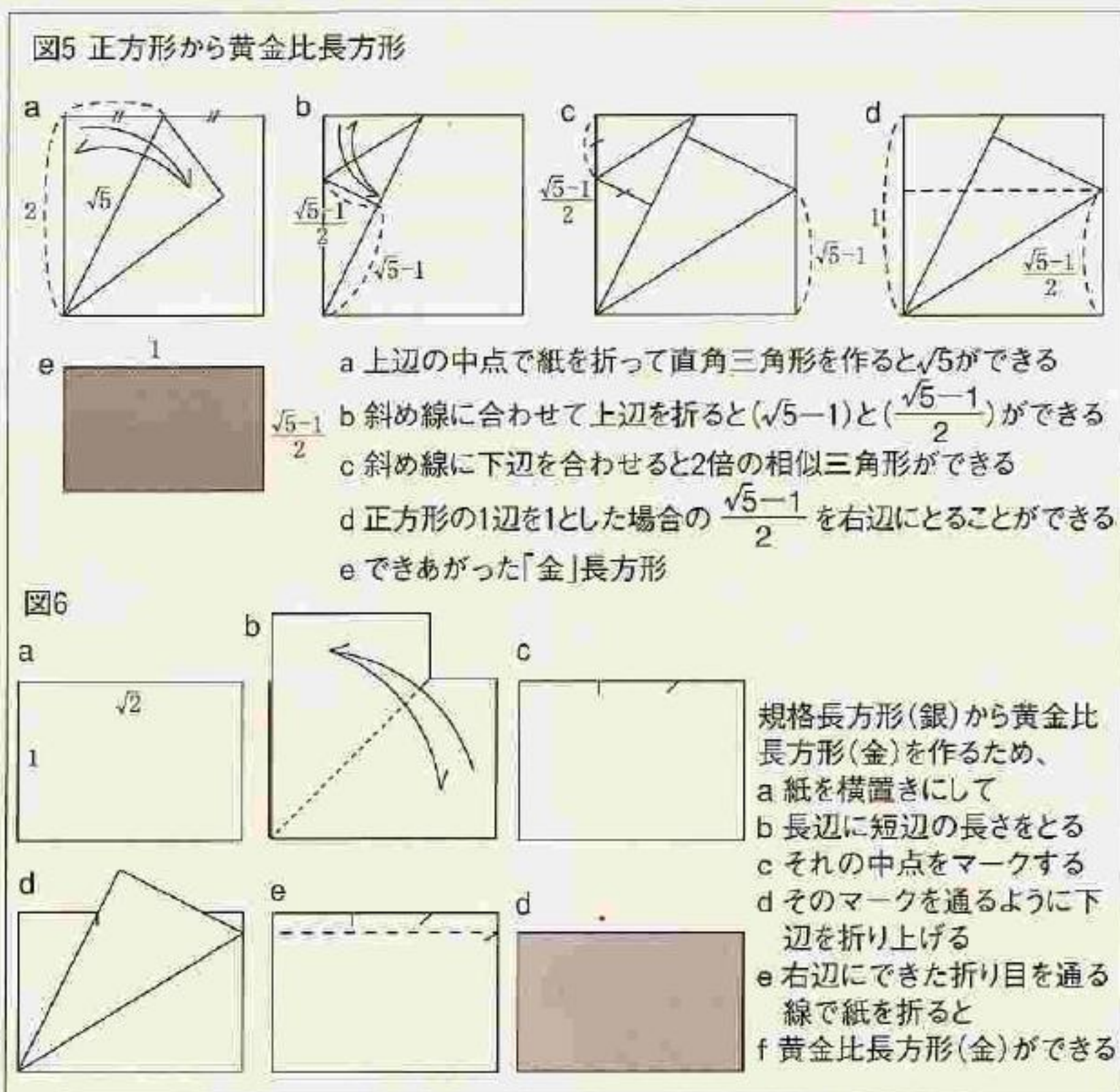
長方形の「銀から金」

上記の金づくりで、ひとつ困ったことは、できあがる黄金比長方形に、折り線が2本入ってしまうことです。うち1本は黄金比長方形の対角線になるので利用価

値がありますが、他の1本は邪魔になります。しかし、この1本なしには対角線も折ることができず、「金」が作れません。この邪魔線を省くためにZ定規を利用する方法は70号15ページを参照してください。

この「困ったこと」が、正方形おりがみからではなく、A4やB5などの規格長方形(シルバー長方形)から黄金比長方形を作る際には解消し、上記の邪魔線を省略することが可能になります(図6a~f)。a規格長方形を横置きにして、b下辺を左辺に合わせ、上辺に短い折り線をマークします。このとき、左辺下方には折り線がほとんどつかないように加減します。c上辺につけたマークと上辺左端の中点を小さくマークします。d左辺下端を支点にして下辺をその中点を通る位置に移動させて、eその位置で右辺上に短い折り線マークをつけます。fそのマークを通る上辺に平行な線で紙を折れば黄金比長方形ができます。

どうやら、折り紙錬金術では「紙から銀」「紙から金」よりも「銀から金」の方が易しいようです。おそらくかつての錬金術師たちも「土から金」よりは「銀から金」の方が可能性が高いと思って、あれこれ実験していたのでしょう。



折り紙資料館

6

Takagi Satoshi's the Origami Reference Room

高木 智

Takagi Satoshi

誹諧七福神之内 寿老人 (三代目豊国画) と
『女用教訓 繪本花之宴』(深藏作、西川祐尹画)Jurojin the God of Longevity in "Seven Gods of Luck with a Poem" by Toyokuni III (Kunisada) and
Picture Book "Ehon Hana no En" Written by Shinzo and Painting by Nishikawa Suketada日の春を さすがに 鶴のあゆみ
かな石を撃つて羊とすなる
道士の仙術 その羊の
好むといふ紙を折て
鶴となしし乙女が
手業(てわざ)裂(さく)半切の巻
物と とりつく小児(こども)の
衣服(きぬ)なる鹿の子
いづれも寿仙が
愛でたまふもの歟(か)

応需 柳下亭種員戯述

今年の干支は未。そこで昨秋入手し
た三代豊国(歌川國貞)画の「寿老人」を
年頭の壁飾りとした。大判錦絵で、長田
幸徳氏は『三代豊国作品目録』で、弘化
四年(1847)～嘉永三年(1850)頃の制作とされる。版元は佐野屋喜兵衛である。
折鶴に息を吹き込む少女に子供(弟)が
それを欲しがって、背後から手を伸ばし
ているありふれた図柄である。しかし、種員の解説を読むと、寿老人
は石を刻んで羊を造るという。その羊の
好む紙を折って鶴を作る少女と、三段論
法で、表題の「寿老人」とこの絵の謂れが
書かれている。つまり三代豊国は、「寿老
人」というテーマを描くにあたって、本人
を描くのではなく、鈴木春信が描いた見
立て絵を、少女の動作や、周辺に置かれ
た品物によって感じさせるという、判じ絵
風に描いたことで、結果として、鶴を折る
少女が描かれたわけである。その折り鶴
も、誹諧を、おめでたく、荘厳な雰囲気
にしている「鶴のあゆみ」になぞらえてい
ることはいうまでもない。今回お目にかけらうひとつの作品
は、深藏撰、西川祐尹(すけただ=祐信の
息子)画の『女用教訓 繪本花之宴(え
ほんはなのえん)』(宝暦2年=1752 東都・
鱗形屋孫兵衛、帝都・菱屋治兵衛刊)の
「おり鶴」の頁である。これは、内山興正
先生の『折り紙』(1962年 国土社刊)に
発表されたことで古くから知っていたが、
先生は『古事類苑』からの孫引きであっ
たために、文字だけの翻刻であった。し
かも『国書総目録』に唯一記載の京都大
学図書館本は所在不明とのことで、祐信
の絵本、たとえば『絵本常盤草』などの巻
末広告から、画家が祐尹であることをよう
やく知りえた程度で、まぼろしの図書と
なっていた。わたしにとって、ここ三十年
来の探究書である。昨年10月1日から11月3日、京都東山
の洛東遺宝館で「西川祐信が描いた
女のくらし」展が開かれた。ここでは、「絵
本倭文庫」シリーズ(祐信最晩年から没
後にかけて再版された半紙本、30点ほ
ど)を中心に、祐信の絵本と、そこに描か
れた道具類の実物とが対比して展示さ

「寿老人」部分図(全体写真は21ページに掲載)



「女用教訓 繪本花之宴」表紙



「女用教訓 繪本花之宴」奥付

○ 高木 智(たかぎ・さとし)＝昭和10年6月10日
京都市生まれ。京都大学教育学部卒。昭和42年頃
荒木京子に師事、折り紙を始める。現在日本折紙協
会理事。著書に『古典にみる折り紙』他実用書多数。



れていたが、中には祐尹および下川辺
拾水の作品も数点含まれており、何と、
『花の宴』があった。

無理を承知で、拝見を申し出ると、展
示ケースから取り出してそのページを開
いて見せて下さった。そこには見覚えの
一文と、祐信と見まがうばかりの筆で三
人の女性が描かれていた。中央の少女
は右手に「折り鶴」、左手に「折すえ舟」を
持って、いま紙を折ろうとしている右の娘
の手許を見つめている。左に立て膝をし
て振り返っている中年の女性は母親で
あろうか。その三人の前に、折りあげられ
た「薦僧」と「玉手箱」、そして二頁にまた
がり、しかも虫食いのため少し怪し気な
形ではあるが「蛙」が描かれている。

これは大変な事である。たまたま本誌
77号で岡村昌夫氏も指摘されるように、
「蛙」の図はこれまで『倡売往来』あたり
が古いほうで、それは文化2年(1805)頃
の刊、丑年ということでも少しむりをし
てもせいぜい1793年(寛政5年)。とすると、一
気に40～50年遡ったことになる。「折り鶴」
や「薦僧」には及ぶべくもないが、祐信の

描いていた定番の3点からすると、享保
19年(1734)刊の『欄間図式』にもなかった
「蛙」が、それなりに江戸中期には作られ
ていたことが確認された。

遺宝館では快くコピーを提供して下
さったので、ここに公開する。

ところで、前述の興正先生の文章に戻
る。『折り紙』の巻末に「折り紙の葉」という
ページがあり、「二 日本の折り紙の歴史」の項に
さまざまな文献からの引用がある中に、

「さらに古事類苑所出の
〔女用/教訓 絵本花の宴〕おり鶴
「さまざまの花鳥、物のかたち、紙にてお
りたたむはもてあそびのみにあらず、諸
礼のおりかた、むづかしきしなも、手なれ
てなしよきためなり。」

の文では、折り紙あそびもようやく、折り目
すじ目をただそうという封建教育のひと
役をかわされてしまっ、自由創作のあ
そびよりも、「おしえられる、そのとおりに折
る、できた」の形式的伝承に固定化して
いった様子がうかがわれます。」

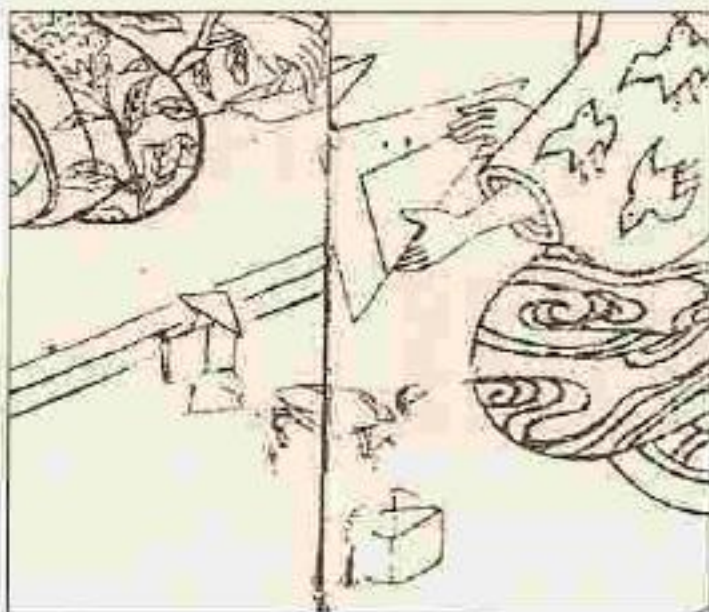
とある。

そこで私は一つの疑問を抱いた。先
生は、『花の宴』の文から、折り紙が「形式
的伝承に固定化していった様子」を見ら
れたが、ひょっとして、それは違うのでは
ないか。深藏は、「折り紙」のもう一つの効
用を述べたのではないかとすると、逆に、
その効用を忘れ去っている現在の
我々こそ、その効用のよってきたところ
に注目する必要があるのではないのだ
ろうか。と考えた結果、それが実は順序
が逆で、「諸礼のおりかた」が「むづかし
い」子供に、「手なれてなしよ」くさせるた
めに、「折り紙」を作り出したこともあつた
のではないかと考えるに到ったわけだ
である。つまり、これまで遊技おりがみの
ルーツとして贈答儀礼用折形が考えら
れてはいたが、それは、かならずしも実証
的ではなかった。しかし、「諸礼のおりか
た」を「なしよく」するために「折り鶴」つ
まり遊技おりがみが使われていたという表
現は、まさに遊技おりがみのルーツとして
贈答儀礼用折形の存在を、つまり両者の
密接な関連を示していたのである。

この資料でもう一つ興味があるのは、
折り紙遊びのタイトルが「折り鶴」となっ
ていることである。「鶴」には「づる」と濁っ
てルビがある。深藏の文言と、祐尹の挿絵
と、いずれが先かということとは関りなく、
当時、すでに「折り鶴」は折り紙の代名詞
になっていたのである。



◀ 『女用教訓 絵本花の宴』より「おり鶴」



▶ 部分図

まだまだ 折紙 散歩

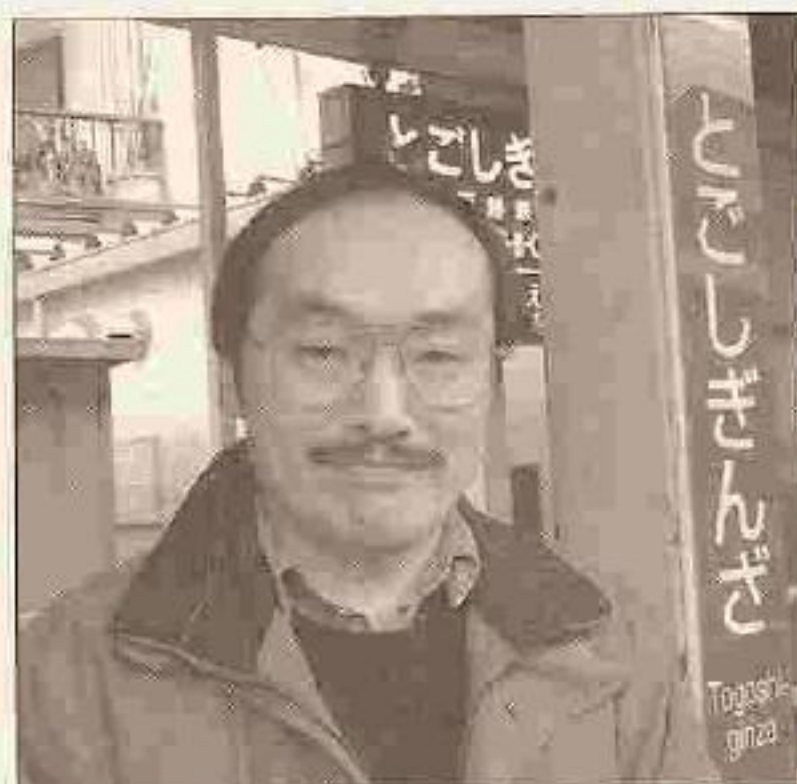
前川淳の

第6回

銀座でお買い物

Shopping in Ginza

いたるところに銀座あり。
東京急行池上線、戸越銀座駅にて。



筆者紹介＝東京生まれ。折り紙創作・研究家。折鶴モノコレクター。「一足めのわらじ」は科学技術計算。阪神タイガースの熱狂的なファン。

The Ginza Street is the main street of the most famous shopping district in Tokyo, and it is often considered as comparable to the Fifth Avenue of New York. We folders can spend time and money there, as there are some good paper shops.

銀座へ行く

小津安二郎監督の『東京物語』で、原節子さん演じる若い未亡人が、亡夫の両親を案内するデパートは、銀座の松屋である。また、初代のゴジラが破壊するのは、銀座三丁目の和光の時計塔である。いずれも約50年前のことだが、映画の中の銀座と今の銀座は、半世紀という歳月を考えると、あまり変わっていないように見える。他の東京の街と同じように、銀座でもスクラップアンドビルトが繰り返されているが、それでもあの街にはどこか落ち着いた時間が流れている。

銀座に行く。それは、渋谷や新宿に行くのとは気分が違う。特定の店に行くという目的があっても、その店に行ったというだけでなく、銀座に行ったという感覚がある。

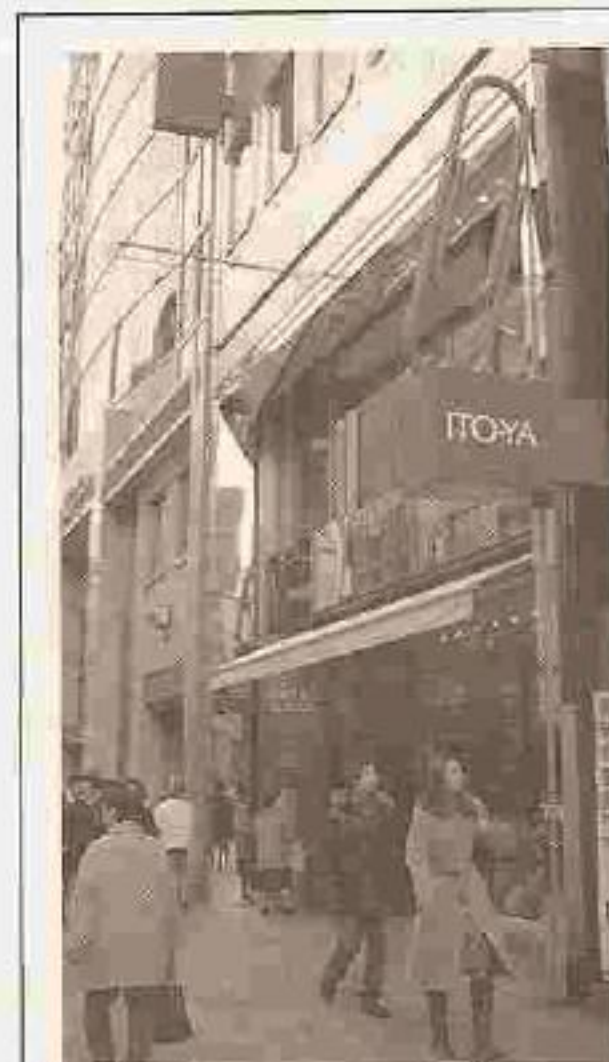
というわけで、今回は銀座。折紙散歩もできる街である。

まずは、鳩居堂(きゅうきやどう)。そもそもはお香の店だそうだが、和紙の小物が充実している店で、新宿高野フルーツパーラー前と日本一の地価を競う和光交差点の三愛ビル側にある。土地の値段はバブルがはじけた今も葉書一枚分の広さで何



十万円もするらしいが、店内で売っている絵葉書は100円ぐらいである。…って、わけのわからない文章のつながりだが、その絵葉書をはじめとして、ポチ袋や懐紙など、折鶴率がけっこう高く、また、新しい品への回転も案外と早いので、ときどき覗きに行かなければならない店なのである。

和光交差点から銀座通りを日本橋のほうに向かって数分歩くと、松屋の少し先に、大きな赤いゼムクリップの看板を掲げた、文房具店の伊東屋がある。文房具店として世界でも最大級の広さを持つ店内には、国内外の文具がところ狭しと並べられているが、折紙者は、店内を突っ切って、裏手にあるITOYA2、ITOYA3と名付けられた別棟に向かうことになる。ITOYA3の4階が和紙売り場だ。様々な和紙・千代紙が並んでいる他、『季刊をる』のバックナンバーが置いてあるのがうれ



Itoya (Stationery and paper shop in Ginza 2-chome)

伊東屋(銀座二丁目の文房具店)



紙屋の神谷
Mr. Kamiya at kamiya (=paper shop)

しい。また、このフロアには、季節毎(月毎?)に変わる、あの吉澤章さんの作品展示もある。

ITOYA2は洋紙の店である。細密作品に適した極薄の紙・カラベも手にはいるし、レザック、OKサンド(注)など、おもな洋紙の特殊紙も揃っている。東京には、神田錦町の竹尾、新宿三丁目の世界堂、渋谷と池袋の東急ハンズなど、紙を売る店は他にも多いが、まず第一に挙げられるのは伊東屋で

あろう。愛用している折紙者も多く、この記事の写真を撮るために足を運んださいには、東京滞在中のあの神谷哲史氏が紙をみつろっているのに遭遇した。つまり、その、なんだ、「紙屋に神谷」である。

なお、この店のキャッシャーでラッピングを頼むと、小さなリボンのついたシールを貼ってくれる。シールは何種類かあるのだが、二羽の折鶴が並んだ寿用が要チェックであろう。

銀座から日本橋

伊東屋に入店するのに急いで、松屋を通り過ぎてしまったが、松屋は、デンマークの折り紙的な電灯・LE KLINT社の製品を扱っている店のひとつでもある。最近あまり力をいれていないような感じもするが、いくつかの品を見ることができる。また、松屋とワーナーの交差点を有楽町のほうに100メートルほど行ったところには、紙メーカー・大倉三幸株式会社のまだ真新しいギャラリー「Paper House 紙百科」がある。紙の販売はしていないが、紙をテーマにした展示が楽しい。

伊東屋のすぐ並びにティファニーがあるが、わたしたち折紙者は宝石なんぞに興味はないので(きっぱり)、横目にして日本橋方面に約10分歩く。和光と松屋の間にある真珠のミキモトも、すでに無事通り過ぎている。首都高速の高架をくぐり、地下鉄の京橋駅を過ぎると、左に大きな書店が見える。小説『檸檬』(梶井基次郎)の舞台としても有

名な丸善である。ここの売りは、なんといっても洋書の充実だ。先日覗いたところでは、ブリルさん、オウさん(注)、布施さんの英語版の本など、日貿出版社の本を中心に品揃えで、ラングさんやモントロールさんの本は見当たらなかったが、他では入手しにくい本があるのはたしかだ。丸善より少し手前、京橋駅北口から東京駅のほうに5分ぐらい行ったところにも、日本最大級の書店のひとつ、八重洲ブックセンターがある。

丸善から銀座通りを北に進み、首都高速に空を塞がれた日本橋を渡ると、左手に三越百貨店の本店が見える。三越とその先の三井ビルの間の交差点を右側(東側)に向かって歩くと、3・4分でまたしても首都高速の高架である。しかし、首都高速ってのは、街歩きをしていてほんとうに美しくない構造物だ。その美しくない構造物をくぐると、すぐ左に和紙商の老舗・小津和紙博物館がある。ここには伊東屋より広い和紙の売り場があるのだが、表通りから離れているからか、折紙関係者にも案外知られていない。花紋折りや連鶴などもぼつぼつと飾ってあり、心地よい店だ。「博物館」の名前通り、フロアの一部が史料館になっているが、残念ながら、折り紙と関係のある史料は見当たらない。また、日曜が休みなので、要注意だ。



塩瀬総本家の羊羹のパッケージ
A package of sweet jelly of Shioya So-honke Co.

こうした店を巡り、紙をいっぱい買い込んで帰途につく。そして、家

折紙辞典

● レザック、OKサンド

● 洋紙の製品名。レザックは、皮革に似たエンボスがある紙で、色数も多い。エンボスの違いで種類があり、66、75、80つむぎ、82ろうけつ、96オリヒメという、番号付きの副名がある。「つむぎ」ってのは皮革じゃないけれど、折り紙に適しているのは、レザック75の90kg、レザック96オリヒメの70kgだろう。(紙の厚さは、特定の大きさの紙1000枚分の重さで表すため、kgという単位になる)OKサンドは、ざらざらした渋めの紙。

● Francis M. Y. OW

● シンガポールの折り紙作家。ハートの作品だけを集めた本「ORIGAMI Hearts」で知られる。羽根のついたハートで「Wings of Love」、鍵とハートで「Key to Love」など、洒落た題が楽しい。フランスという名前印象とその作風で、女のひとだと思っていたが、会ってみたらオジサンだった。フランスを女性名と思ったのは、わたしが無知なだけで、Francisは男性名、女性名はFrancesである。むしろ、わたし(前川)のほうが、ジュンという名で、向こうでは女性だと思われるかもしれない。髭のオジサンなんだけれど。

に帰った折紙者はあることに気がつく。つまり、画廊で絵を見たり、洒落た喫茶店でお茶を飲んだり、レストランで食事を楽しむといった、銀座らしいことをなにひとつしていない、ということにである。そして、こんど行ったときは、日本橋人形町にまで足を伸ばして、柳屋の鯛焼きを食べてこようなどと考える。…これもやっぱり、銀座ばかりじゃない。まあ、いいや。そうだ! 甘いものと言えば、銀座から東へ約1km、築地明石町にある塩瀬総本家の姫羊羹も面白い。パッケージが、折鶴、ヤッコさん、舟などの折り紙模様になっているのだ。姫羊羹というくらいで、小分けもできるし、海外の折り紙関係者へのお土産などにぴったりだ。…と、折り紙者は、けっきょく折り紙のことを考えているのでした。

●きびしい寒さも少しずつゆるみ、雨粒にも春の温度が宿りはじめました。色紙百花の最終回を飾るクレマチスの季節も、もうすぐそこまで来ています。

●今年の年賀状のために創作された西川氏の新作「ひつじ」。インサイドアウトによる色彩の対比が美しく、ファンタジックな絵本のイラストのような雰囲気が感じられます。

●折りやすさとデザインのバランスを、常に厳しく探求している高井氏。どこことなくユーモラスでかわいらしさが感じられる作品群から、今回は「トリケラトプス」を紹介します。

●今回登場する浮世絵資料にも、背景にさまざまな意味が折り込まれています。高木氏の記事と併せて、一粒で二度も三度も楽しんでしまいましょう。

「ひつじ」作：西川誠司 (P.34)

Sheep : Nishikawa Seiji (P.34)

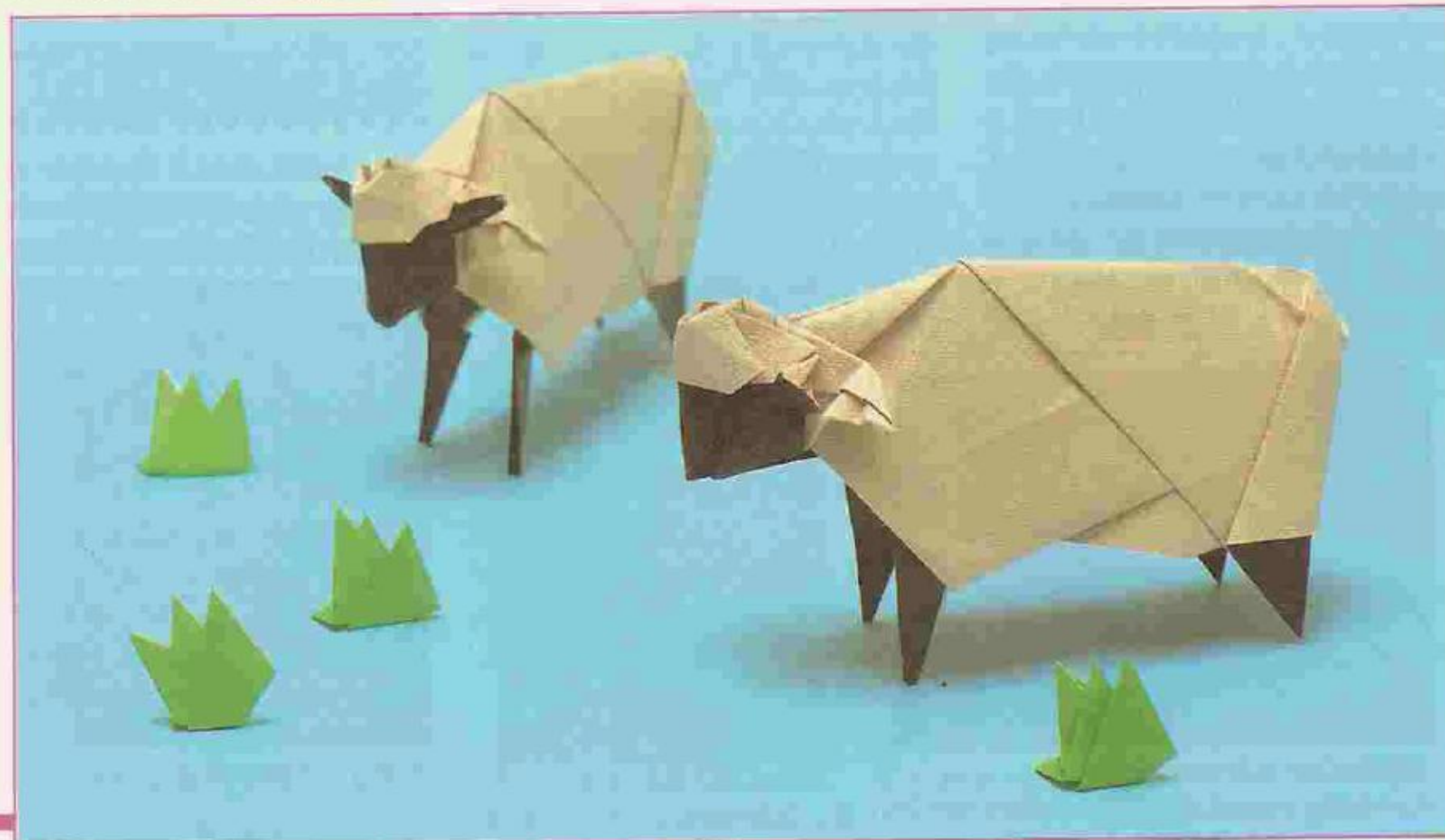
■全身にかけて丸みを表現でき、どのアングルからでも楽しめるデザインになっているところも西川作品ならではの。首の角度でポーズを付けると、より表情豊かになります。

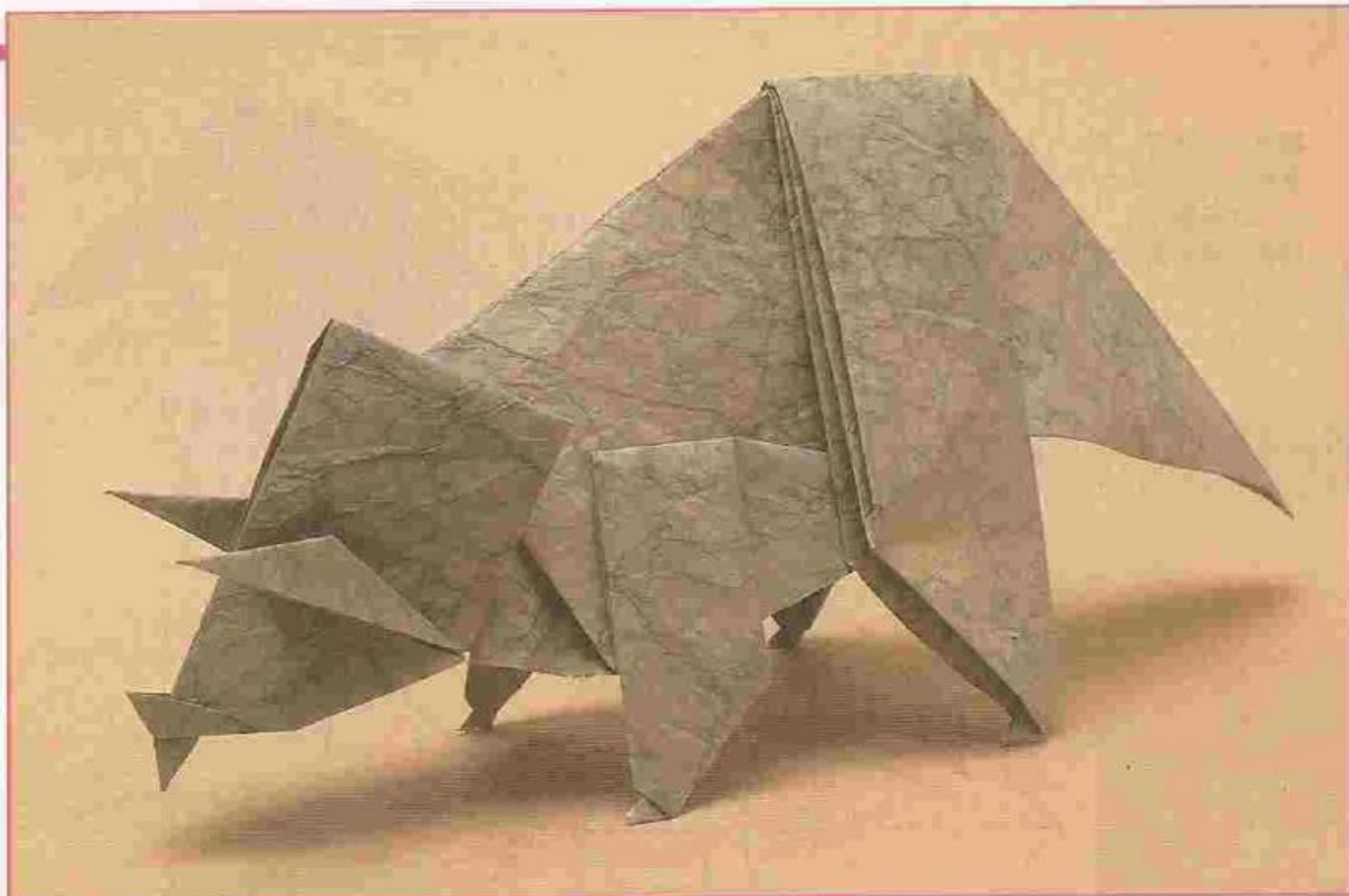


「クレマチス」作：田中具子 (P.8)

Clematises : Tanaka Tomoko (P.8)

■古くから多くの園芸家に愛され、さまざまな品種が作り出されている花。どこことなく日本的な繊細さを感じさせる紫と、背景の葉を彩るいくつもの中間色が、やわらかく落ち着いた画面をつくりあげています。





「トリケラトプス」 作:高井弘明 (P.22)

Triceratops : Takai Hiroaki (P.22)

■広告や使用済み封筒を利用した、作者お手製の手染め用紙がいい味を出しています。ともすると込みいったデザインになりがちな「恐竜」というテーマですが、比較的広い面の組み合わせによる洗練された構成でまとめ、用紙のさまざまな質感を許容できる作品となっています。

「俳諧七福神之内 寿老人」
三代目豊国画 高木智蔵 (P.16)

Jurojin the God of Longevity in
"Seven Gods of Luck with a Poem"
by Toyokuni III (Kunisada)
from Takagi's Collection (P.16)

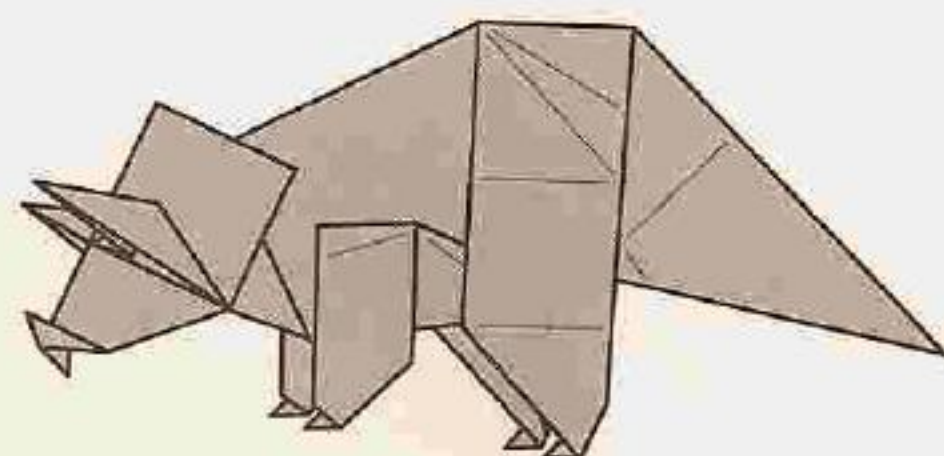
■以下、高木氏によるコメントです。

このシリーズは、七福神にそれぞれ俳諧の発句を組み合わせた絵を三代豊國(歌川國貞)が描き、それに柳下亭種員が解説(讀)を付したものである。男の子の着ている鹿の子絞りによって鹿をあらわし、巻物とともに、寿老人を示している。また、「折り鶴」によって、俳諧の心を見せている。鶴を折るのに、半紙を使わず、半切の巻物を切って使っている所がみそである。





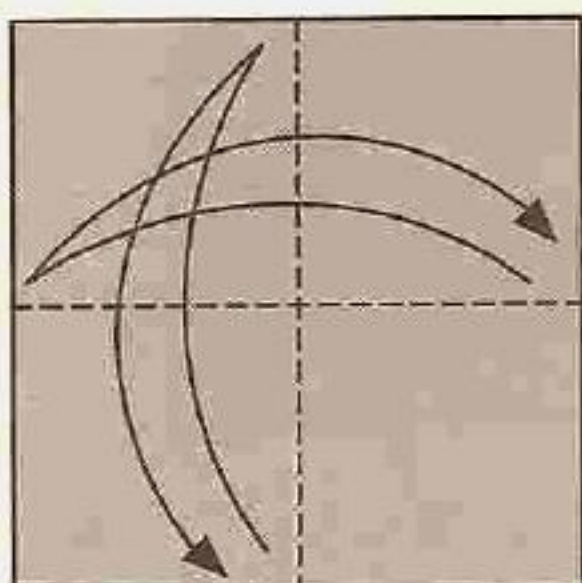
図をよく見て、正しく折り筋をつけて下さい。
きれいに折るためには、折り筋をきちんとつける
必要があります。
頭部に紙の裏が出るので、裏表同じ色の紙で折っ
て下さい。



トリケラトプス Triceratops

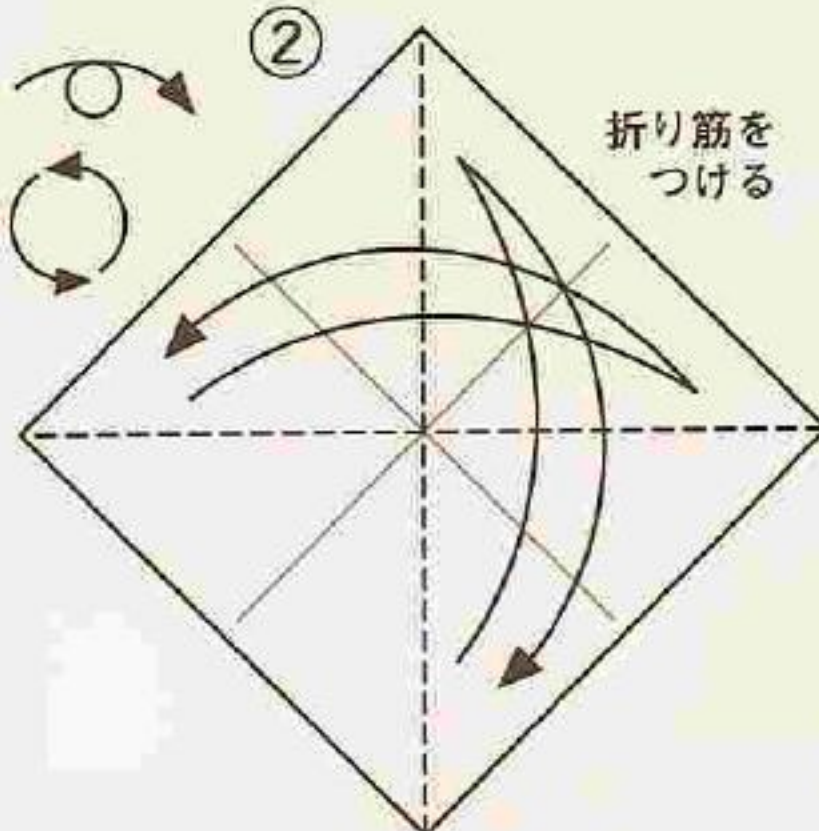
高井 弘明
TAKAI Hiroaki ©

①



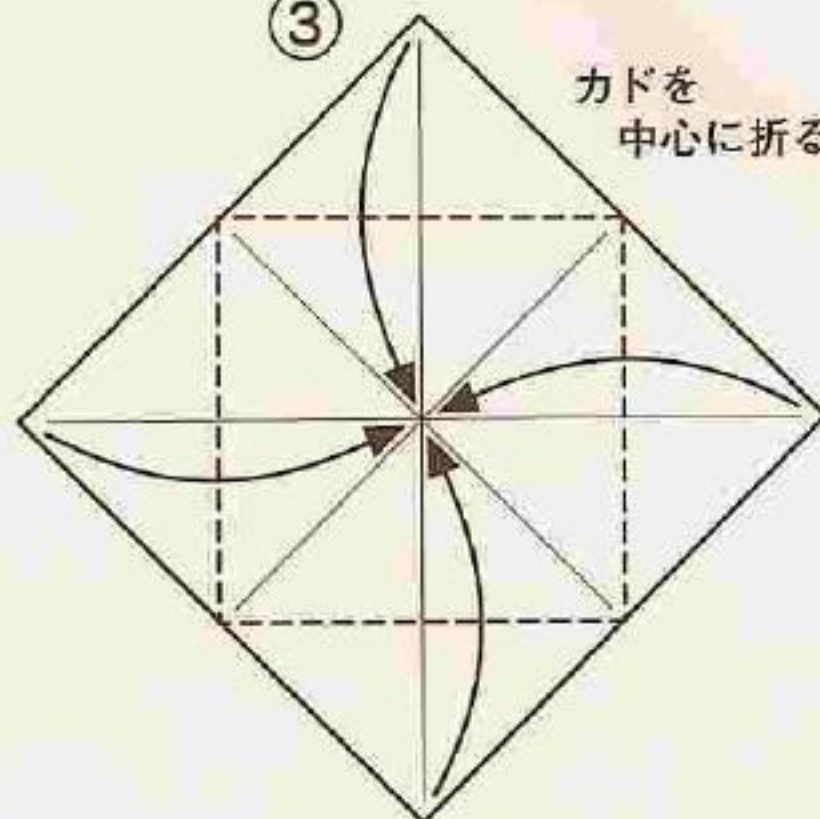
折り筋をつける

②



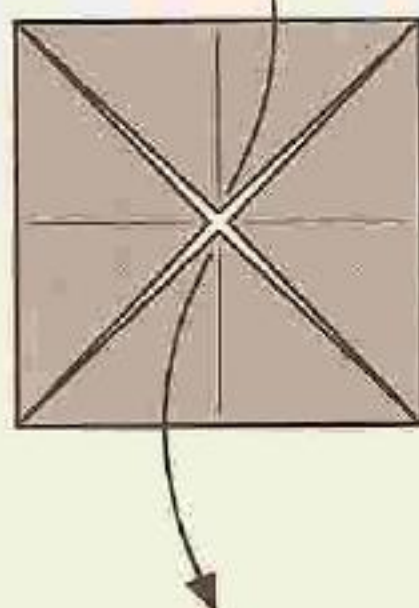
折り筋を
つける

③



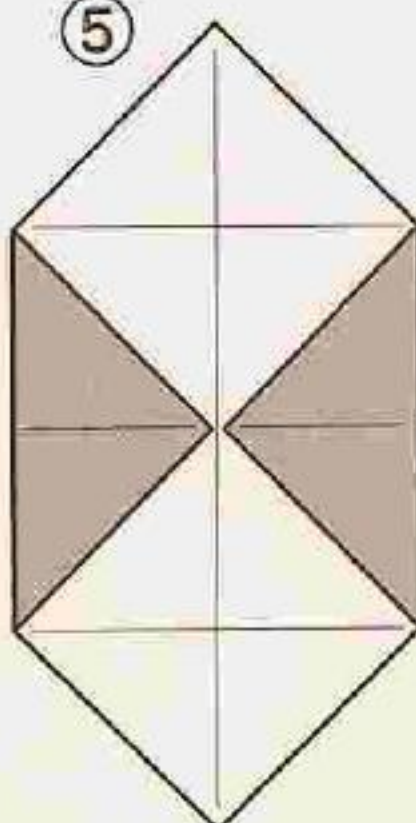
カドを
中心に折る

④

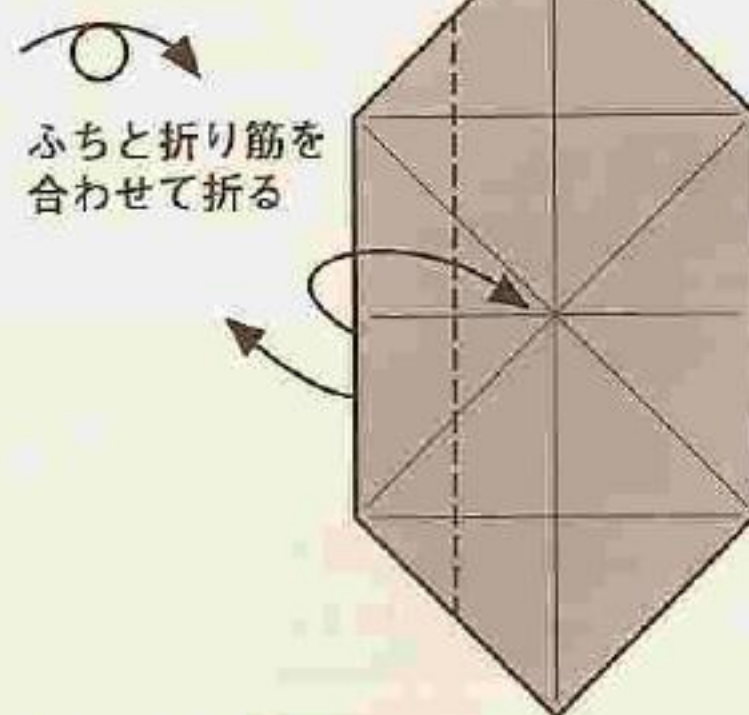


開く

⑤

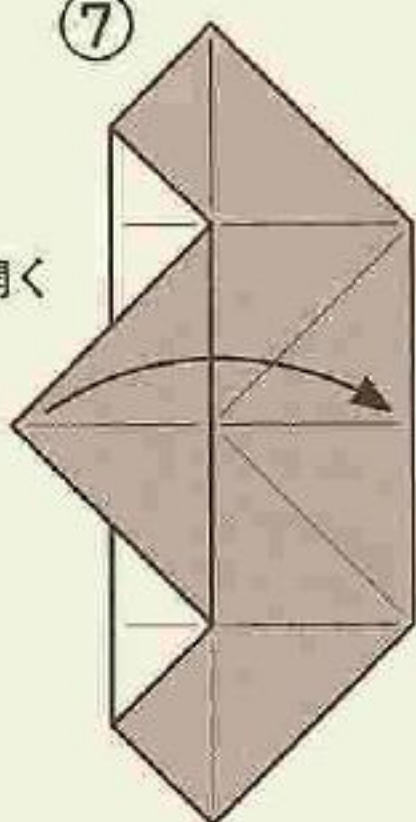


⑥



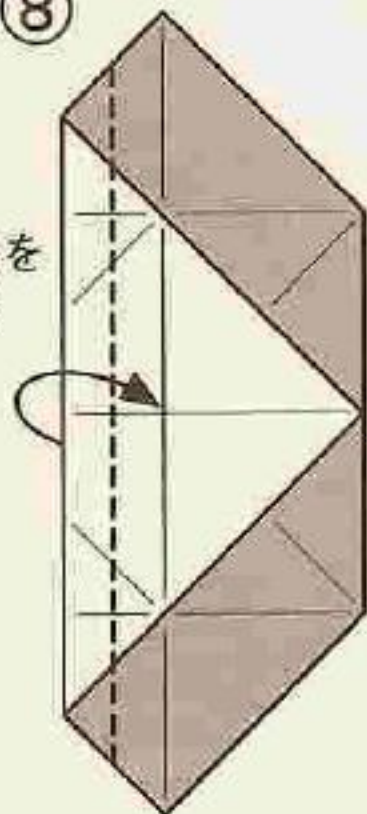
ふちと折り筋を
合わせて折る

⑦



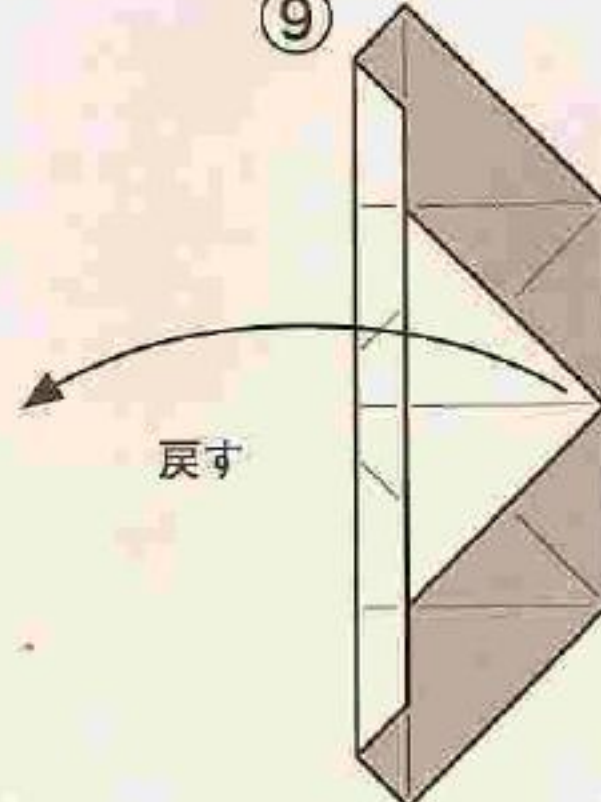
開く

⑧



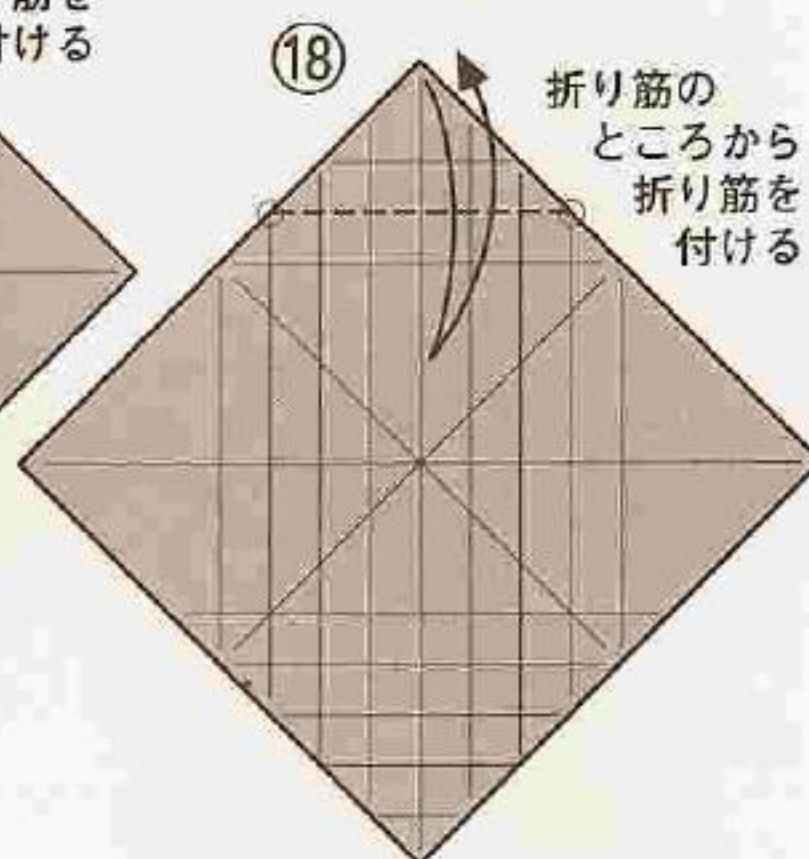
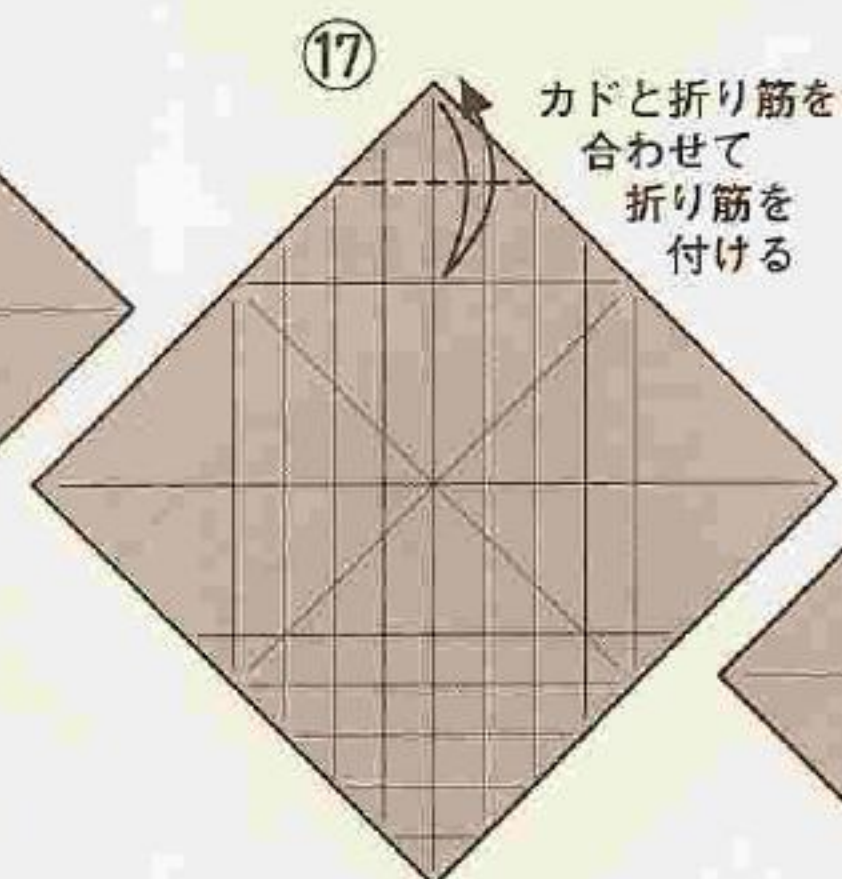
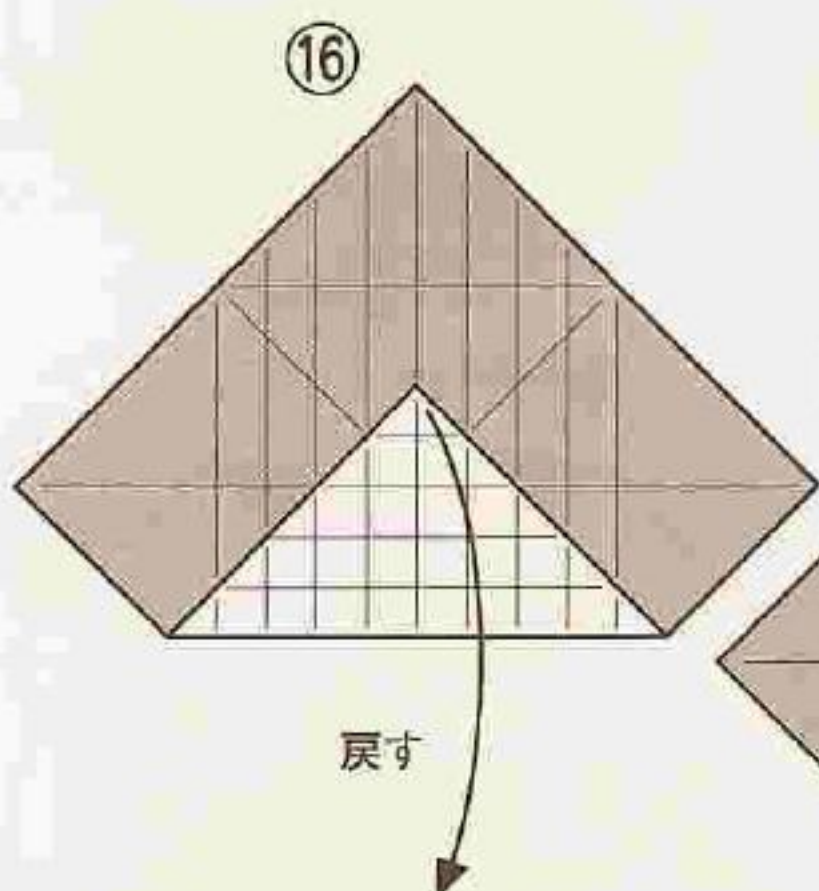
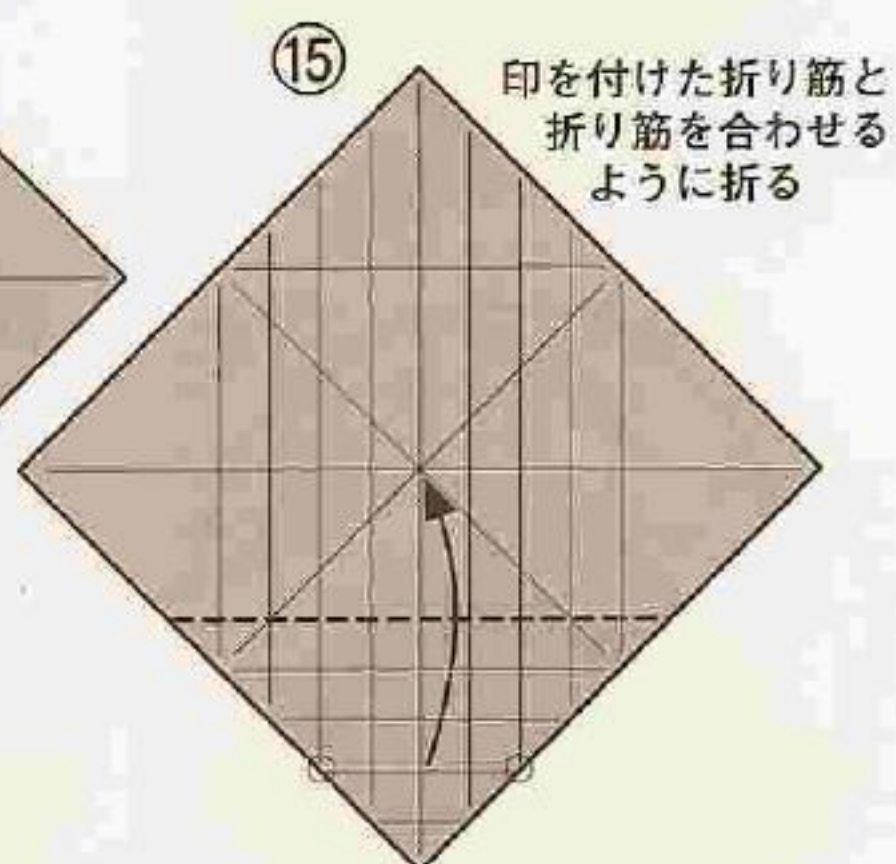
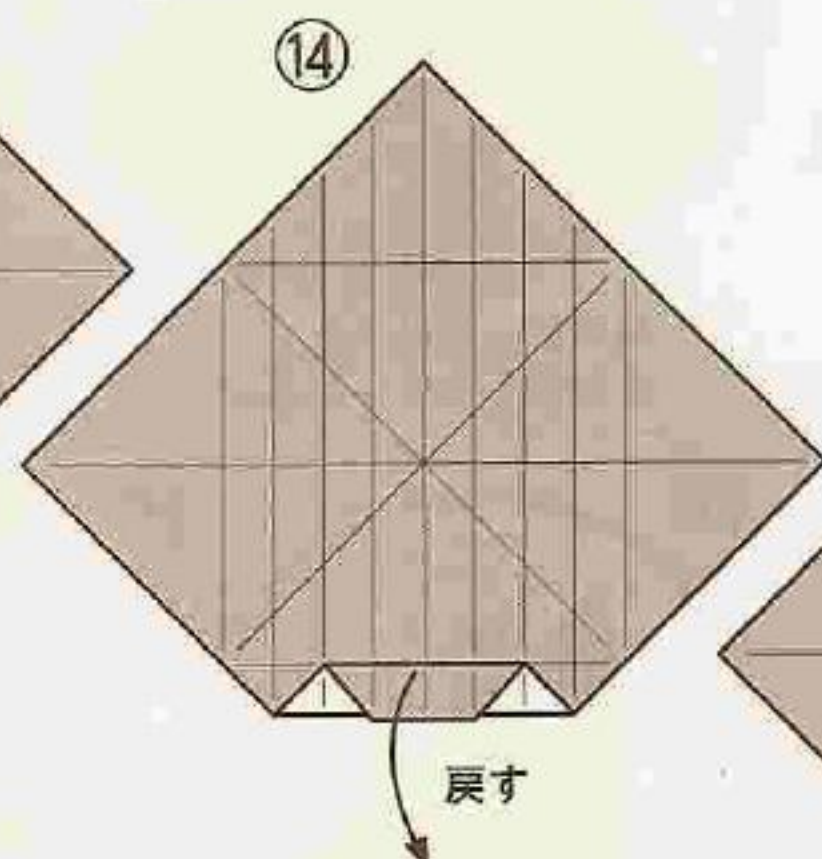
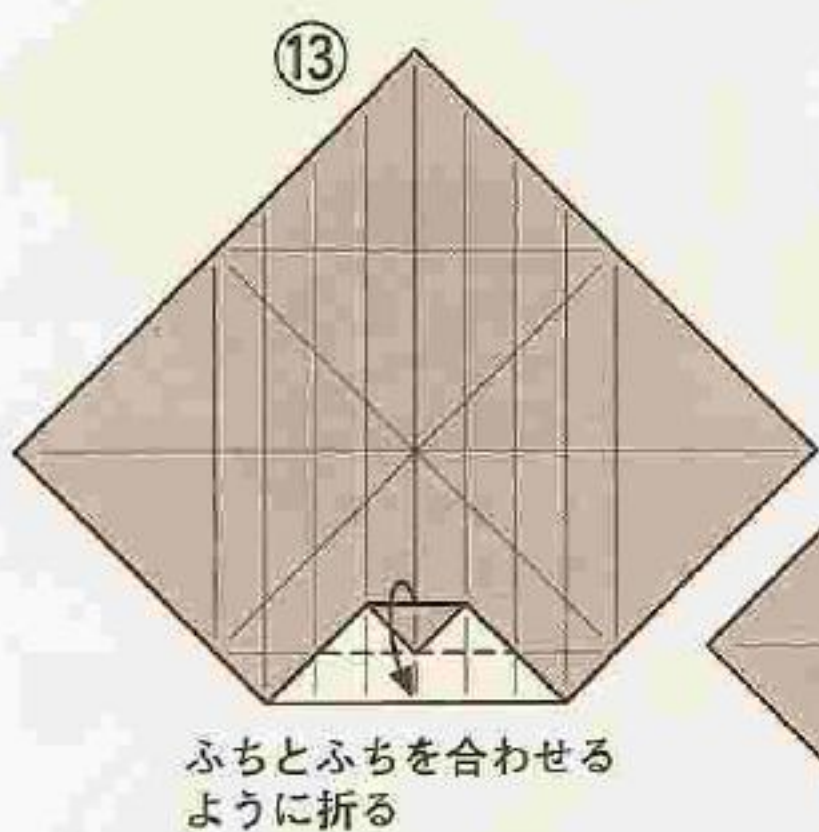
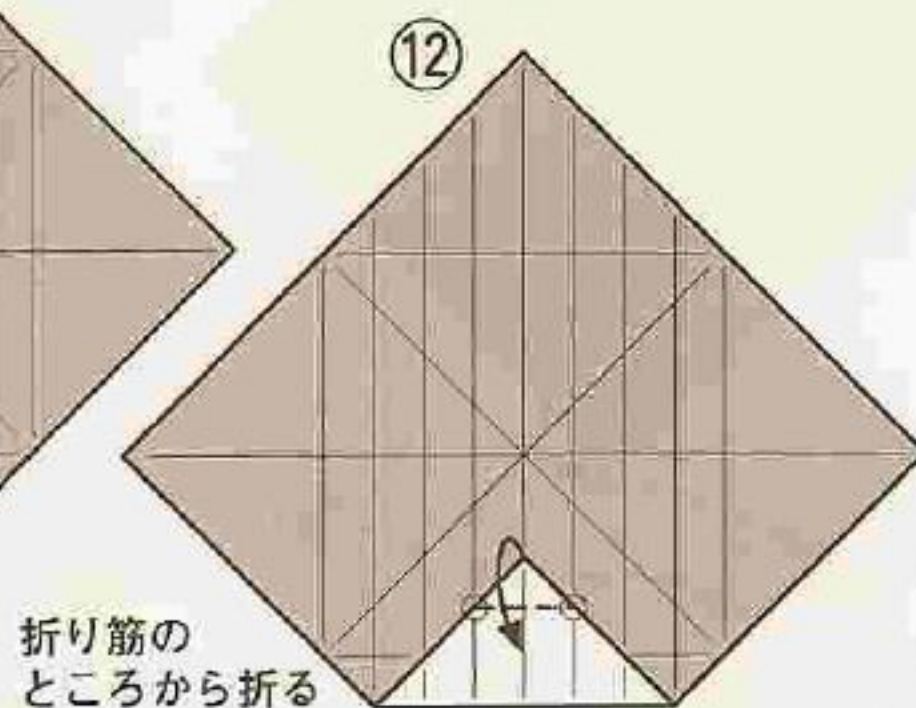
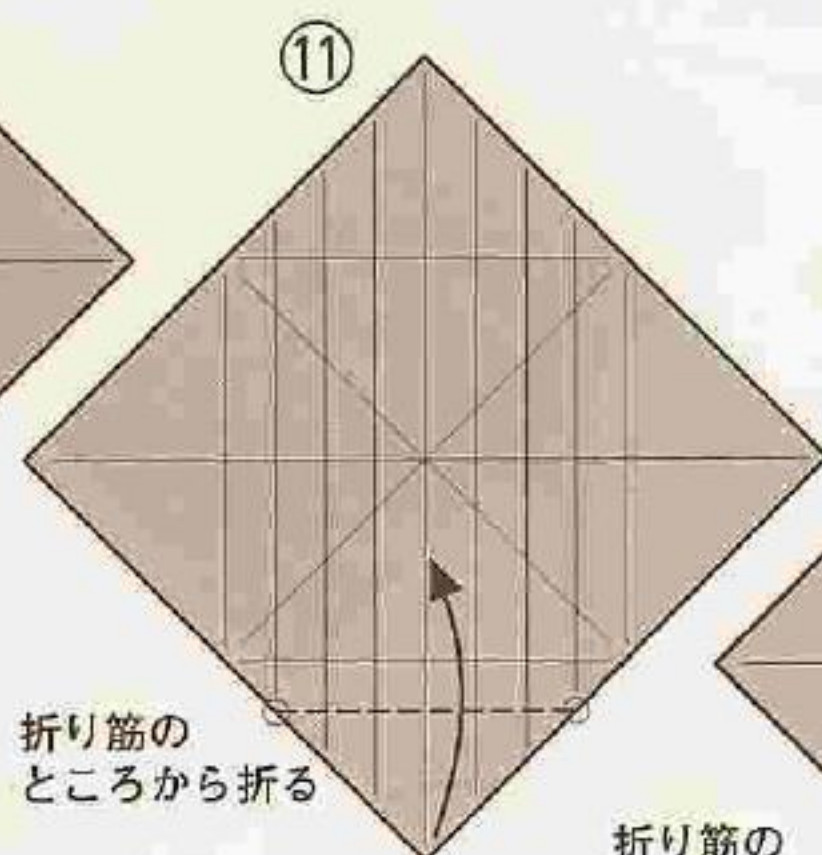
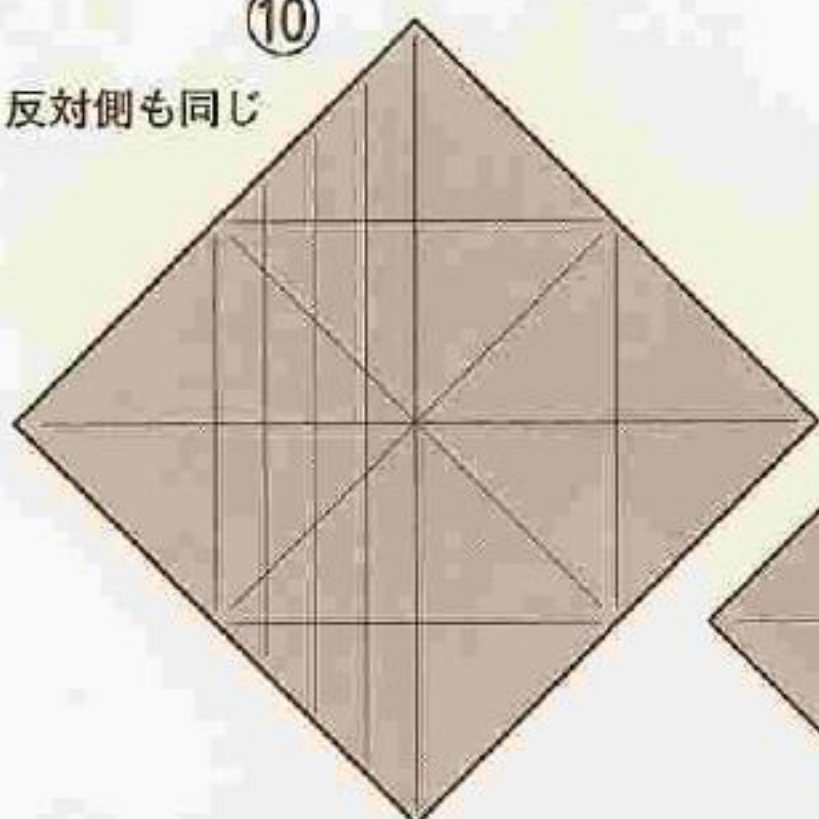
ふちと折り筋を
合わせて折る

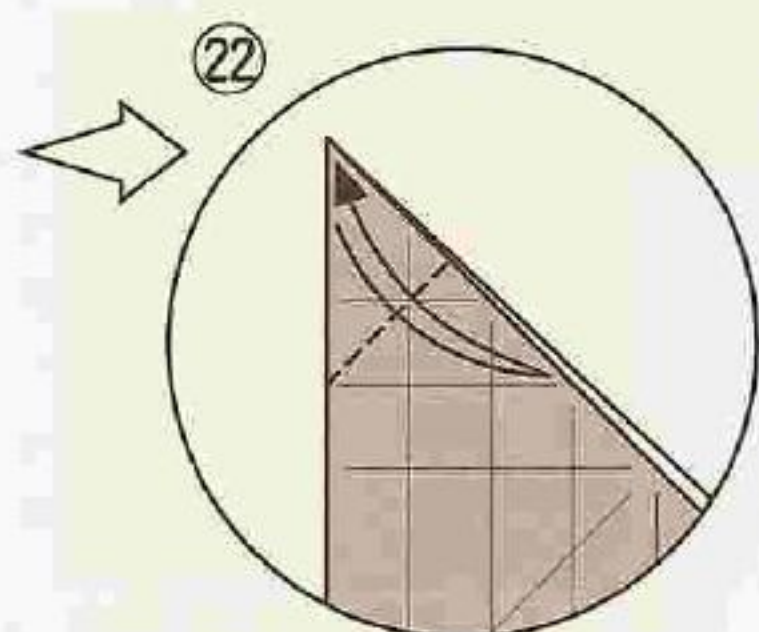
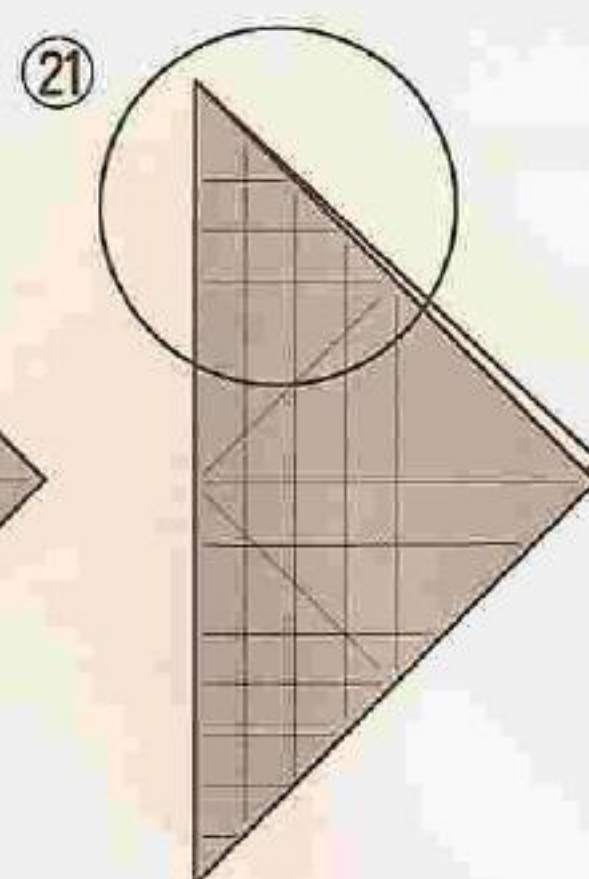
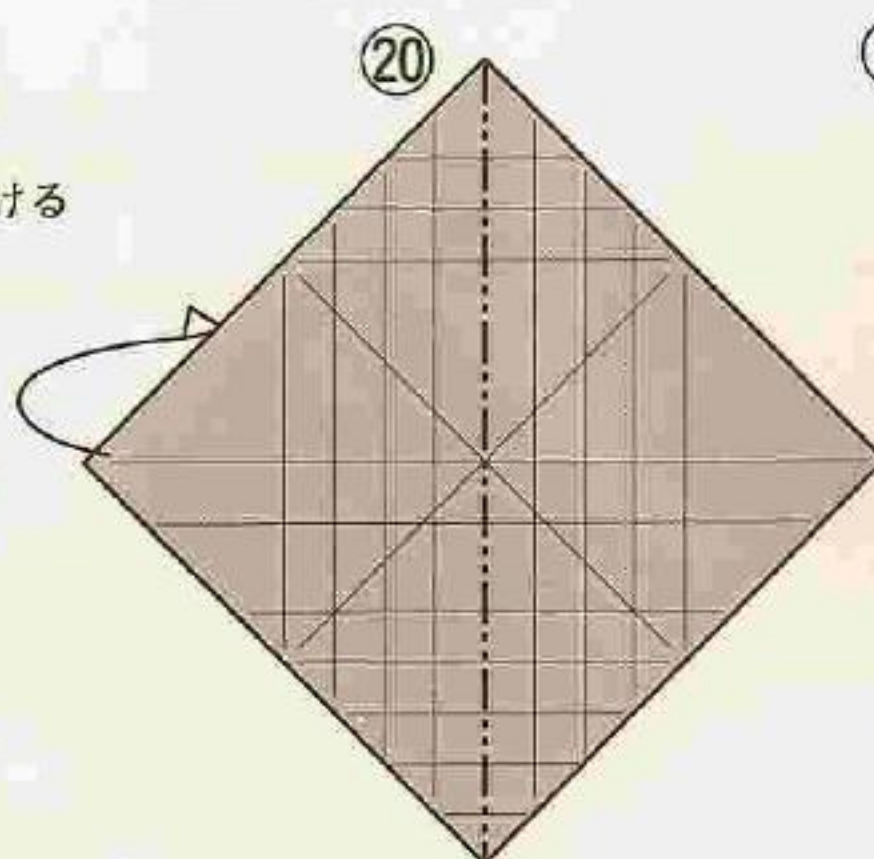
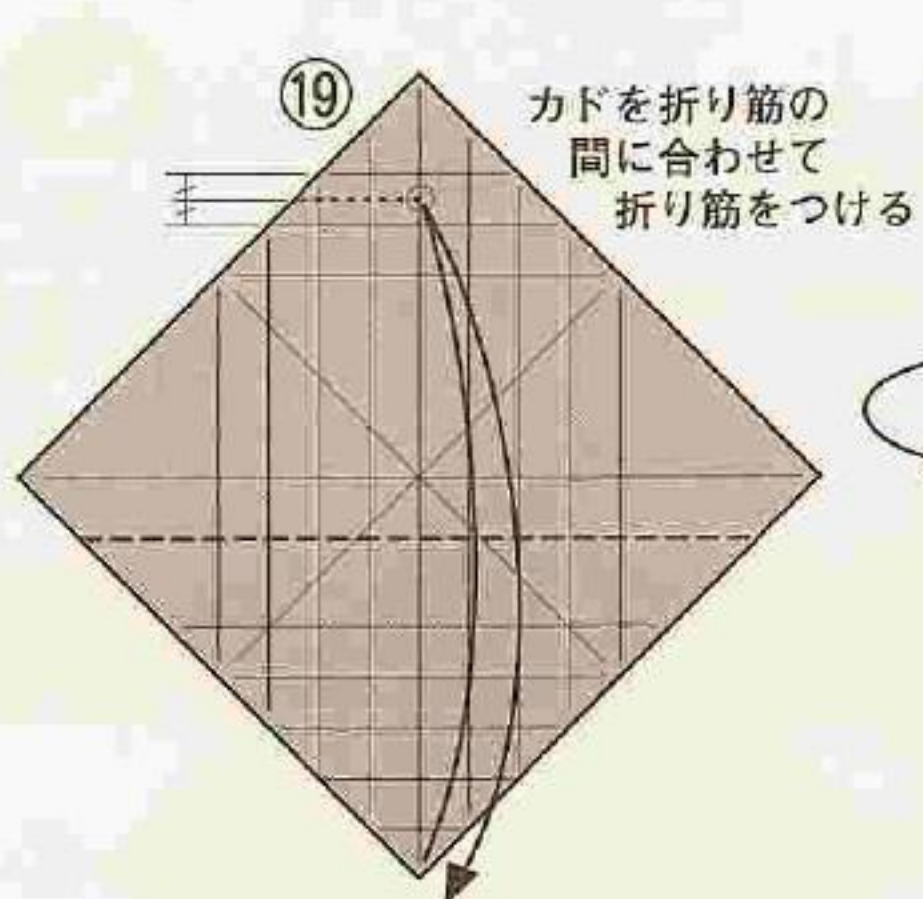
⑨



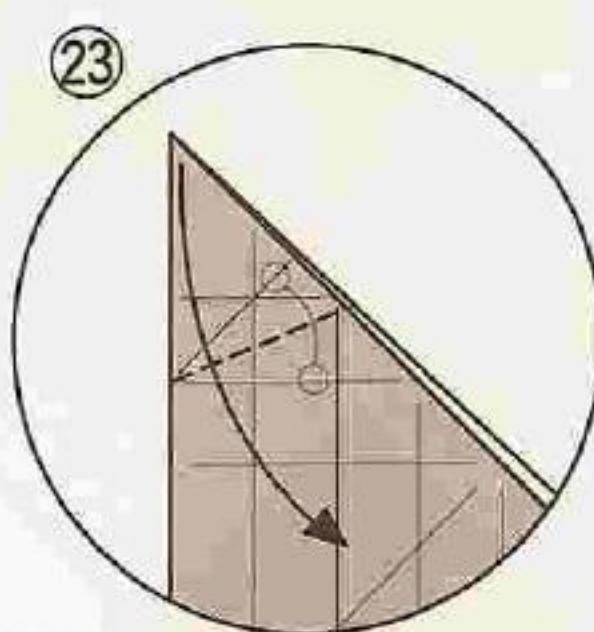
戻す

⑩ 反対側も同じ

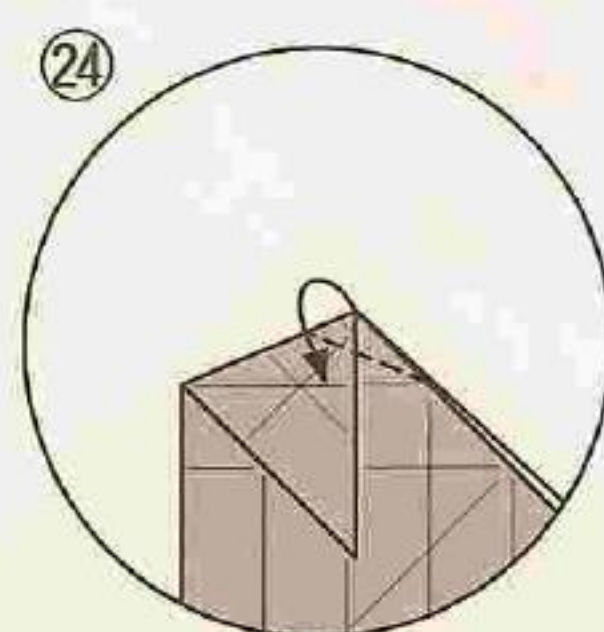




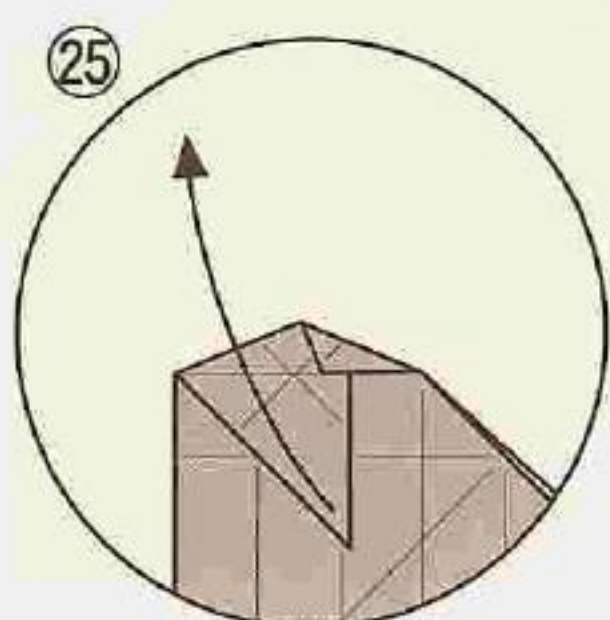
ふちと折り筋を
合わせて折り筋をつける



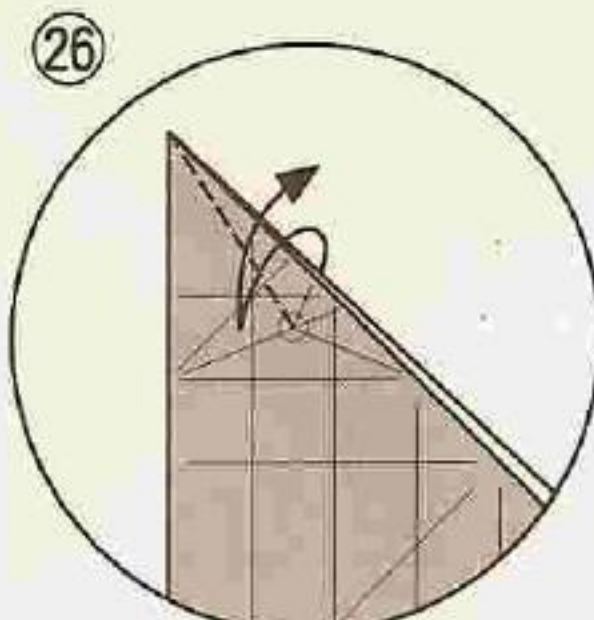
折り筋と折り筋を
合わせるように折る



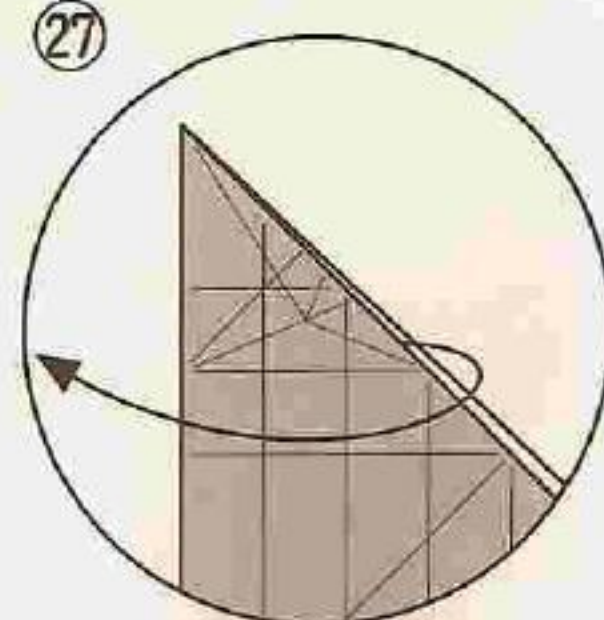
ふちを折り筋に
合わせて折る



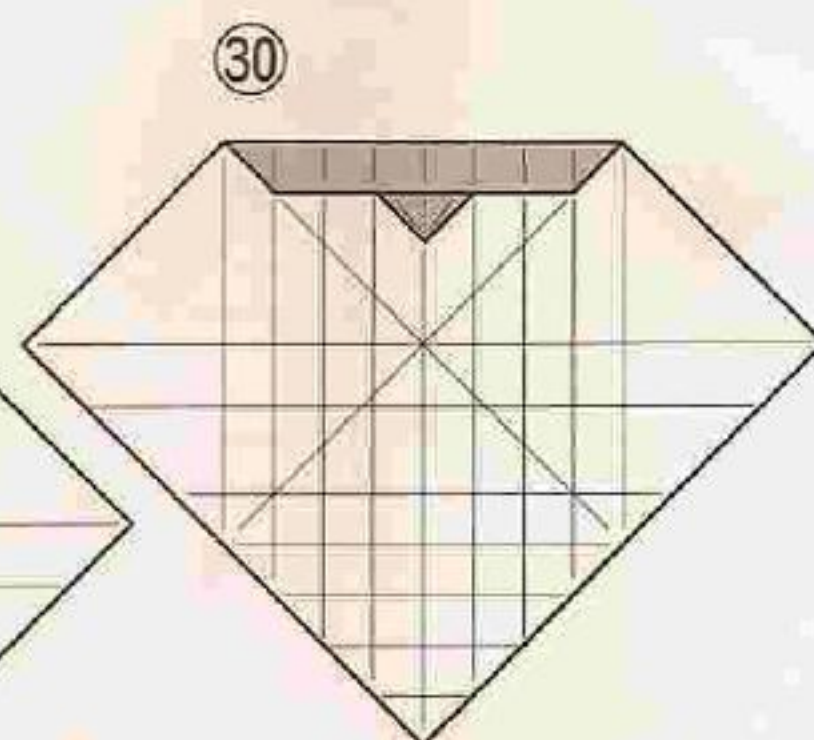
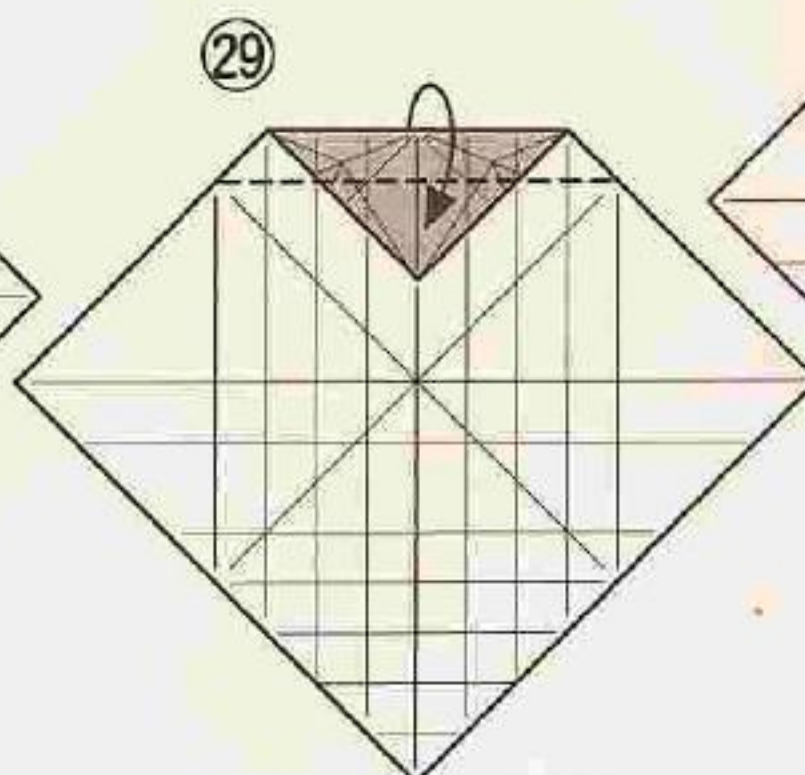
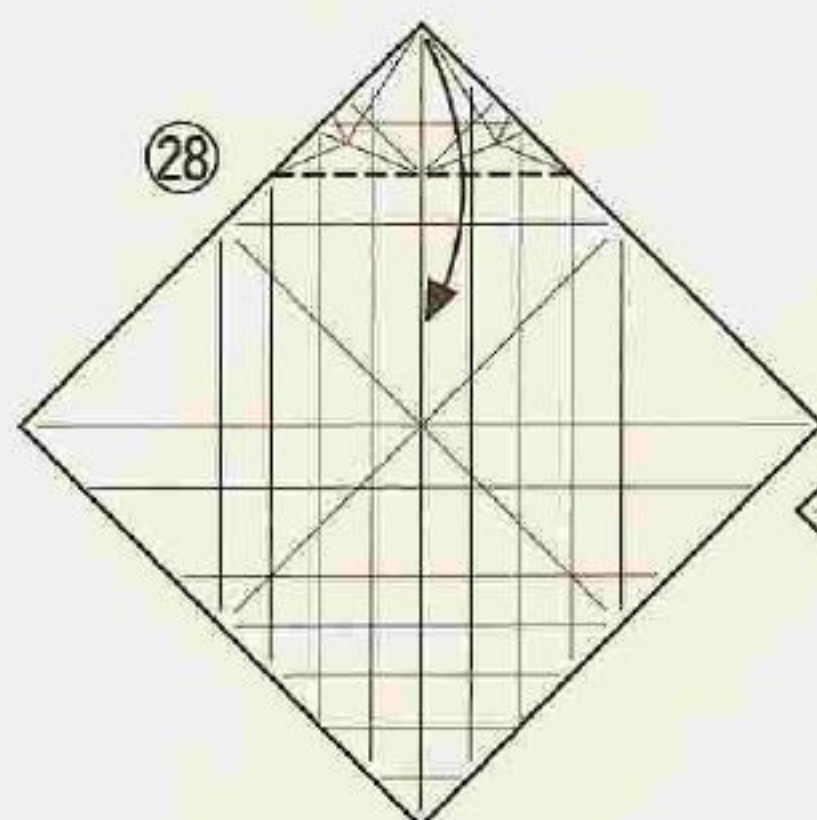
戻す

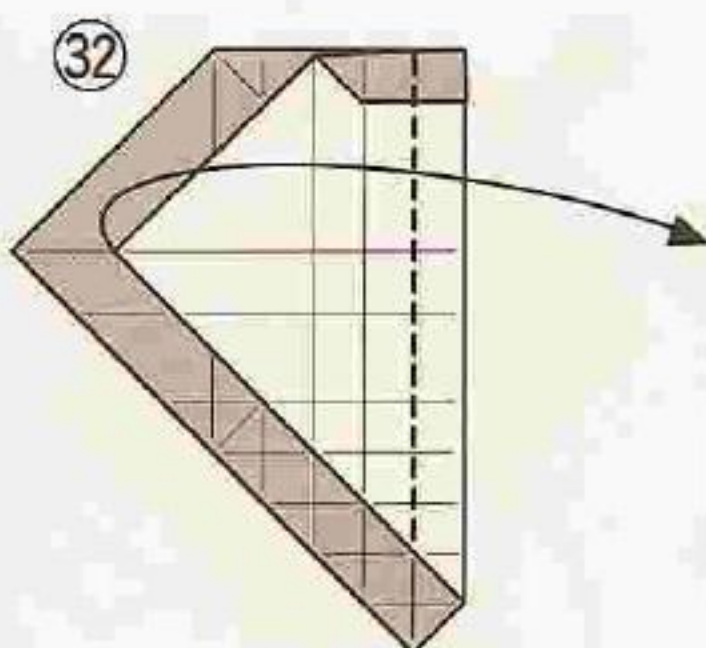
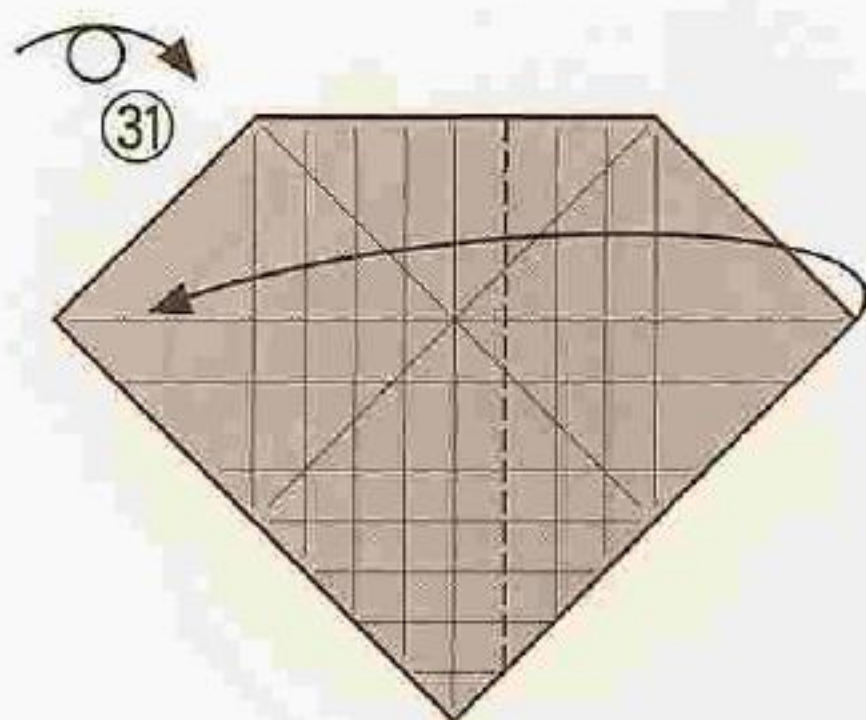


カドと印を結んで
折り筋をつける

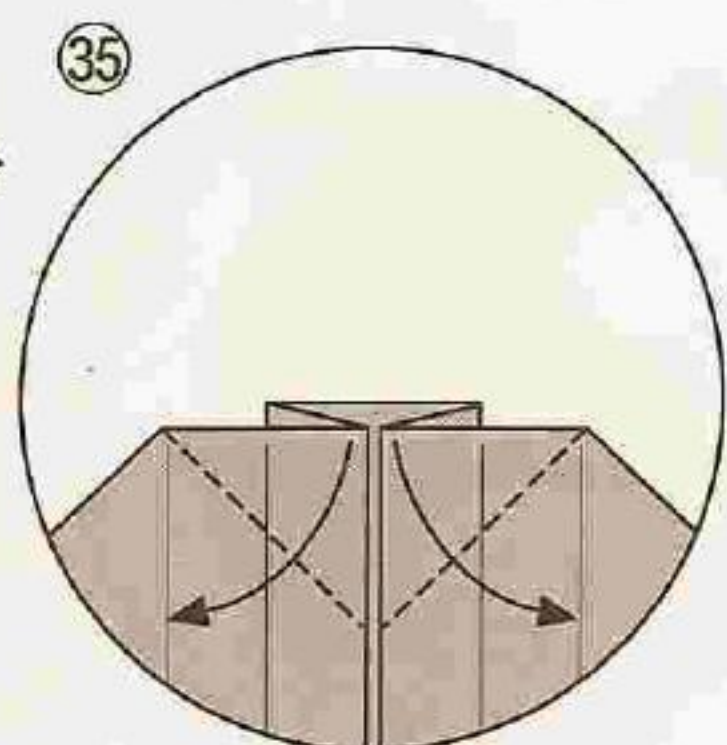
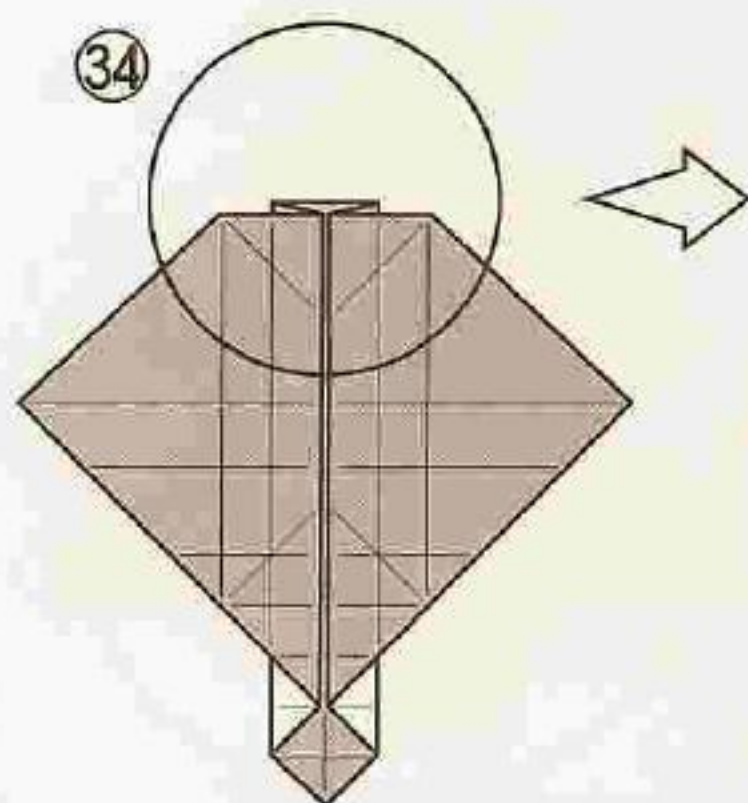


開く

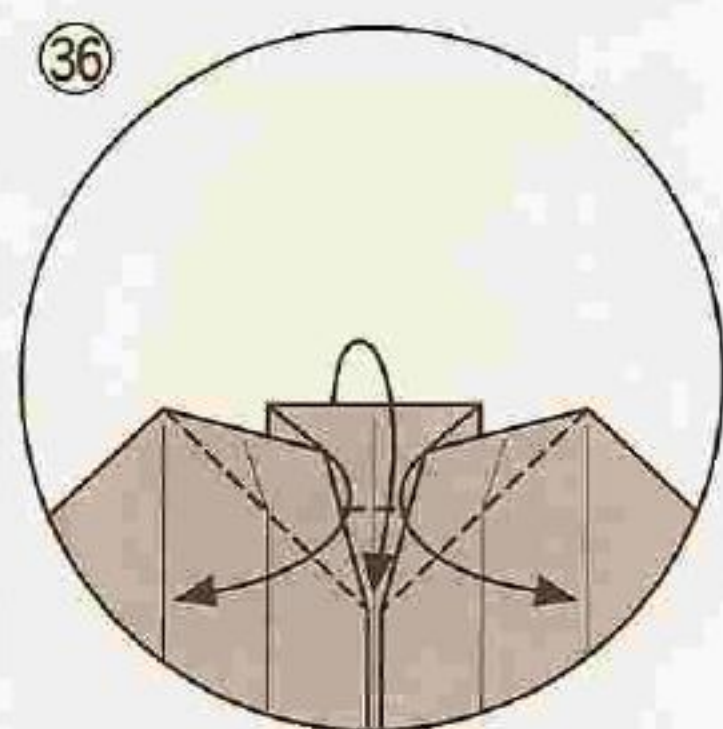




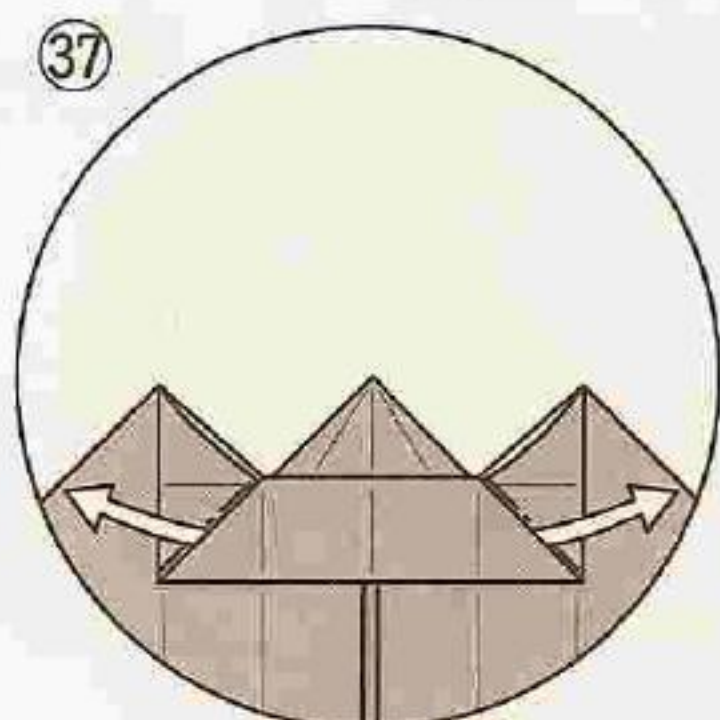
反対側も
同じ



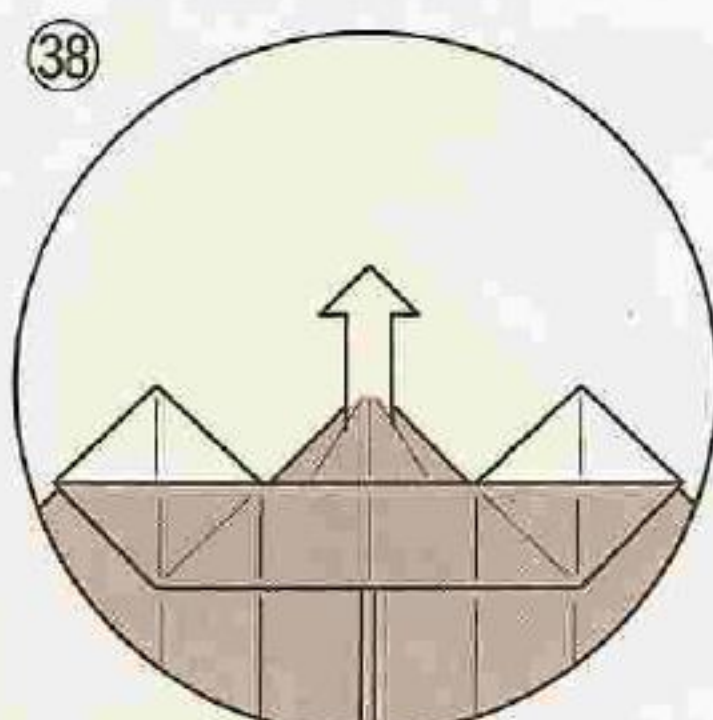
内側をひろげて
つぶすように折る



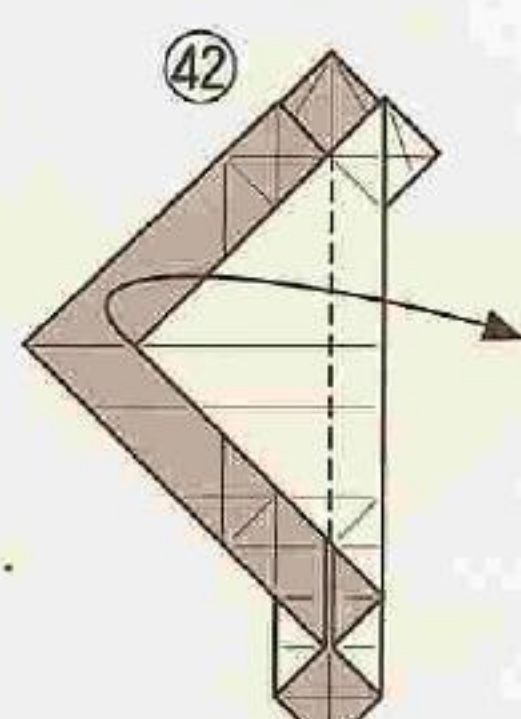
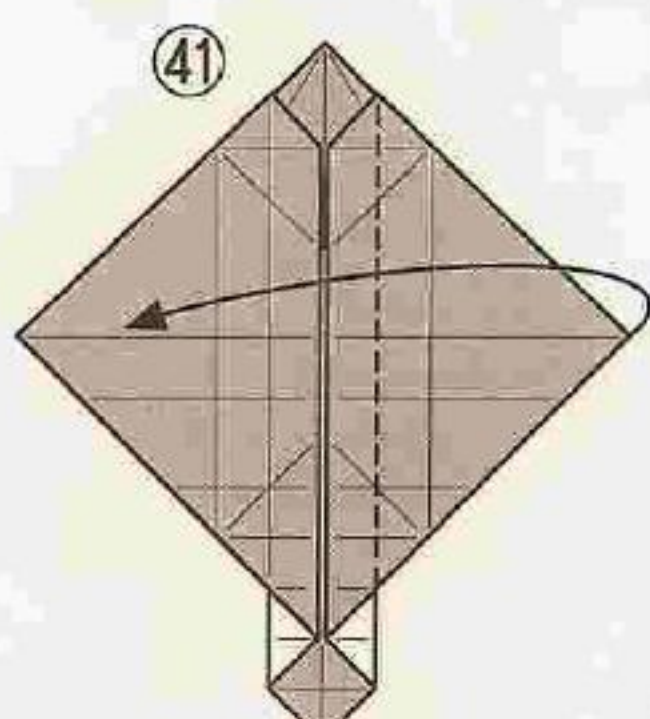
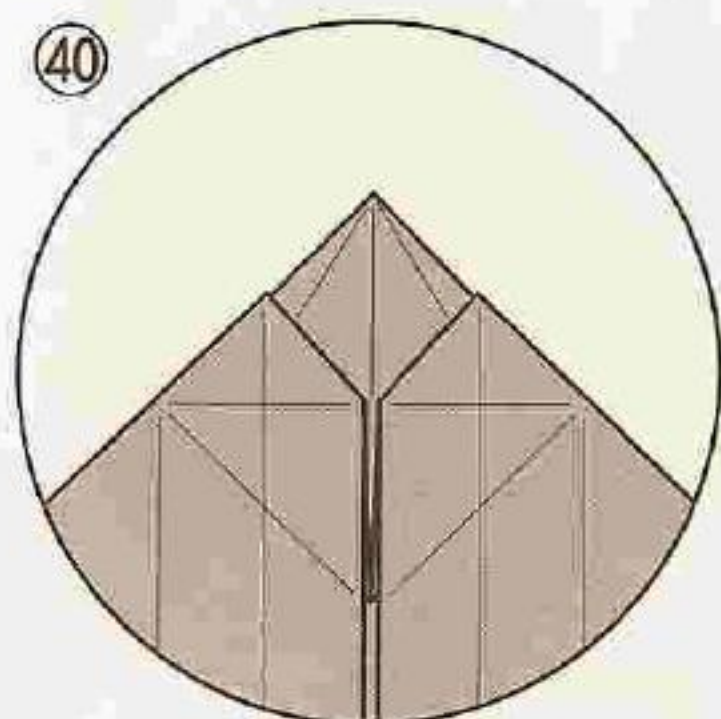
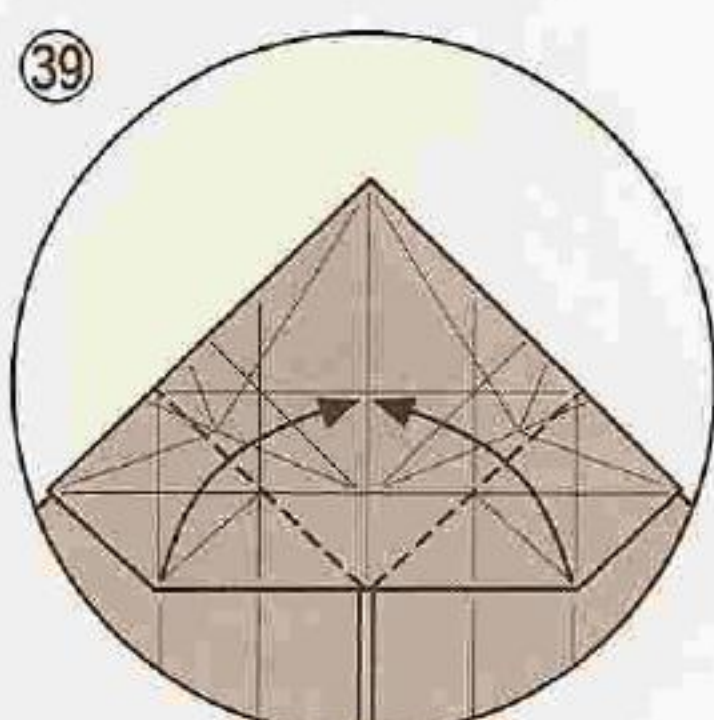
途中の図

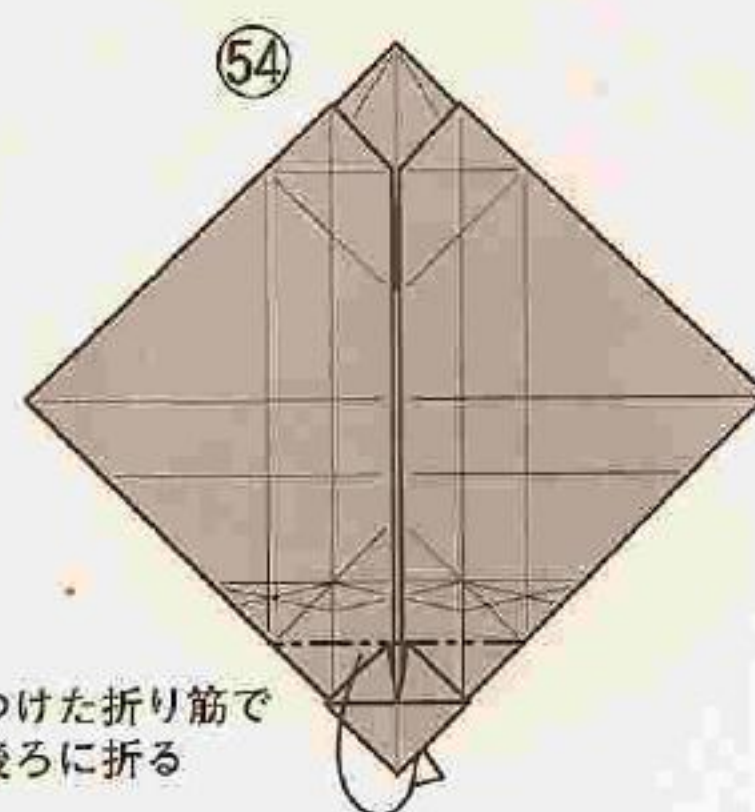
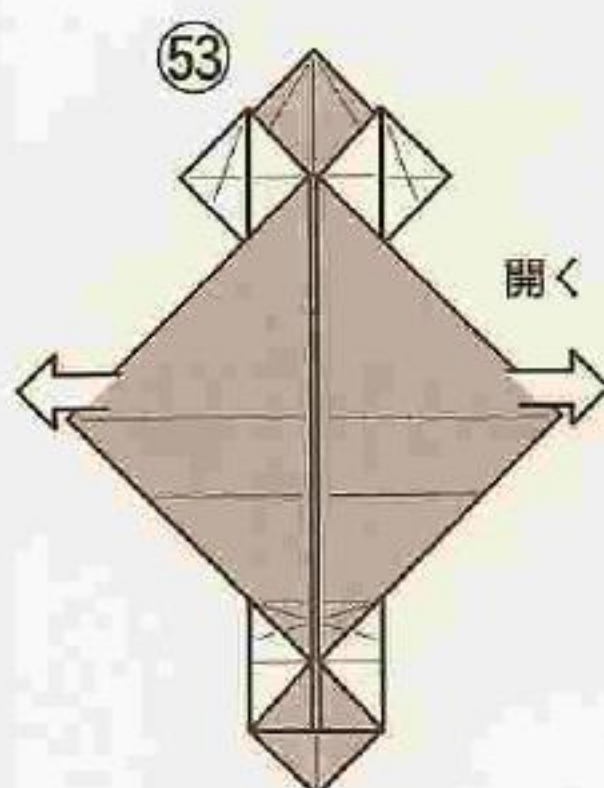
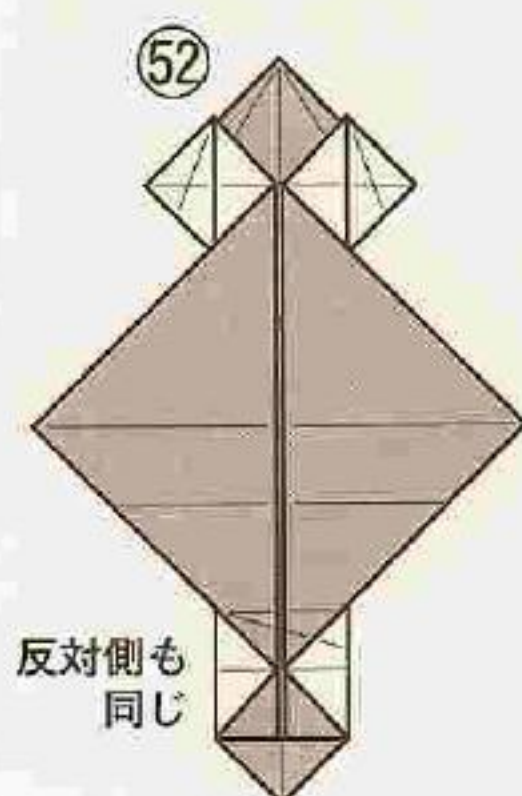
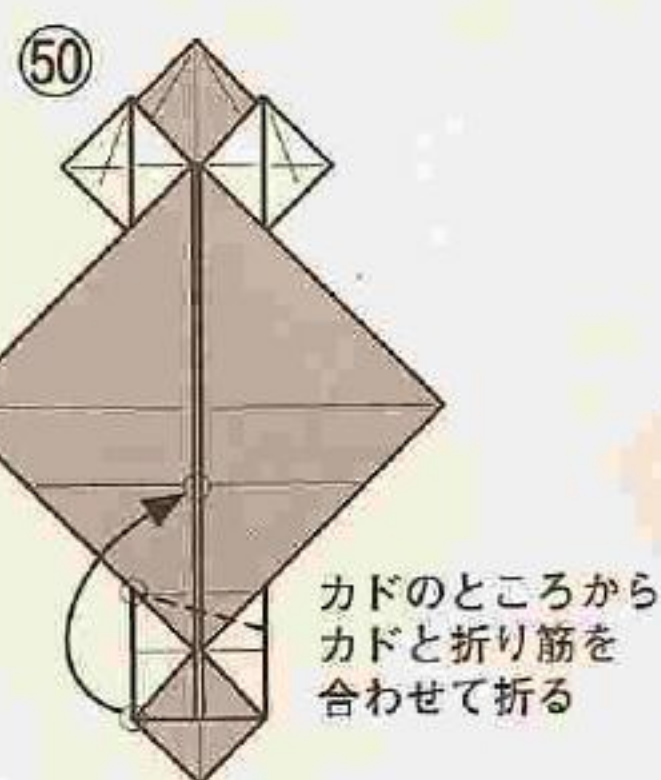
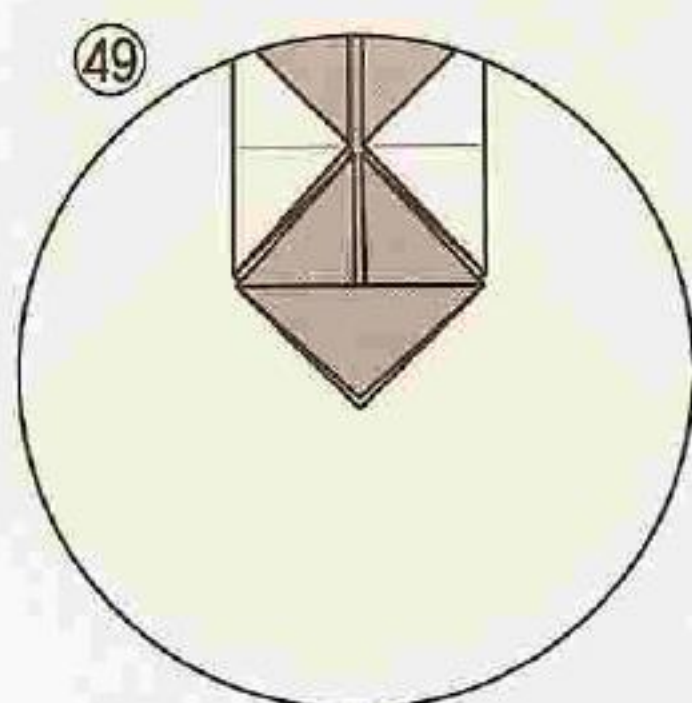
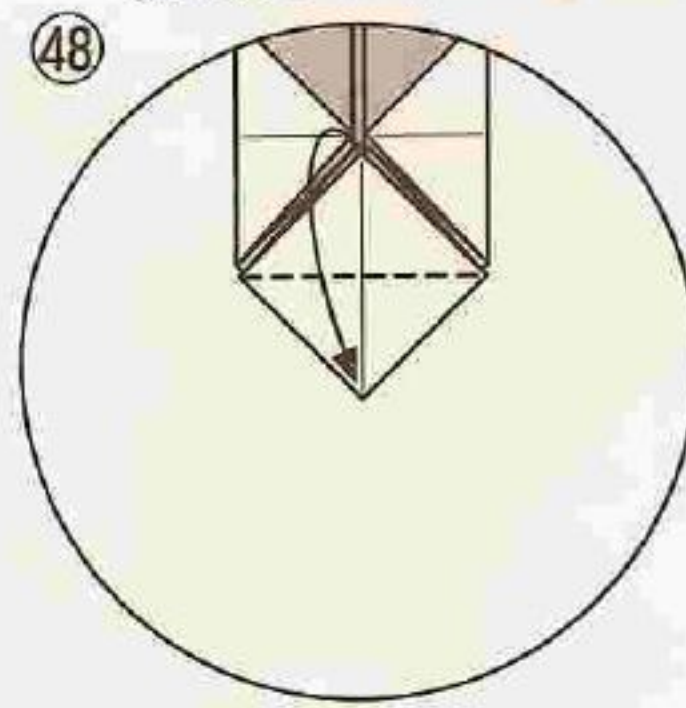
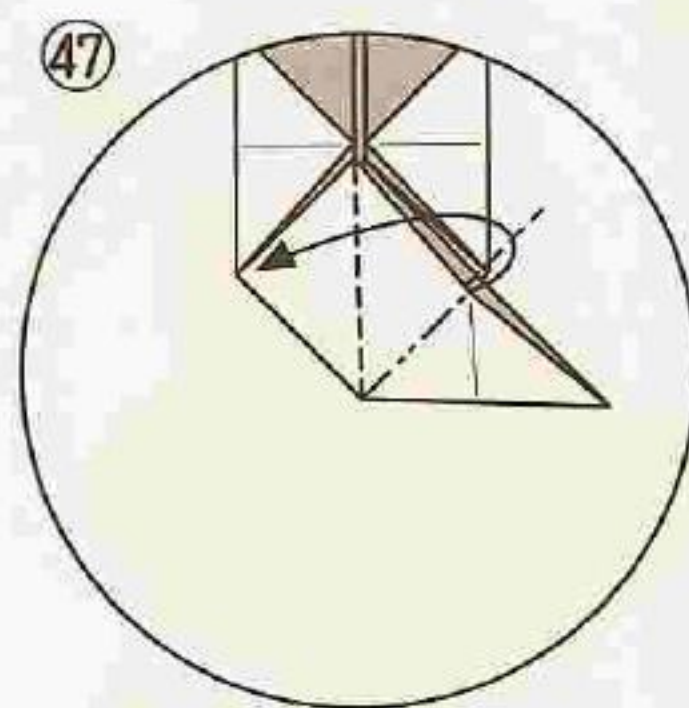
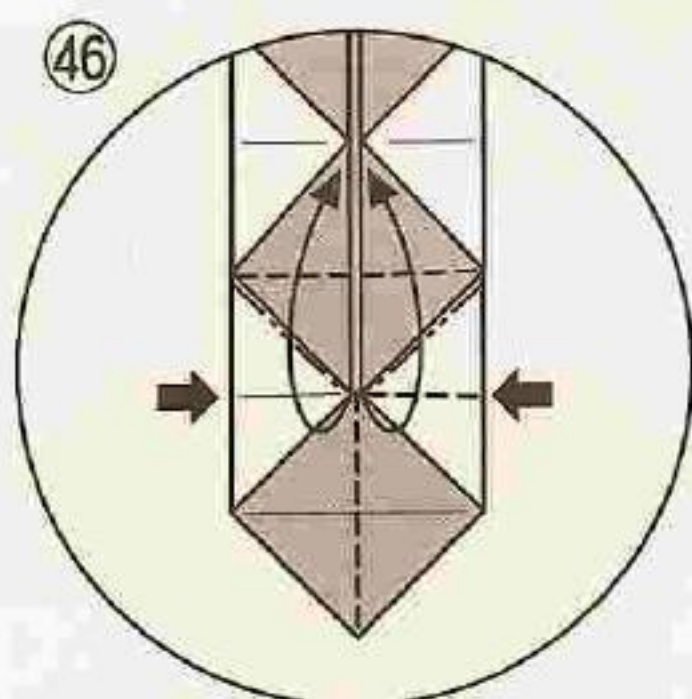
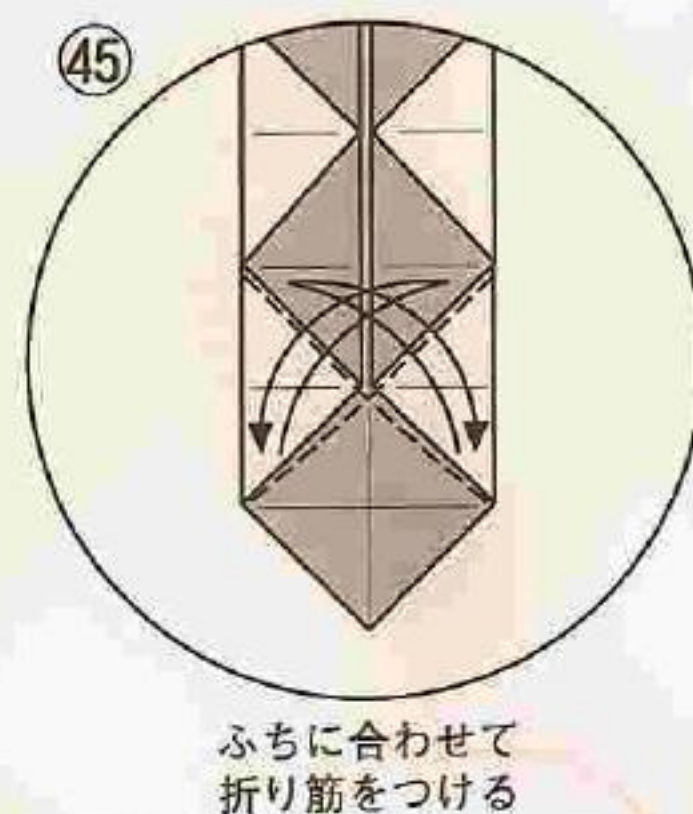
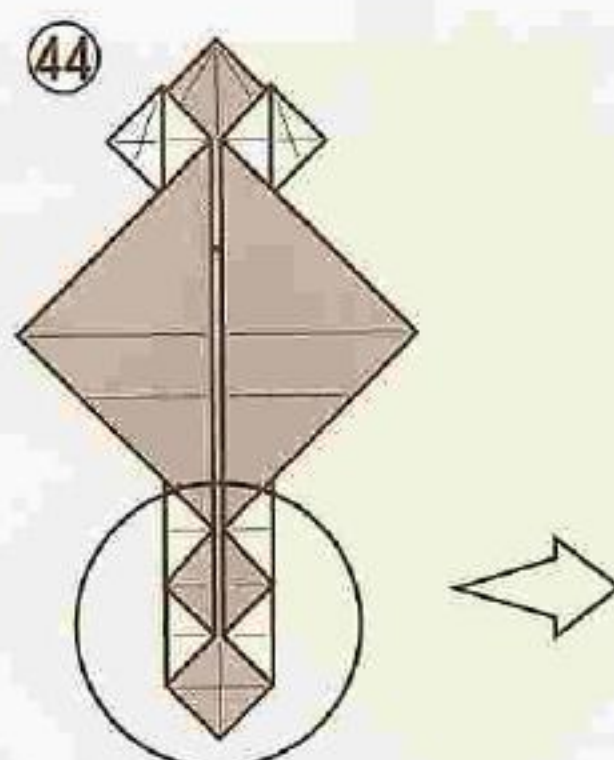
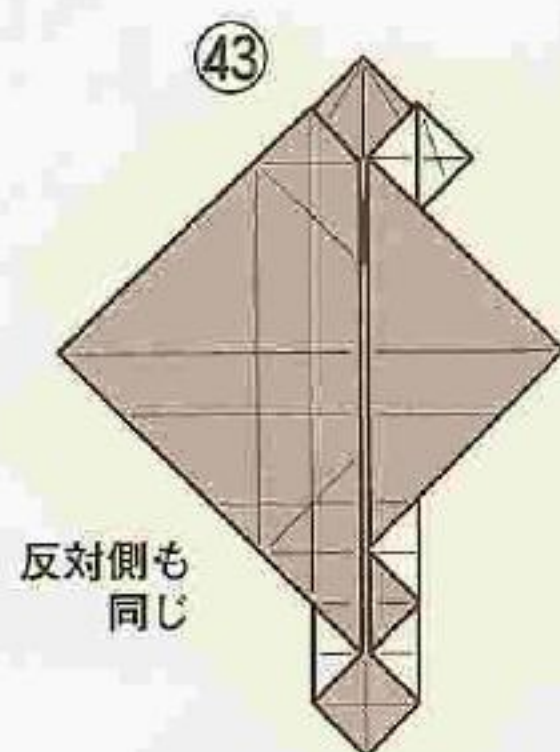


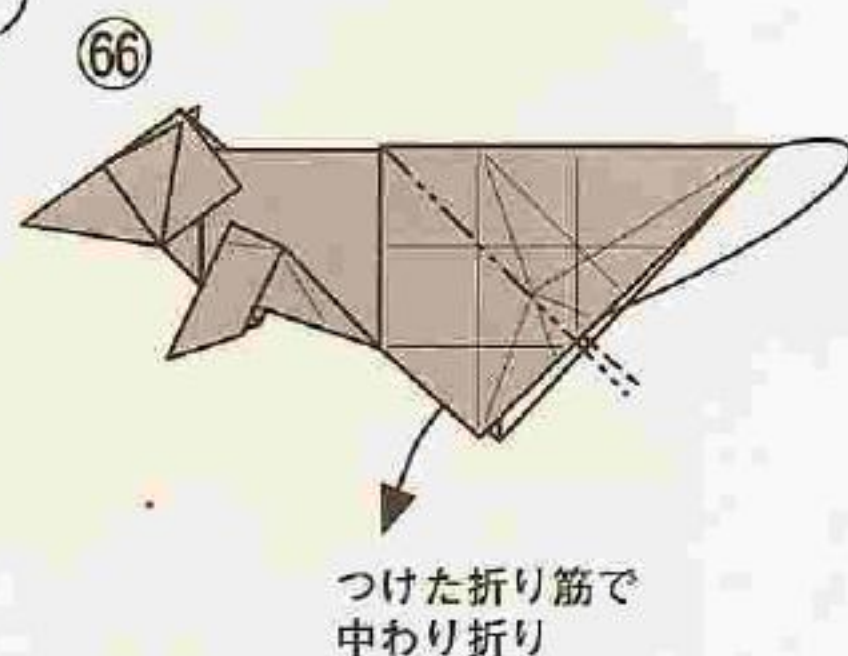
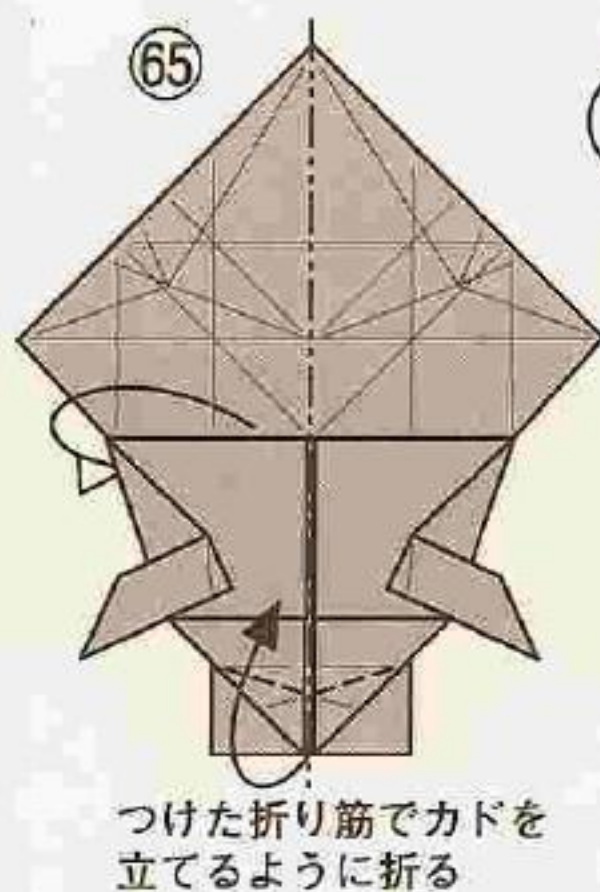
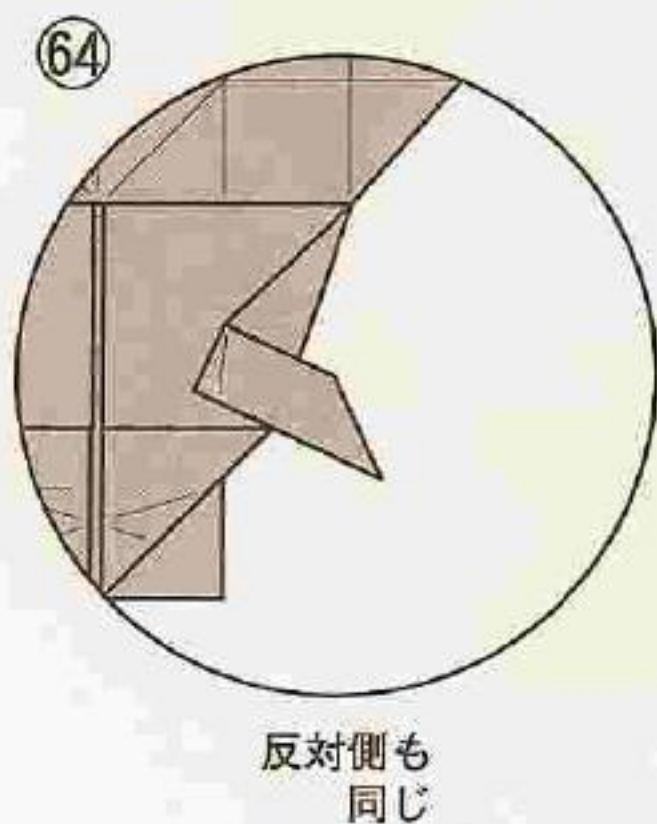
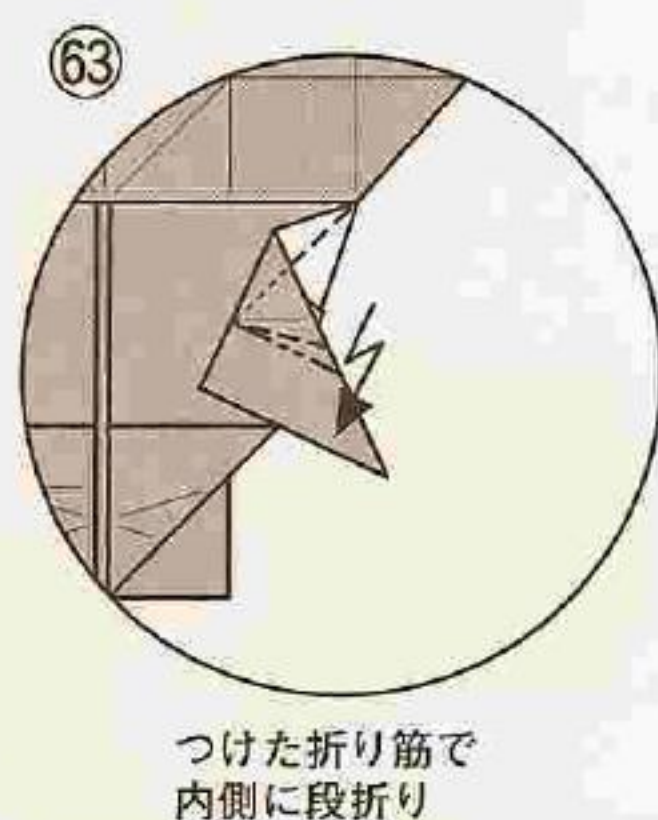
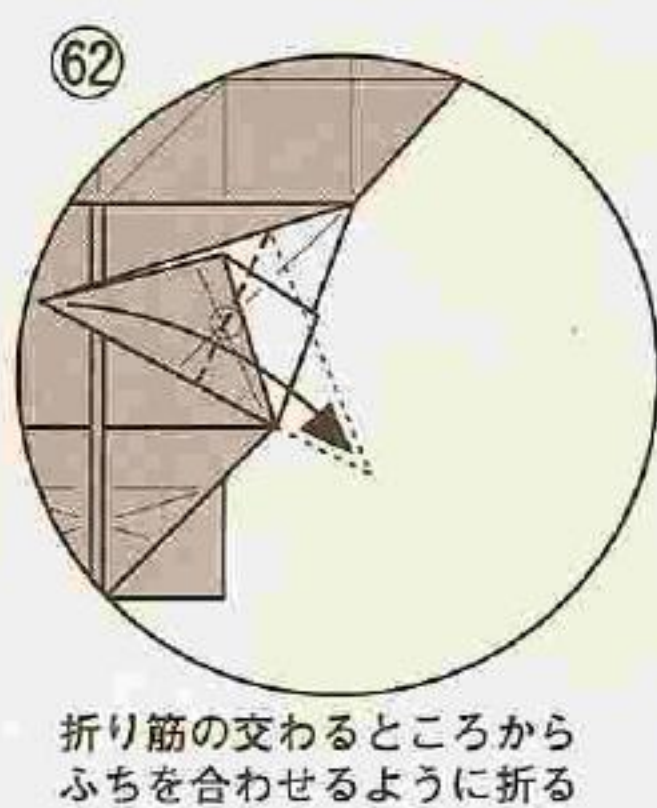
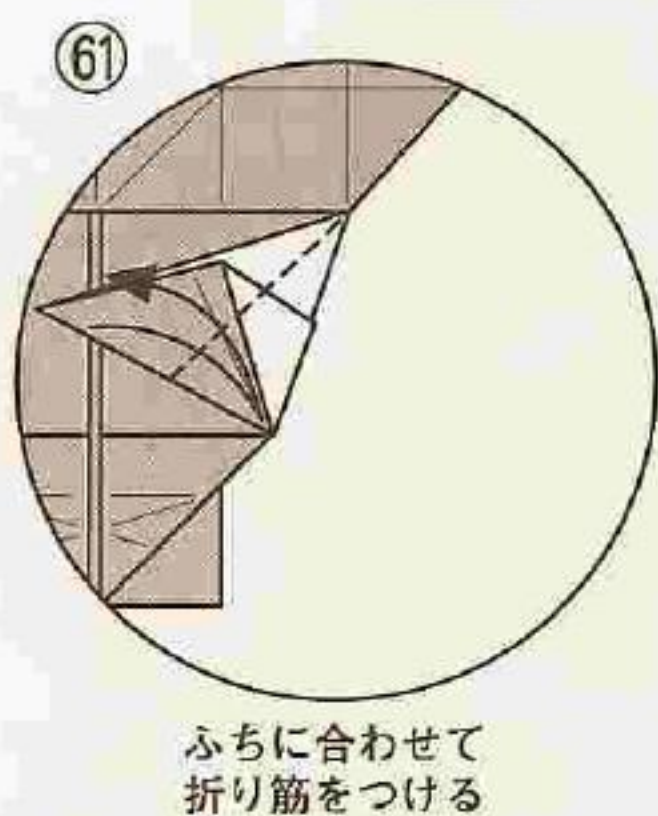
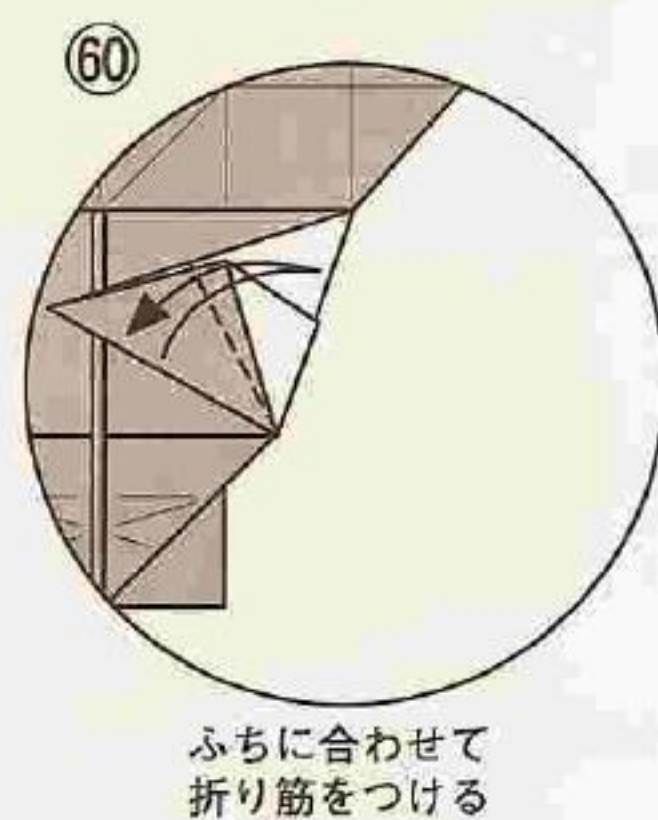
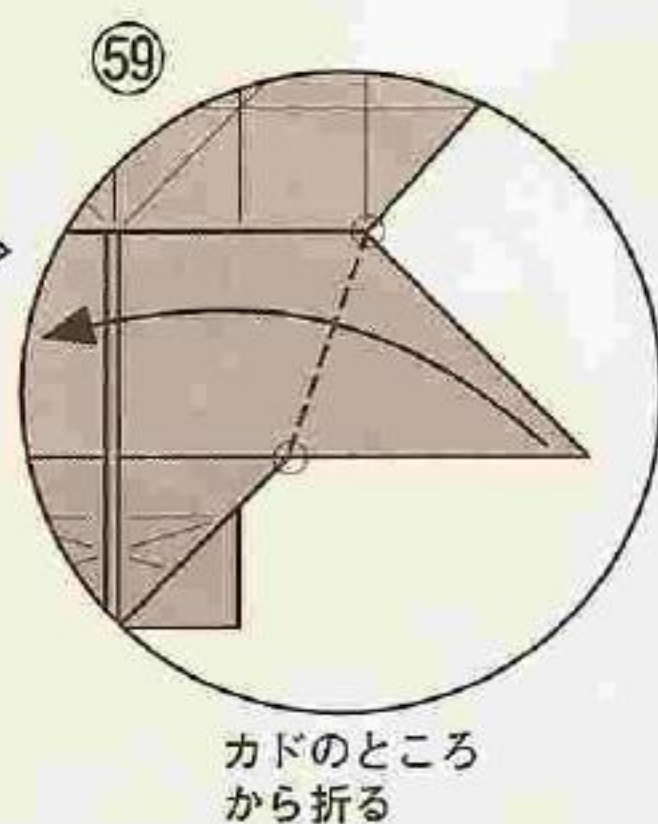
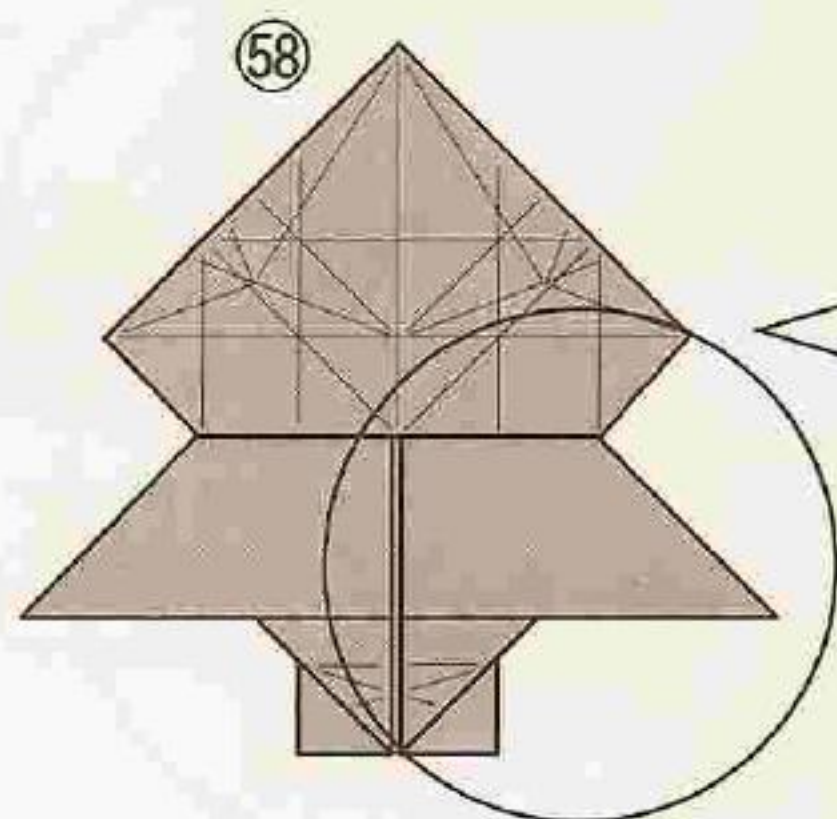
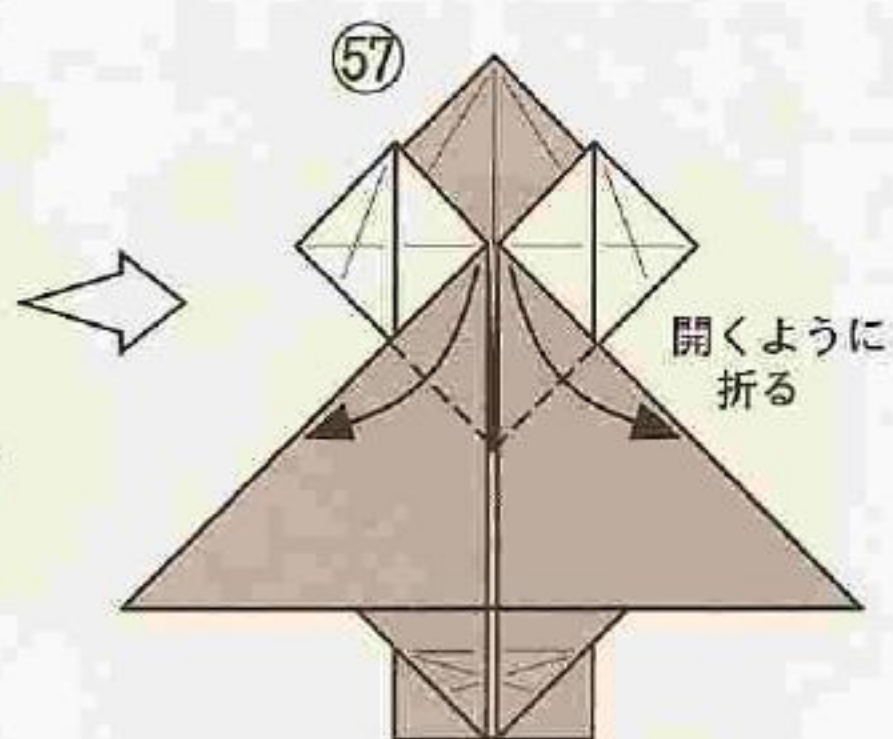
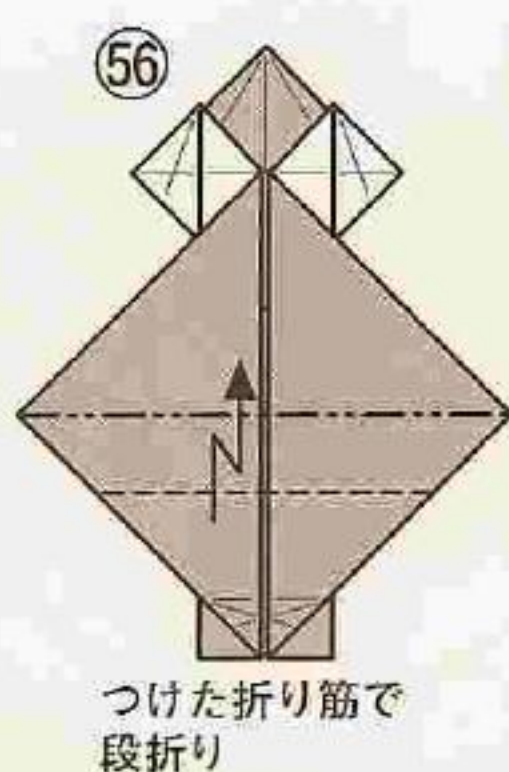
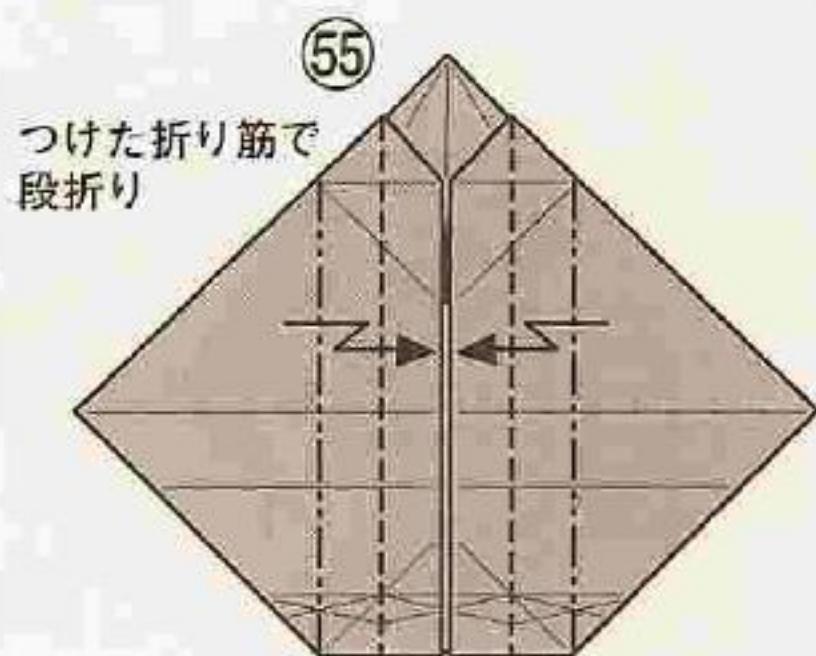
カドを引き出す

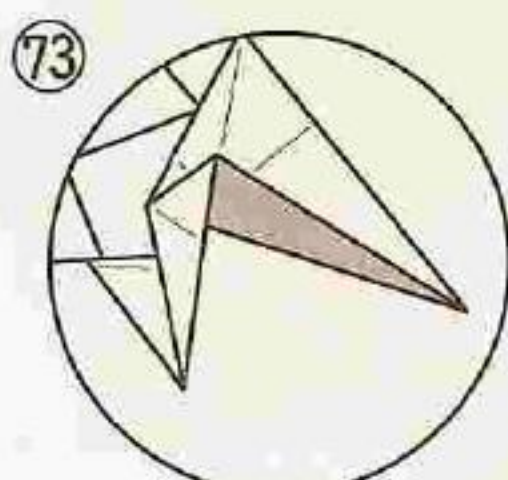
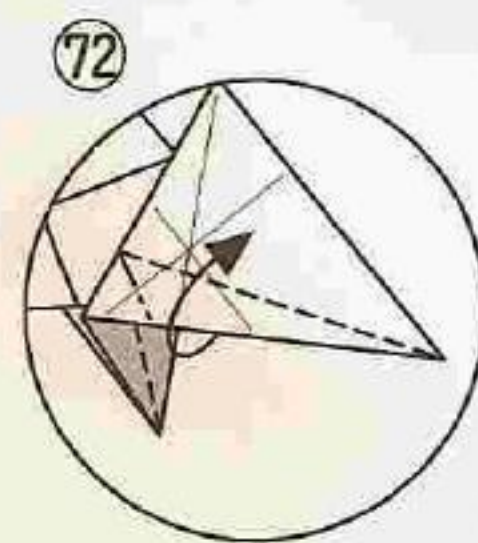
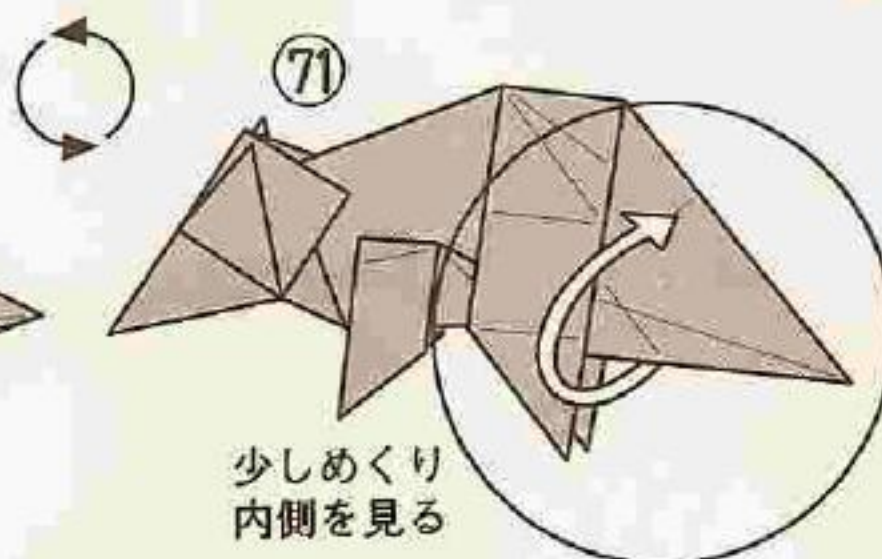
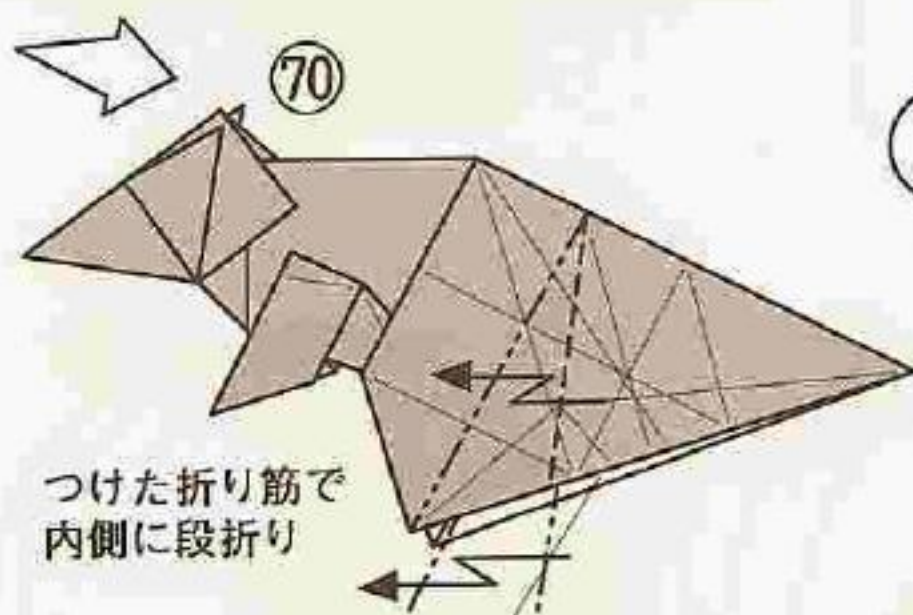
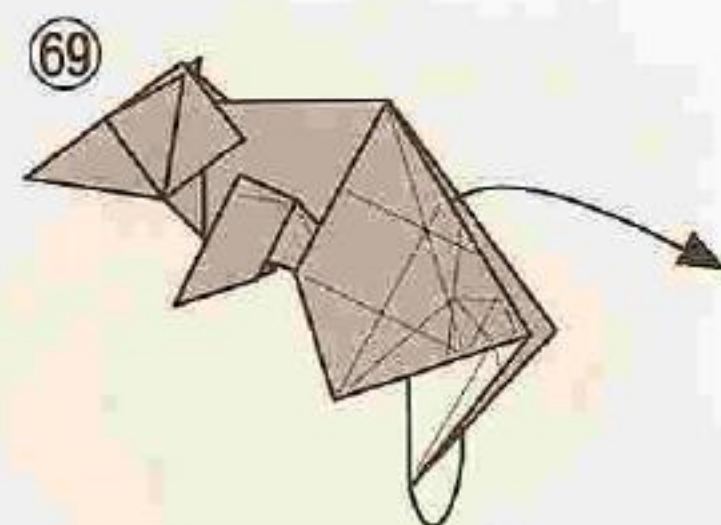
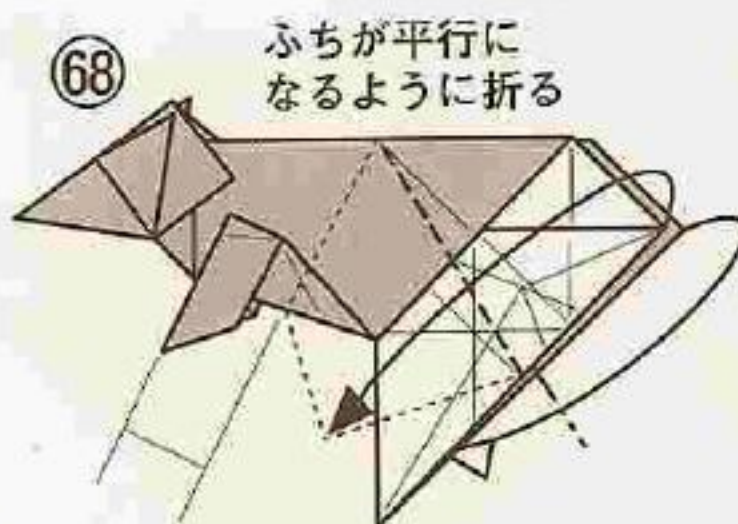
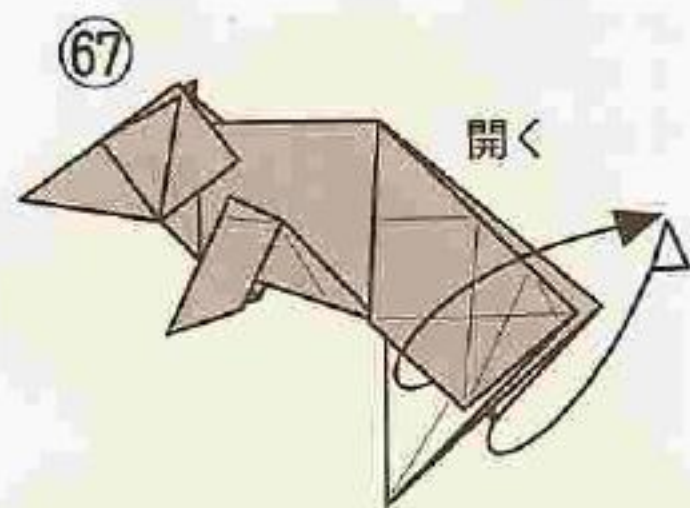


内側に折りたたまれて
いる紙を引き出す

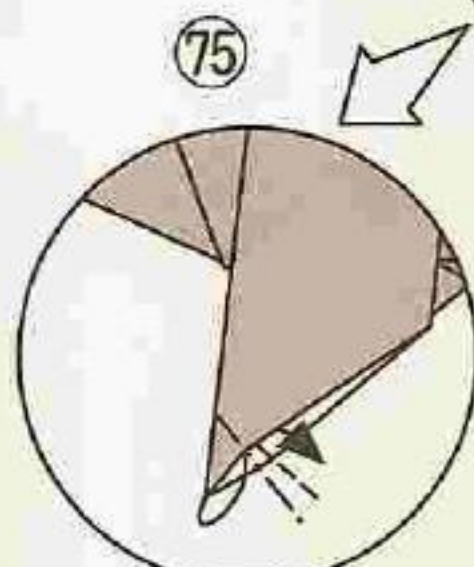
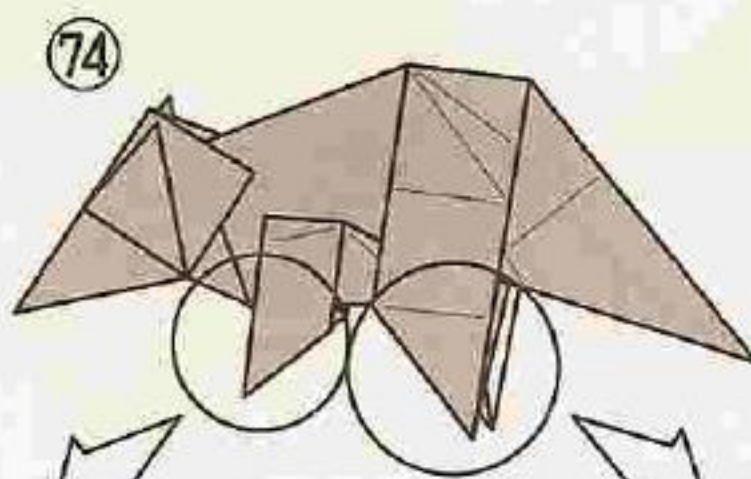




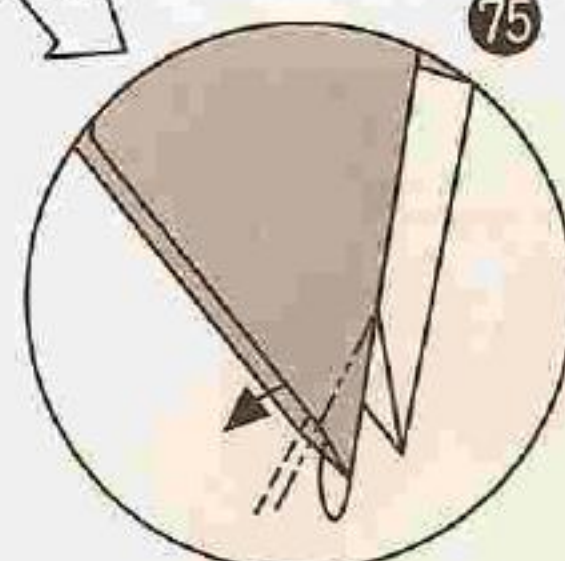




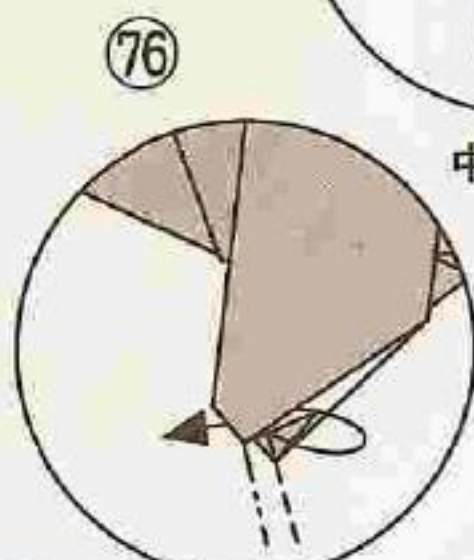
反対側も同じ



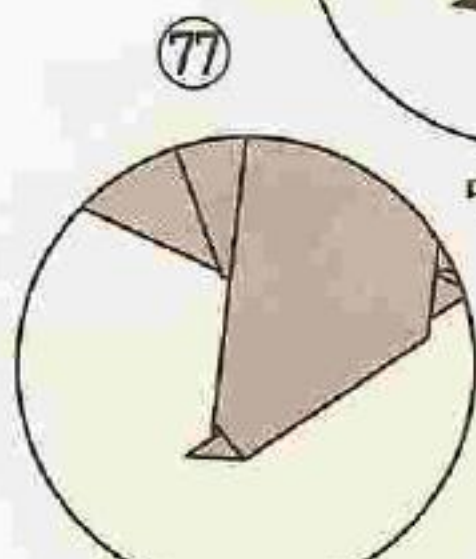
中わり折り



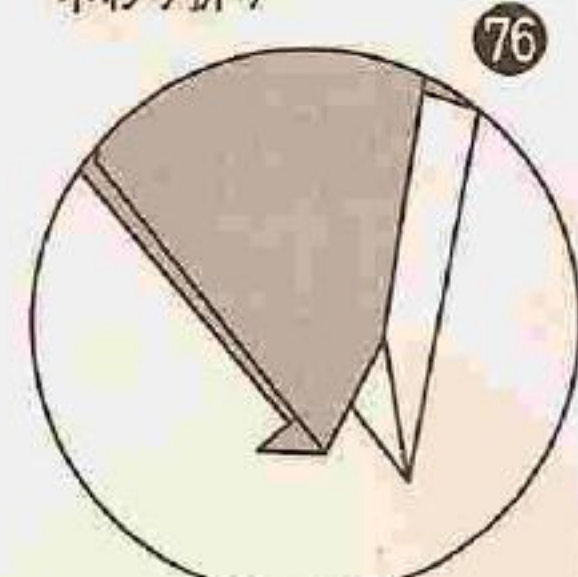
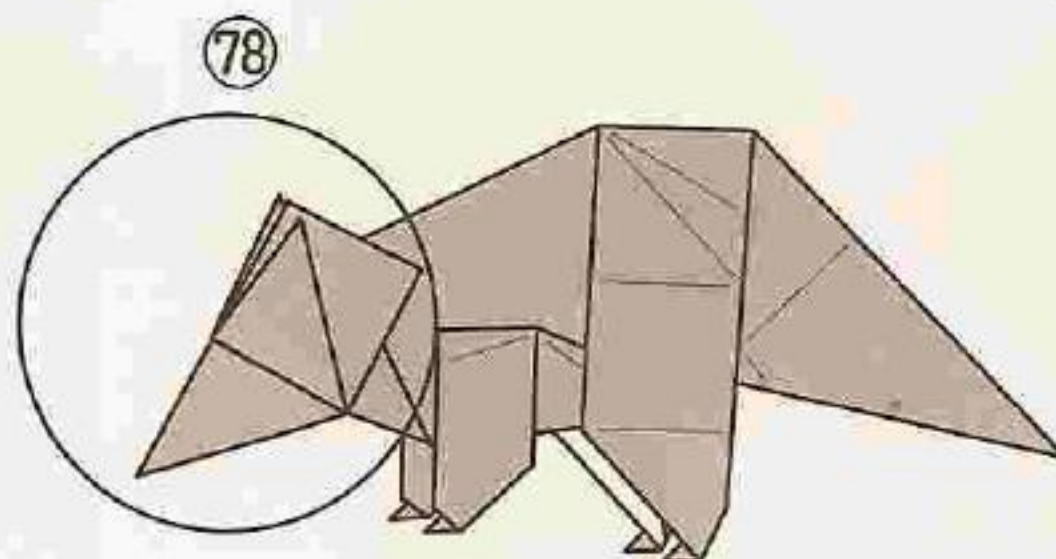
中わり折り



中わり折り



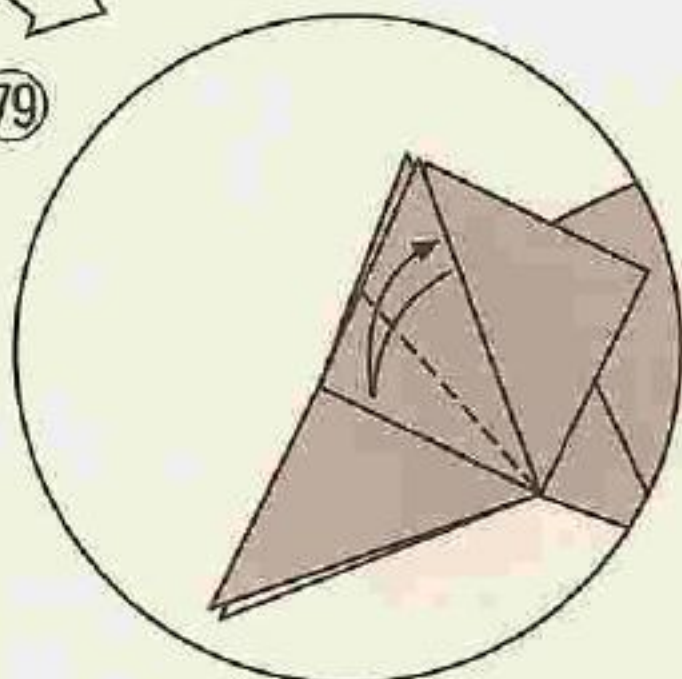
反対側も同じ



反対側も同じ

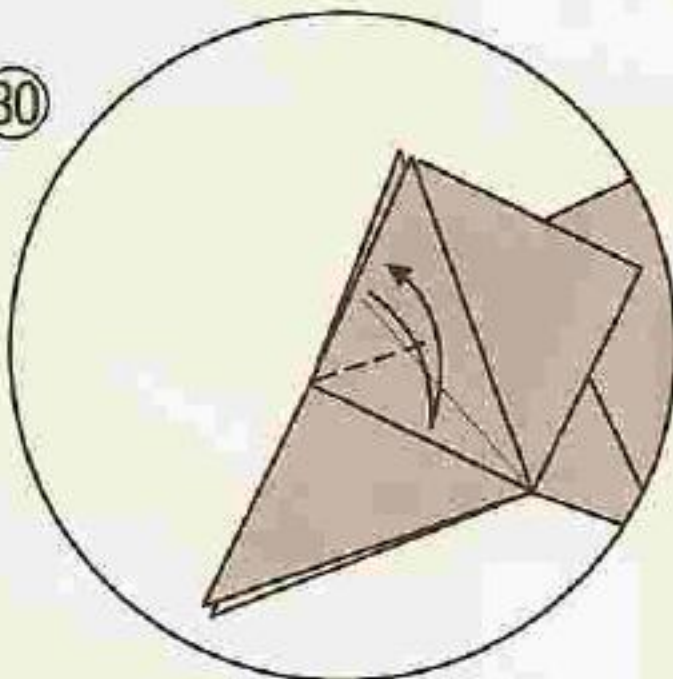


79



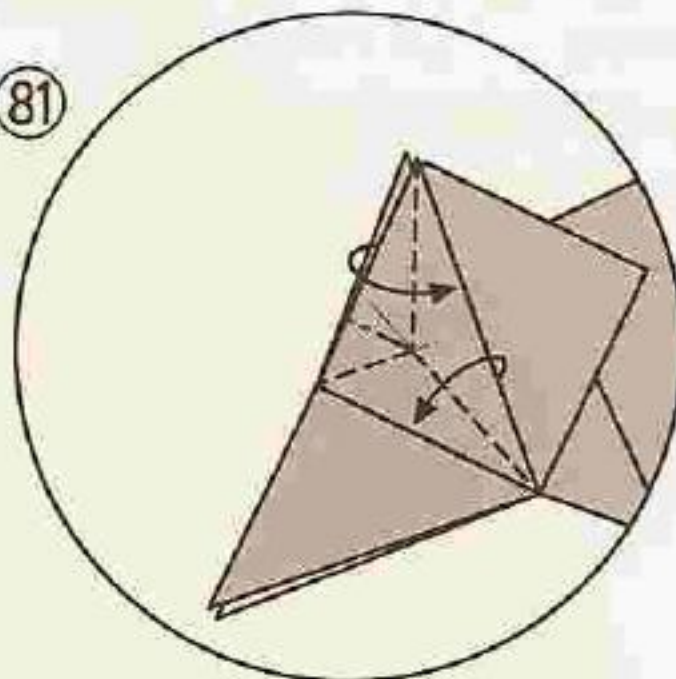
ふちとふちを合わせて
折り筋をつける

80



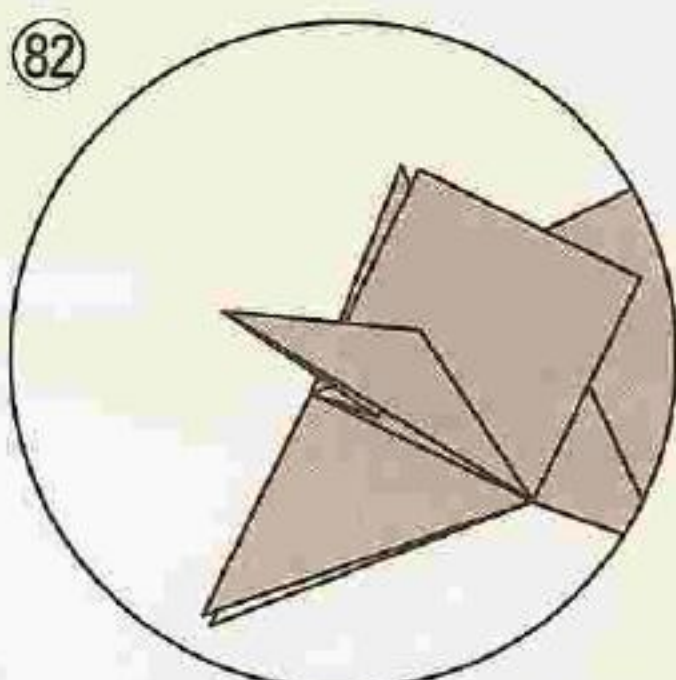
ふちとふちを合わせて
折り筋をつける

81



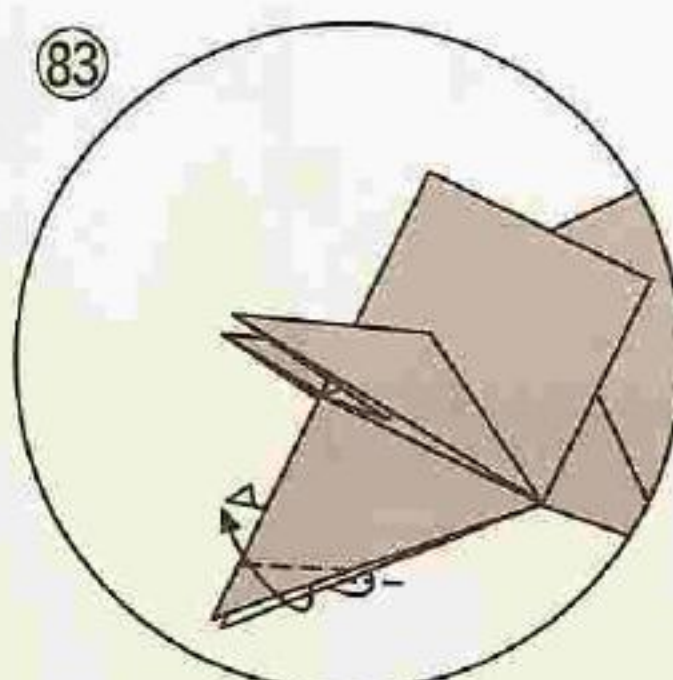
つけた折り筋を使って
カドをつまむように折る

82



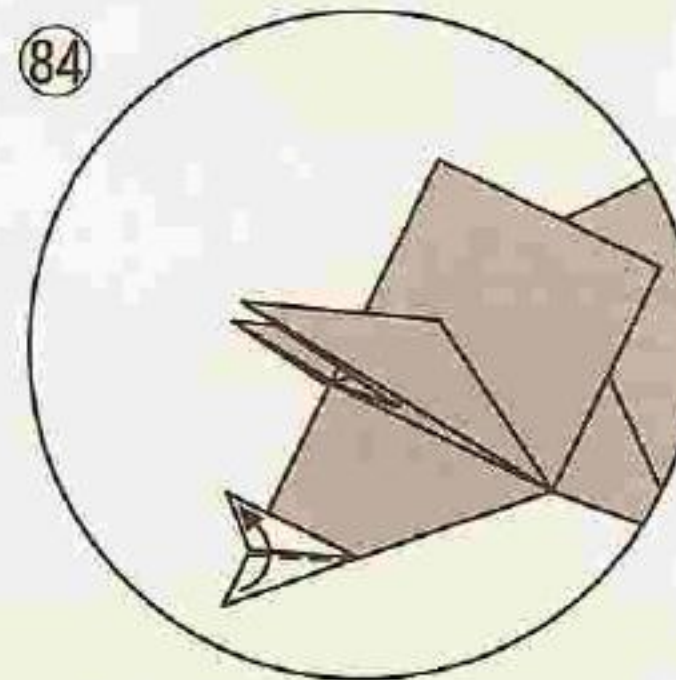
反対側も
同じ

83



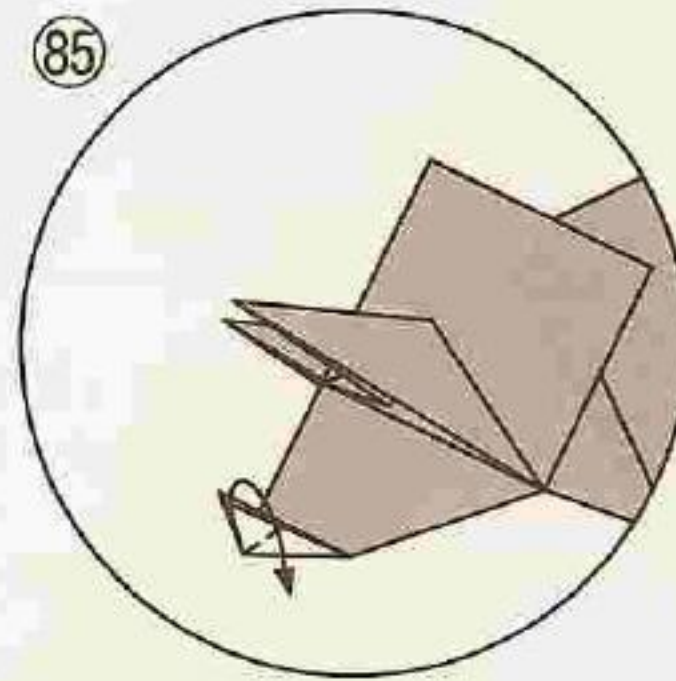
かぶせ折り

84

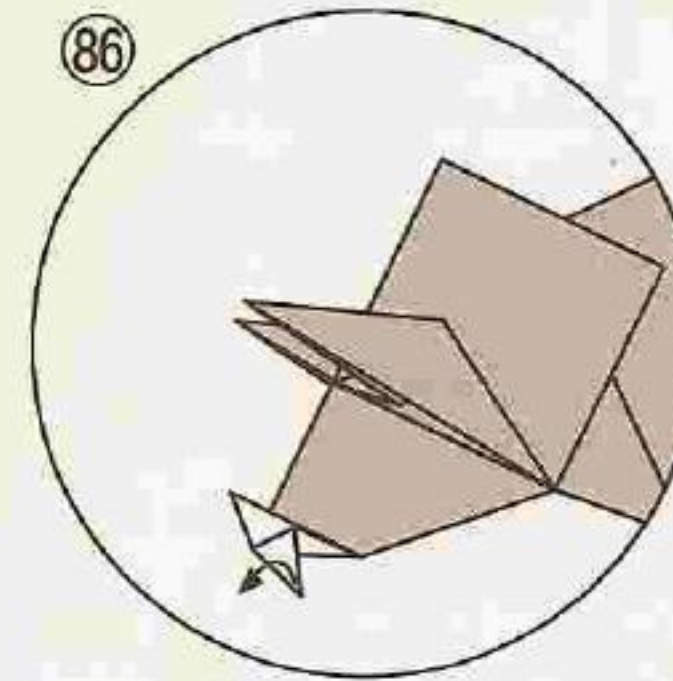


ふちのところから
折る

85

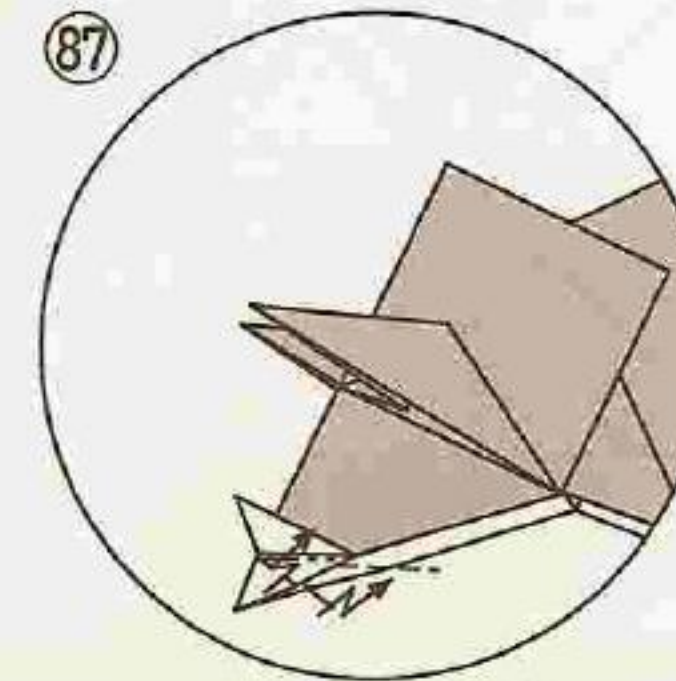


86



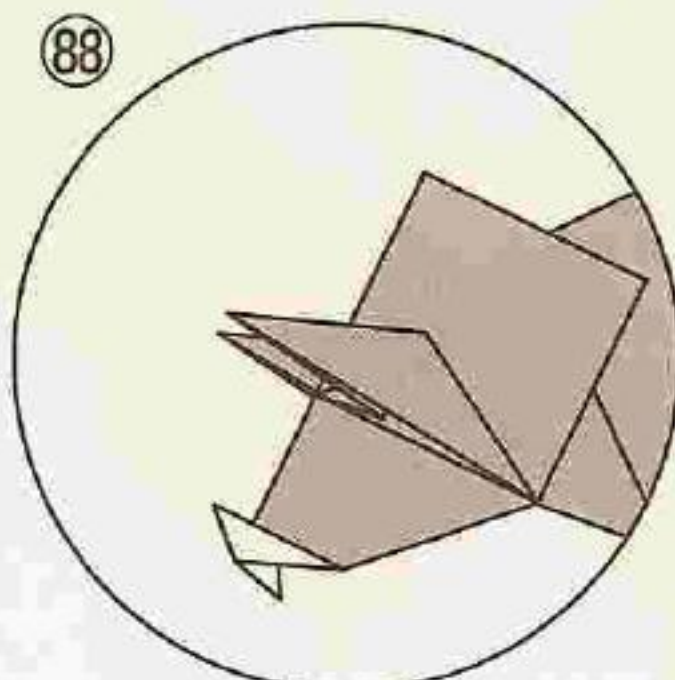
戻す

87

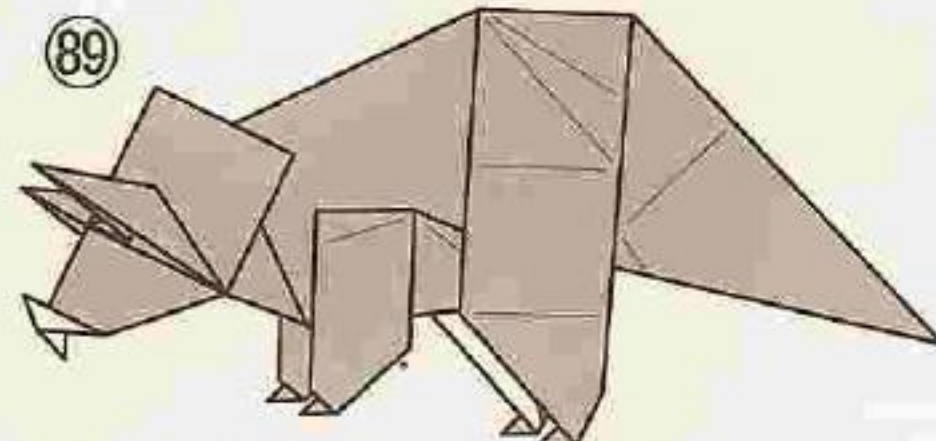


つけた折り筋で
内側に段折り

88



89



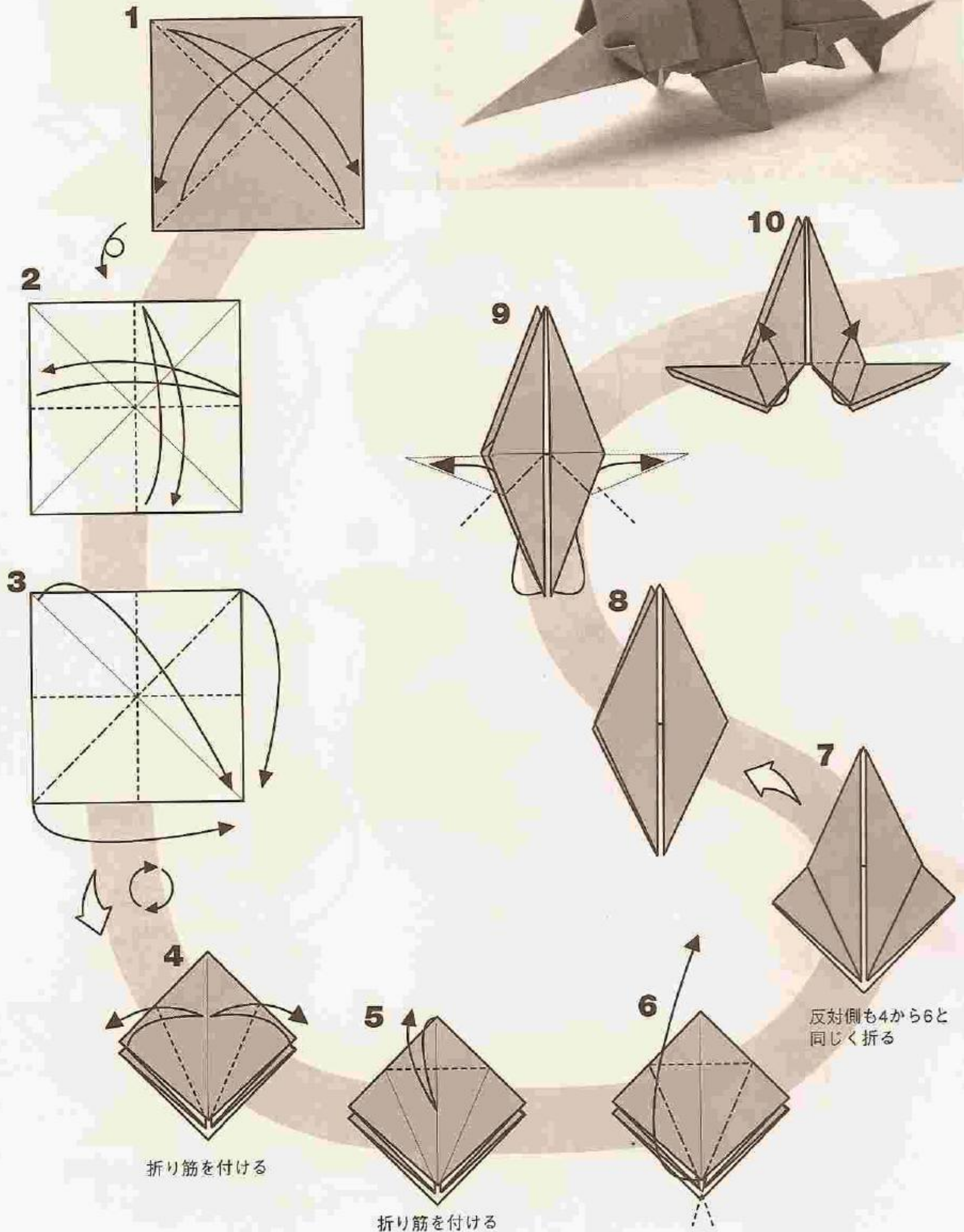
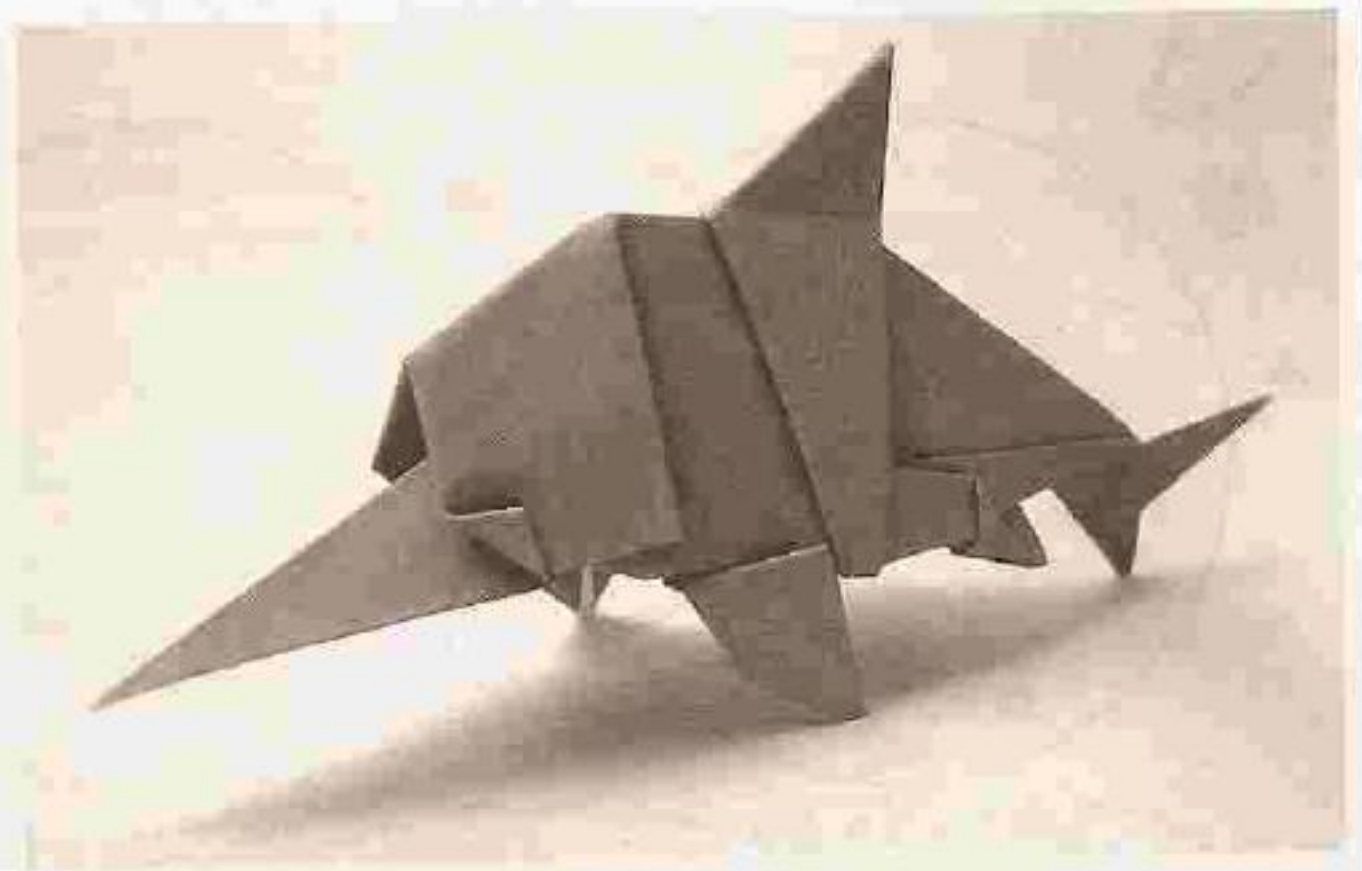
できあがり

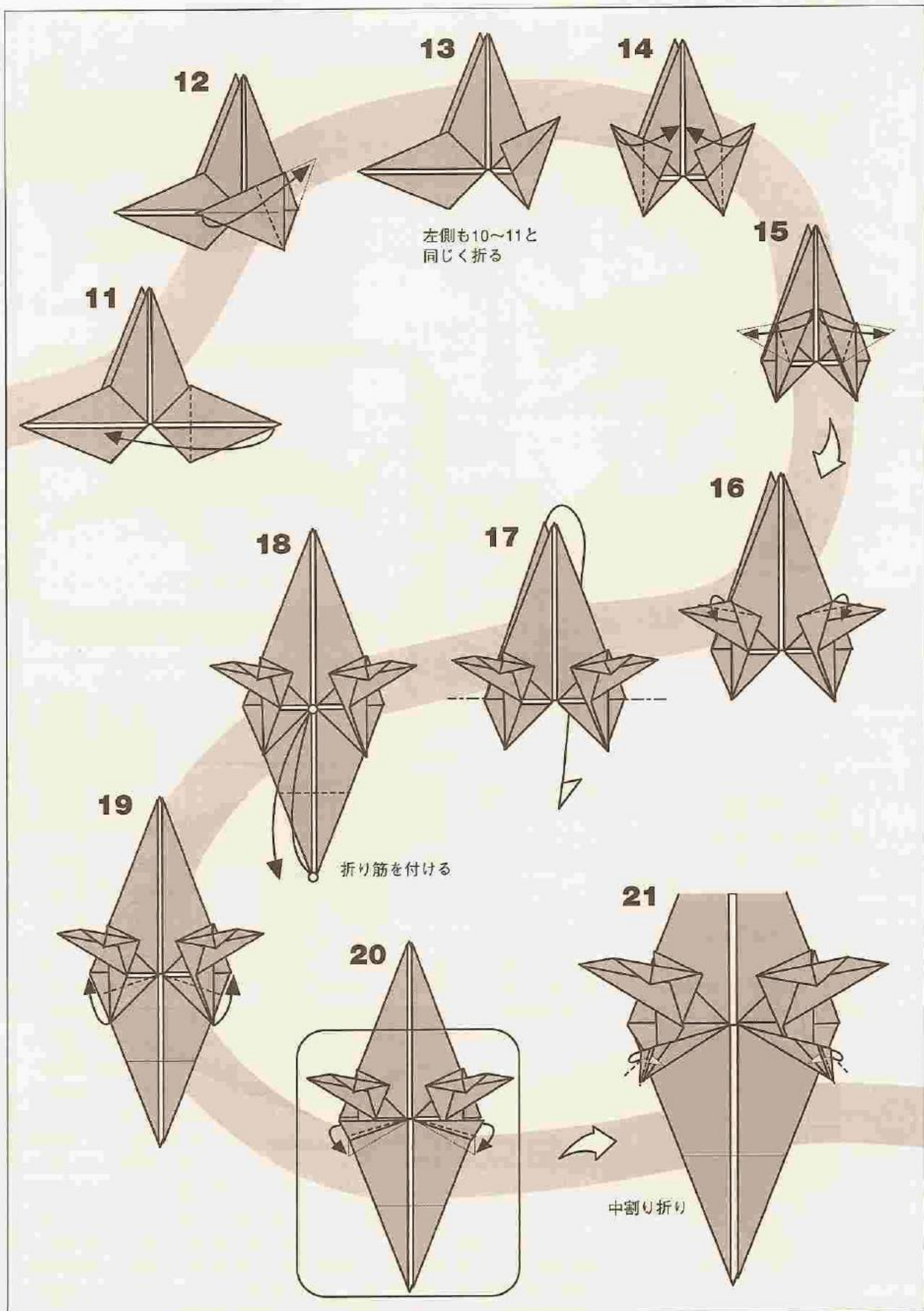
【イクチオサウルス】

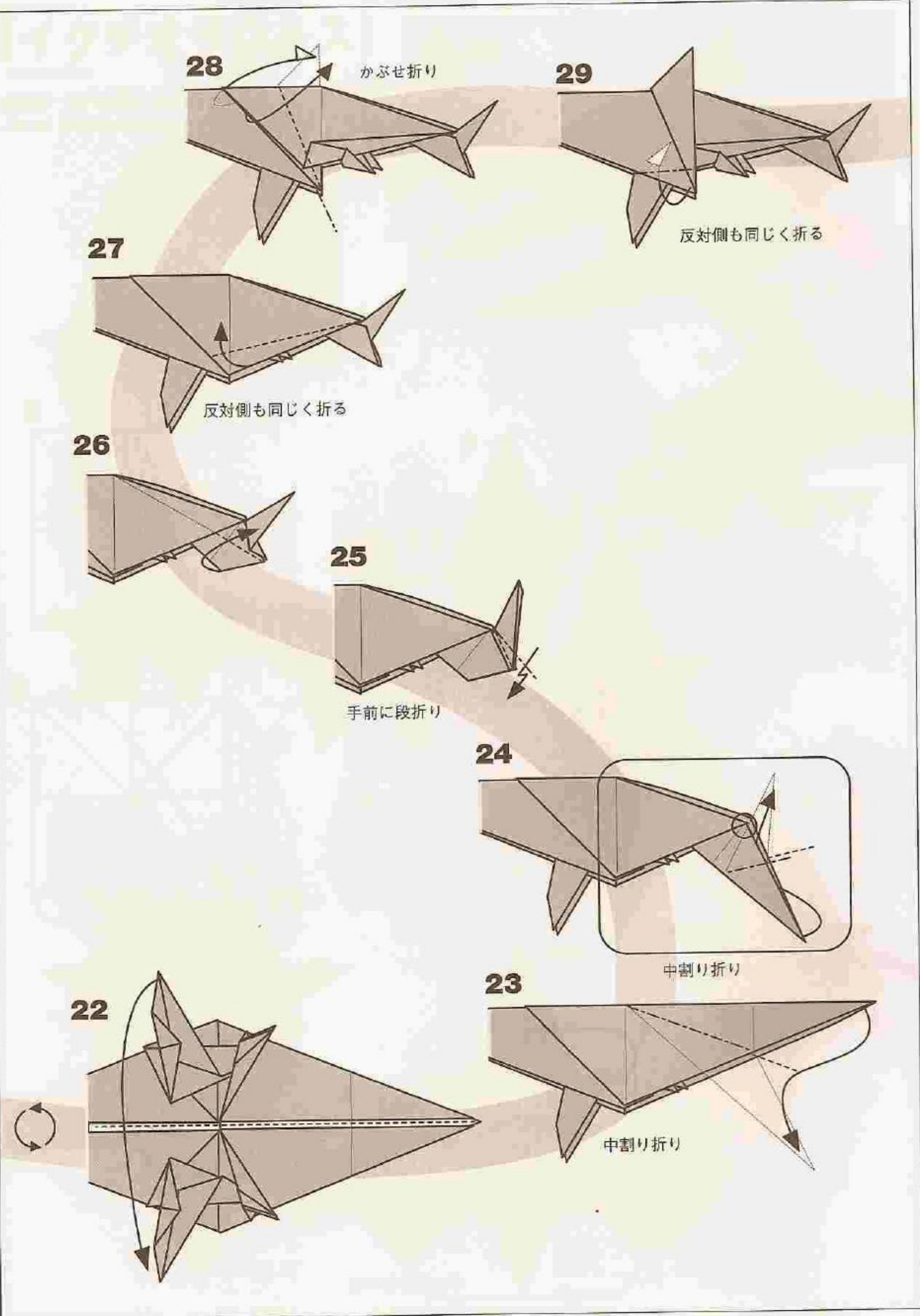
Ichthyosaur

創作・折り図：山田勝久

Model & Diagrams by Yamada Katsuhisa







28

かぶせ折り

29

反対側も同じく折る

27

反対側も同じく折る

26

25

手前に段折り

24

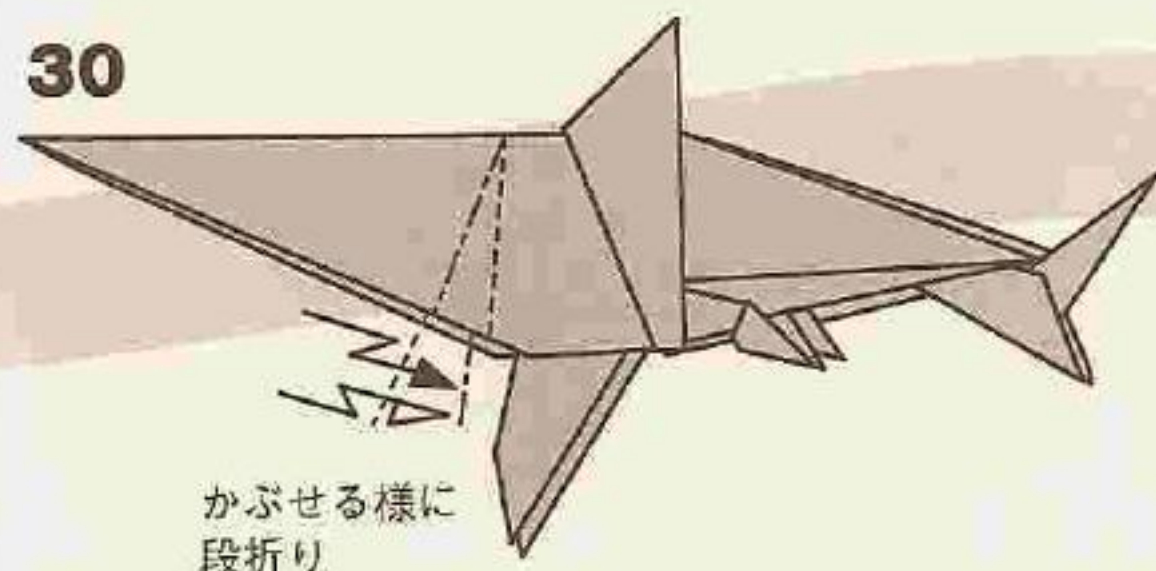
中割り折り

23

中割り折り

22

30

かぶせる様に
段折り

31

中割り折りを
繰り返す様にして
段折り

32

段折り
33まで反対側も
同じく折る

33



形を整える

できあがり



Orisuzi ("Fold-Creases")

Origami as an "Integrated Study" Subject

課題研究「おりがみ」

Isomura Hiroshi

磯村 浩

広島県立安芸高等学校教諭

「68番がよくわからないのですが…」真剣に質問する生徒に対して「うーん分からないな、もう少し苦しんでみたら」なんて度々無責任な返事をしているが、生徒に自主性を身につけさせようとかいう教育的配慮ではない。本当に分からないのだ。しかし生徒は黙々と折り続ける。

課題研究(総合的な学習)でおりがみの指導をするようになったのは昨年からだが、私がおりがみを始めたのは担任をしていたクラスの文化祭企画でおりがみの展示をすることになった時からだ。その時は、鶴を折るのが精一杯だった自分におりがみの指導などとても出来ないと思っていた。しかし図書館で『ビバ!おりがみ』に出会ってからめり込むようになった。この年から

課題研究の授業で生徒に「おりがみ」を選択させるべく取り組みを始めた。

○保護者や教員と話す機会には、なんだかんだとこじつけて文化祭で生徒が折った作品を見せ、集中力が高まったとか、几帳面になったとか、我が国の伝統文化を再認識したとか、あたかも課題研究で「おりがみ」の講座が開講されるのは決まっているかのように話す。

○選択教科の説明の時間には「昆虫」や「恐竜」を持ち歩いて全クラスを回る。

○普段の授業に作品を持っていき「これは一枚の正方形から出来ているのだよ」などと話して、反応のよかった生徒に「おりがみ」を選択するようにそそのかす。等々…。そんなこんなで2年続けて「おりがみ」を開講することが出来たがまだまだ油断することは出来ない。来年度・再来年度の3

年生が「おりがみ」を選択するように、取り組みを続けなければならない。ポケットに昆虫を忍ばせて教室に行き、わざと授業を脱線させて折り紙の話をする。

この時必ず、「高校生にもなって折り紙なんて」という反応をする生徒がいるが、この機を逃さず、昆虫を見せる。「本当に一枚なのか疑わしいな」という反応をした生徒に近づいて「しょうがないなちょっともったいないけど広げてあげよう」と話しかけて、一気に昆虫を広げる(ほんとうにもったいない)。この時に、驚いた生徒や、もったいないという顔をした生徒は絶対に逃がさない。「明日はシマシマのある虎をみせてあげよう」とかなんとか言って一気にとりこんでしまうのだ。

展開図折りに挑戦!

Crease Pattern Challenge

第24回 Sheep

ひつじ

Nishikawa Seiji

西川誠司

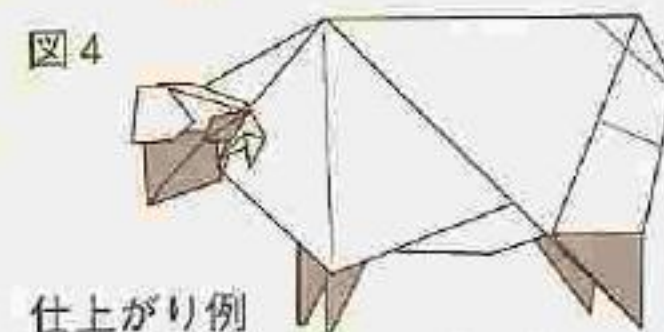
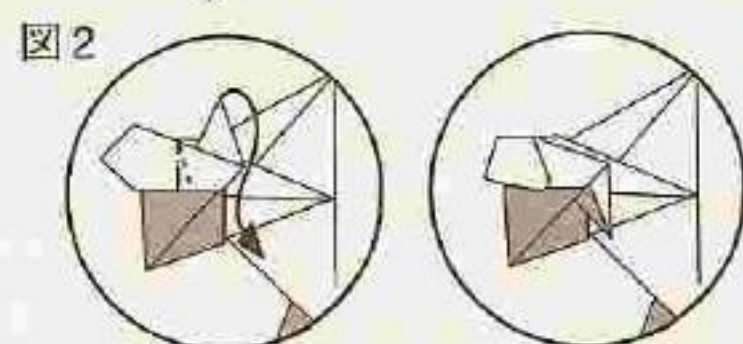
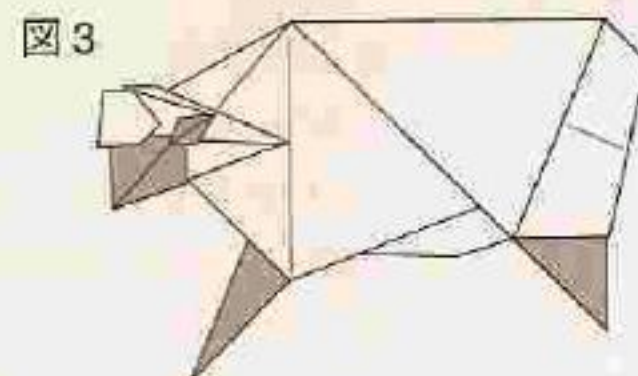
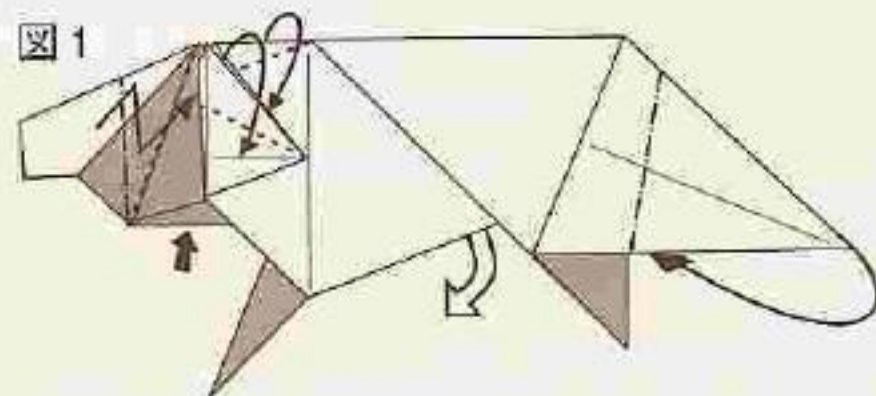
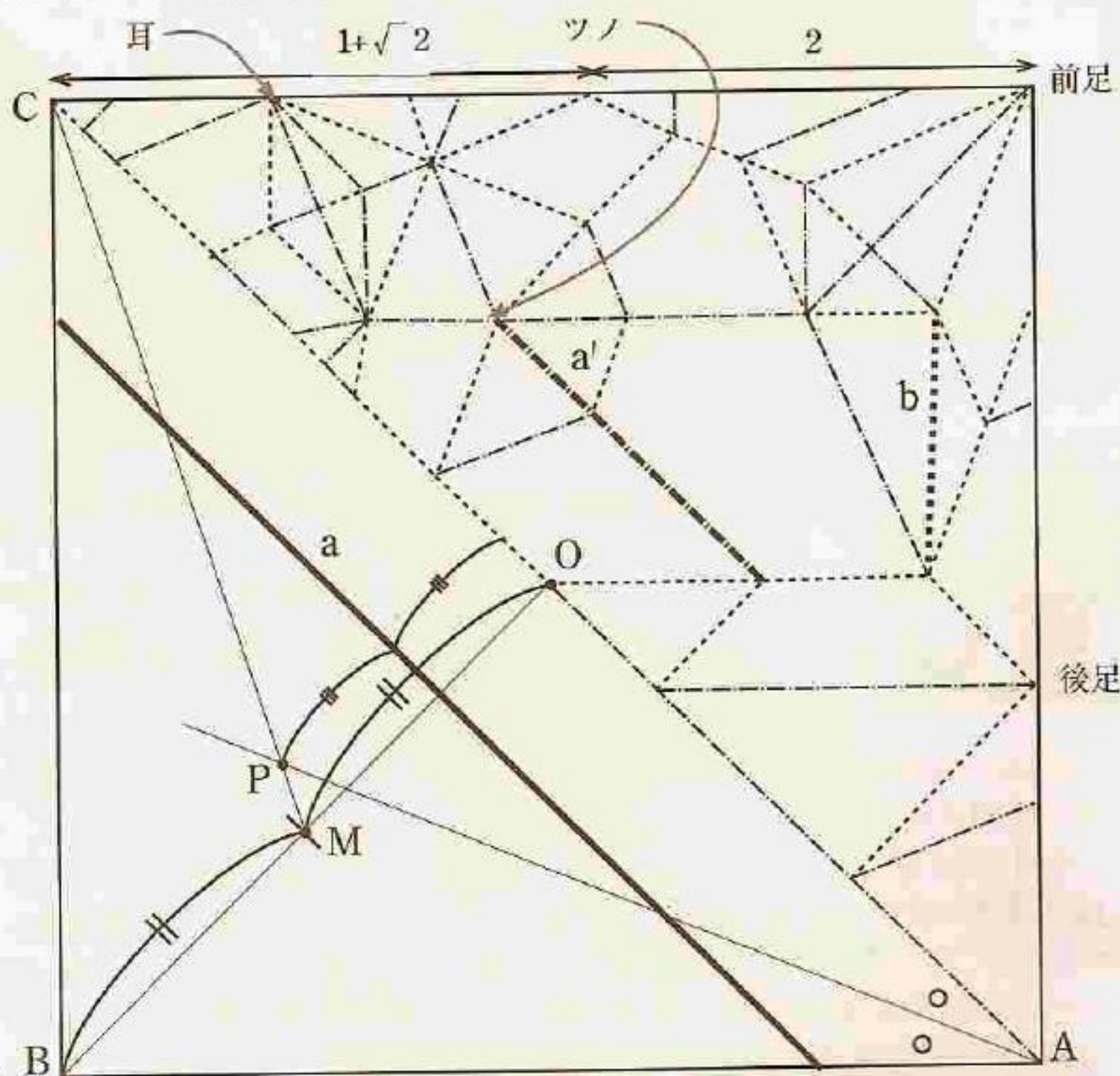


顔 脚と体を紙の表裏で色分けした「ひつじ」です。小松英夫氏が積極的に試されている「内角が22.5度の整数倍の多角形だけで構成された構造で、最終の造形デザインを得る」という、非常にストイックな作品作りに触発されて、出来るだけ頑張ってみました。図1以降は変則的な多角形を許すことになってしまいましたが、ここに示した展開図段階では何とかそれらしい雰囲気は出ているのではないのでしょうか。

展開図は対角線ACに対して対称ですので半分だけを示しました。展開図(太い谷線bを除く)に従って折り畳めば図1となります。折りはじめは、対角線ACと平行な太く示した山線a'を決めるのが良いと思います。この山線の折りだし方を左下半分のところに示しています。点Oは正方形の中心。OBの midpoint Mと頂点Cを結ぶ線CMと∠BACの二等分線の交点Pをもとめ、点Pを対角線ACに重ねながら対角線ACに平行な直線aを折ります。この直線aの一部が展開図上の山線a'に相当します。図1に6つの折りを一度に示しています。展開図通りに折って図1を得ていれば比較的容易に指示の意味はわかると思います。お腹の線を引き出す白抜き矢印は、展開図上では太い谷線bを施すことを考えれば、同時に新たに必要となる他の折り(展開図上には示していませんが)も自然に見つかると思います。図1の指示をすべて行い、図2のように頭部の段折りで生じるカドから耳を作れば図3となります。図では単に67.5度(22.5×3)のカドに表現されている

口先が創作のスタートラインですが、実際に折ってみると少し開き加減になるの

が幸運で、計算以上にひつじ顔を実現させたと思います。



仕上がり例

日本折紙学会(JOAS)

13期報告と14期予定

FROM the Board of JOAS (Summary)

(英訳: 羽鳥公士郎)

第13期会員限定配布冊子

第5回TVチャンピオンの優勝作品掲載カレンダー(提供: 株式会社トーヨー様) / 川畑文昭氏の折り紙フォーミュラー1(仮称) / 目黒俊幸氏の論文



1) 会員・定期購読者

第13期は前期に比べ購読者微減、会員微増で推移しております。インターネットを介しての申し込みが増えているものの購読者を徐々にでも増加に転じさせたいところです。今期末には、学会が関連したテレビ放映も続き、購読者増に繋がればと期待しています。次期につきましてもご購読継続・会員継続していただきますようお願い申し上げます。

13期会員の皆さまへの限定冊子第4号としては川畑文昭氏の折り紙フォーミュラー1(仮称)の折図および目黒俊幸氏の論文、さらに第5回テレビチャンピオンを記念して作られた(株)トーヨー特製のカレンダーをお届けする予定です。楽しみにお待ちしております。

2) 吉野一生基金

「吉野一生基金」には2002年度も多くの皆様のご寄付をいただいております。改めてお礼申し上げます。「吉野一生基金」では昨年8月、フランスからヴァンサン・フロデュレール氏、アメリカからジニー・モズリー氏を第8回折紙探偵団コンベンションに迎えることができました。2003年も既に公募を開始しております。また、日本人の海外渡航助成につきましては、2002年度の応募がございませんでした。随時1-2名の渡航助成を行う計画にしておりますのでご希望の方は事務局まで応募用紙をご請求下さい。

3) 折紙探偵団コンベンション

2002年8月2-4日に第8回折紙探偵団コンベンションを東洋大学で開催いたしました。

た。本大会では、250名以上のご参加をいただきました。2003年は8月22-24日に第9回折紙探偵団コンベンションを同じ東洋大学をお借りして開催することが決定いたしました。

また、折紙探偵団地方コンベンションも例年通り開催の予定です。世話役となつていただいております友の会の皆様にはこの場を借りて心よりお礼申し上げます。

4) その他の事業計画

第13期は著作権問題研究会メンバーの逆瀬川氏により、『折紙探偵団』誌上に叩き台となる考え方をまとめていただきました。今期もガイドライン案の策定に向けて取り組んでいきます。

折紙資料のライブラリー構築を目的として、折紙図書館(仮称)の設立に向けて検討を開始しておりますが、残念ながら今期も具体的な方針を策定するには至りませんでした。

5) 総会・その他

日本折紙学会2002年度の会計報告につきましては、第9回折紙探偵団コンベンション開催期間中に予定しております総会においてご報告いたします。2003年6月30日までに第14期会員に登録いただきました皆様には追って総会のご案内をご送付申し上げます。

14期からのJOAS評議員の新体制についてご報告申し上げます。11期から13期の3カ年は10名(岡村昌夫、川崎敏和、川畑文昭、木村良寿、西川誠司、羽鳥公士郎、布施知子、北條高史、前川淳、山口真)の評議員体制としておりました。2002年8月2

日の第3回総会

で原則留任の方針を既に承認いただいておりますが、布施知子氏よりの作家活動専念のため留任しないとの意向を評議員会として受理いたしました。14期より9名体制で進めて参ります。評議員代表につきましては新評議員の互選により西川誠司の留任となりました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

吉野一生基金海外渡航助成要項

1. 趣旨

・折紙の普及、研究、交流を目的として渡航を希望する者、数名に日本折紙学会が各5万円を助成するものとする。

2. 支援対象者

・日本国籍を有するものおよび日本在住のもの。その他は不問。

3. 応募、選考

・応募に当っては、個人の住所氏名を書いた封筒に返信用の切手を貼付、応募用紙を請求すること。

・応募用紙に記入の上、「日本折紙学会」に郵送のこと。

・選考は一生基金選考委員が行う。

4. 義務

・申請が許諾されたものは報告書を作成すること。報告書は雑誌「折紙探偵団」あるいはその他学会の発行する研究誌等へ掲載される。

吉野一生基金2002年度収支ご報告

残高合計	2,493,126
寄付等入金計	521,000
支出	400,000(海外招待2名)

1) The number of members has slightly increased this year, although that of subscribers has slightly diminished. We expect some gain in subscribers, for we were featured in some TV programs. We would also like to ask your continuous support.

The special edition for our members will be diagrams of KAWAHATA Fumiaki's "Formula One," MEGURO Toshiyuki's article, and a calendar produced by Toyo Inc.

2) We have been receiving generous donations to Yoshino Issei Fund. Thank you very much. We invited Mr. Vincent Floderer from France and Ms. Jeannine Mosely from USA last August. We are also going to invite two persons to the convention this August. Please refer to the previous issue for the details.

3) We held the 8th convention with over 250 participants last August. We are going to have the 9th convention from August 22 through 24, 2003 at Toyo University, Tokyo. We are also going to support some local conventions.

4) Mr. Sakasegawa has joined our research team on the copyright issues. We are also working on the plan to found an origami library.

5) We had the election of our members of board at the annual meeting last August. Nine out of ten current members became candidates and were approved. They are OKAMURA Masao, KAWASAKI Toshikazu, KAWAHATA Fumiaki, KIMURA Yoshihisa, NISHIKAWA Seiji, HATORI Koshiro, HOJYO Takashi, MAEKAWA Jun, and YAMAGUCHI Makoto. They selected Mr. Nishikawa as the president.

Rabbit Ear つまみおり

Information



スタジオで折り上がったゴジラ(西川誠司・作)

復活「私の秘密」に出演

3月2日午後7時20分からのNHK-BS2で、昭和40年代初めにNHKで人気のあったクイズ番組「私の秘密」がテレビ50周年記念特番として復活し、JOASのメンバーが出演した。放送されていた当時は家族で楽しんでもらえる人気番組であった。出演したのは西川誠司、高井弘明、北條高史、宮島登のそうそうたるメンバーに神谷亮(中1)、森末圭(小5)を加えた6名(敬称略)。緊張の中にも皆、余裕さえ感じられた。

私の秘密はご覧いただけましたか? 「私の秘密」は芸能人解答者が、変わった職業や趣味の素人さんの秘密を幾つか質問をするうちに当てていくというものです。その秘密をもった人々として、私たち日本折紙学会をとの話を持ちかけられたのが、昨年末の東京友の会忘年会でのこと。不可解さを強調するために、男性のみで年齢職業にバラエティーをとの制作側の要望からメンバーを選び出演の運びとなりました。

解答者は岡田真澄さん、原日出子さん、山田まりあさん、里見浩太郎さん、中村梅雀さんの5名です。初めはみんなで何かの演奏でもするのかと悩んでいた解答者も、最後に展開図がヒント(私たちから見ると答えそのものですが)に出て里見さんが正解。正解が出た後、何かパフォーマンスを披露してくださいという注文には、大きい紙(3m四方)を使っただけのゴジラの共同製作ということに。これは録画撮りの当日、私と宮島さん、高井さん、森末君が先行してNHK入りして、控えの一室でまず練習を兼ね一体のゴジラを作成し、本番で制作過程を再度撮るので、都合2体折ったわけです。また、クイズですから控え室と収録スタジオの移動には、解答者である芸能人(マネージャーも)と遭遇しないよう通路をわける入念さで、迷路のようなNHK内を皆でぞろぞろと。秘密が成立するのですから私たちの活動はほんとにマイナーなわけですが、放

送を見た全国の人から興味を持つ人が多く現れることを期待しています。(西川誠司)

足が疲れました。解答がなかなかでなかったからだというよりも、やはりゴジラを折ったときの、膝の痛みだと思います。収録時間が長かったせいか、あまり緊張しなかったように思います。学年で話題になり、いろいろと質問されて大変でした。(神谷亮)

あの収録の前後から「自分の作品を作りたい」と思いはじめています。無邪気に試行錯誤しているようにも見えますが、私は大きな変化があったように感じています。彼の向かう先はわかりませんが、折紙学会のメンバーの方々の姿には、亮なりに吸収することが多く、魅力を感じているのだらうと思います。愛好者の方々のボランティア精神が働いていることを思い、亮の小さな力でも何かお役に立つことがあればと願って居ります。(神谷亮君のお母さん)

今回のようなスタジオでの撮影は初めての経験。様々な「秘密」を持った登場者たちが皆、「うちのが一番おもしろいぞ!」というオーラをみなぎらせているのがほほえましかった。これまでに参加した中でも、「折り紙」を比較的良く扱ってもらえた番組となったのではないだろうか。ただ、背広姿に軍手、膝パッドで巨大折り紙とは、予想だにしない展開であったが。全く物怖じしない神谷君と森末君には感服しきり。すでに折紙学会の看板役者、って雰囲気ですね。(北條高史)

何が辛かったって、収録の疲労を引き

ずったまま翌日以降仕事をしたことでした。収録自体は結構楽しかったのですが、撮り直しがきかないので緊張しました。原日出子さん、きれいでした。アシスタントの女性の看護婦姿もよかったです。年輩の人しか見ていなかったようなので、今度は若い人が観る番組に出たいです。(宮島登)

NHKに行くのは、小学生時代(十数年前!)「四つの目」での出演以来でした。あの番組を見た知人から「学会の人は、みんな不切一枚折りにこだわってる」みたいに見えた、といわれました。確かにそうかも…はたして、それっていいことか?(高井弘明)

幸運にも、僕はとても有名な折紙作家や神谷亮さんと共演しテレビ放送に参加できた。幻の名作や、舞台の裏など色々な秘密を知ることができた。「まさに、私の秘密!」約5時間立ちっぱなしで、足はガチガチになったが、本番に強くなれたことなどとてもいい経験だった。放送後、電話やメールが殺到した。(森末圭)

6人の共同作業はとても珍しく、あ・うんの呼吸で、次々とゴジラを折りあげていくシーンはとても感動的でした。あのゴジラは何処へいったのでしょうか?! 貴重な経験をさせていただいたことに感謝いたします。ありがとうございました。(森末圭君のお母さん)



出演した皆さん。Tシャツにはさみ禁止のマークが

◆神谷哲史氏3連覇!!=第5回TVチャンピオン折紙王選手権=

今回で5回目になるTVチャンピオン折紙王選手権、回を重ねるごとにバラエティー化していく気がしないでもない。特に今回はアメリカから大道芸のジェレミー・シェイファー氏(第2回吉野一生基金招待者)を招き、熱戦が繰り広げられた。他の参加者は、ディフェンディングチャンピオンの神谷哲史氏、中井努氏、田中将司氏、安西真氏の皆さん。テレビには映らなかったエピソードや実際の順番などを含めたレポートをお届けしよう。

過去にはJOASの現代表である西川誠司氏、評議員の北條高史氏がチャンピオンに輝いたが、過酷な戦いのためかディフェンディングチャンピオンとして出場はなかった。今回優勝した神谷哲史氏には折り紙のプロを目指すといった大きな目標があり、誰の挑戦でも受ける覚悟はできているようであった。そんな自分に向けたプレッシャーがある中で見事3連覇を果たした。(以下敬称略)

第1ラウンド インサイドアウト変身アクション オリガミ

第1ラウンドは時間内で、インサイドアウトの変身する折り紙作品を作る。与えられた時間は2時間。

高校生で果敢に挑戦してきた安西真は30分ほどで作品を折りあげてしまった。時間をもてあました安西「もう一つ作ろうかな」などつつぶやいていた。前回出場した木下剛にどこかキャラが似ている。少々目立ちたがりやか、作品を作るときもヘヤードライヤーなど使って動きをアピールしていた。そんな安西が折りあげたものは、コアラがタマちゃんに変身するといった作品で、話題性がある狙いはよかったのだが、今回は残念ながら第1ラウンドでリタイア。他の3人は時間が足りないとつつぶやきながら制限時間の2時間を目一杯使って折っていた。

4コマ漫画家田中将司が折ったものはカバが変身して馬と鹿になるという「そんなカバな」。4コマ漫画家として落ちを考えた作品だった。

「曲面が好きなんです」という最年長の中井努が折った作品は貝が折り鶴に変わるもの。貝を開くと手がありその手には四角い紙があるように見え、それを裏返すと折り鶴になるといった作品。多少無理があるがあるように思われたがなかなかの力作。曲面が好きな中井は、司会者からこのラウンド中曲面フェチの中井といわれていた。

海外からの参加は今回が初めてである。挑戦するのは吉野一生基金で招待されたことのあるジェレミー・シェイファー。大道芸師の彼は、折っている最中にもいろいろなパフォーマンスを披露。すごかったのは、さかんに「オリガミ・命!」と言って、体を使った

日本のギャグを連発していたことだ。

現在2連勝中の神谷哲史はさすがに落ち着いたもので風格さえ感じられた。

壮絶な戦い第2ラウンド これでもオリガミなのか!

勝ち 抜けした中井、ジェレミー、田中、神谷の4人は第2ラウンドに進み陸、空、海とそれぞれのパートで生きものを折る。折ったものを10人の幼稚園児の中から自分が選んだ1人の園児に当ててもらい、不正解のときにはスタートからやり直しというもの。実はこの第2ラウンドはハプニングの連続で、折り紙としてではなく、ある意味でいちばん盛り上がりを見せた戦いであった。

まず、戦いが始まる前に全員がウエットスーツを着せられた。ここで第1のハプニング。そのとき田中が間違えて後ろ前に着てしまった。しばらくして気がついた田中だが、着替える場所もなく、不自由な動きを我慢して戦い続ける羽目になった。

はじめは陸の動物の目隠し折り。手を箱の中に入れて折り、折り上がった作品を10人の園児の中から1人の子を指名して何を折ったか当ててもらうゲーム。

各人、お題の入った封筒を手にする。いちばん速く折った(?)のはジェレミー。すかさず園児の元へ、1人の園児を指名する。司会者の「何に見えますか。」に園児「リス」。司会者「セイカーイ」。ジェレミーが1抜け。司会者「〇ちゃんどうして分かったの?」。園児「茶色かったからー。」ほとんど動物の形をなしていなかったのだが、選んだ動物と園児がよかった。逆に運が悪かったのは中井。選んだお題はパンダ。これはいけると思ったのか自信満々。しかし、中井が指名した園児は「分からな



戦ったメンバー。左からジェレミー、神谷、安西(合成写真)中井、田中

第2ラウンドは体力勝負。スタートする4人



い。」ということで、はじめからやり直し。実はこの場面、指名された園児はパンダだと思ったそうだが、残念なことに司会者の梶原しげるの「さて!〇ちゃん、この陸の動物は何でしょう」と問う言葉の中で、「陸」という言葉の意味が分からず、混乱してしまったようだ。結局中井は最下位になって、ジェレミーと中井の間には14分14秒の差がついてしまった。(この部分編集されて放映されなかった。)他は神谷が2位、田中が3位で抜けた。

次に待っていたのは空の生きもの。上からつるした紙を円筒の踏み台にのって手を上にかざしながら折るといった過酷な競技。

ここで悪戦苦闘したのは陸を1抜けしたジェレミーであった。仕上がりの形を無視(?)した折り方で1抜けした彼は、ここでも同じようにさっと折って園児の元へ。だがここでは「分からない」の連続で、中井との時間差が40秒まで詰まってしまった。ここは田中が逆転1抜け。神谷は踏み台から落ちるということもあったが、まず順調に2位で抜けた。3位ジェレミー、中井は40秒差まで詰めたが依然として最下位。

最後は海。この戦いのために身に着けたウエットスーツ。2人が十分に入れる大きさの水槽に、重りをつけて水中に沈み、お題の作品を折るといった競技。

空を1抜けした田中は、いち早く水槽にたどり着いたが、初体験のシュノーケルとゴーグル。装着する要領が分からず、水中に入っても水を飲んだりし、ゴーグルの中に水が入ったりして、すぐ上がったり、まるで溺れているようだった。(この場面は見るに耐えない悲惨な状況だったので編集されたのだろう。)次に入ってきたのは神谷、うまくぐりぬけて1抜け。(放映されたのはギリギリで抜けていくチャンピオンの姿になっていた。)3番目に入ってきたジェレミーは重りが体に合わない。あわてた彼は靴(おニューの靴であった)を履いたまま水中に。それでも何とか折る。続いてやってきたのはジェレミーとの時間差を縮め、期待を持たせた中井。眼鏡をしたま

まの彼はゴグルから入ってくる水に悩まされて苦戦を強いられる。(海では中井が1番先に着いたように放映された。)残念ながら陸での時間差が尾を引き、中井は第2ラウンドでリタイアとなった。

いよいよ決勝ラウンド 12時間折り耐久レース

決勝 ラウンドは勝ち残ったジェレミー、田中、神谷の3人に絞られ、12時間折り続けるという過酷な耐久レースが待っていた。

決勝は当然、定番のジオラマだ。しかし、今回は折り紙メーカーのトーヨーから4枚綴りのカレンダーを作りたいので、そのための折り紙作品が欲しいという依頼があった。そこで各選手には4つのジオラマを作ってもらった。

今回の戦いの中でいちばん折り紙の表現ができ、自分をアピールすることができるラウンドだ。

ジェレミーはユニットで正四面体を作り、その4面にアメリカの4つの土地の四季を表すジオラマを作った。ティッシュホイルで作るインサイドアウトを駆使した作品は、彼の得意中の技。しかし、彼に大きな誤算が生じた。そ

れは彼にとって馴染みの薄い正四面体のユニット作品を作るのに3時間も費やしてしまったことだ。それでも気を取り直し折り続けていた。アイデアが先行する彼のジオラマには多少仕上げに荒っぽさが残っていた。

田中は作品テーマでは神谷とかぶってしまった部分があったが、4コマ漫画家ということで4コマでの表現には自信がある。起承転結を考えた4つのジオラマ。それは鶴の進化を表現した「鶴の惑星」。恐竜にたとえた鶴があり、最後は人にたとえた鶴がありと作品群はほとんどが鶴。鶴の基本形の背中に鶴の基本形といった具合に、さすが鶴リストと公言する田中だ。最後の場面では人にたとえた鶴星人が階段から落ちるといったオチがあった。(落ちになっていたかどうかは分からないが……階段は13あった。)

終始緊張気味だった鶴リスト田中。心配顔で覗く審査員の山口



神谷は同じように生きものの進化ということを表すジオラマを作った。アノマロカリスが入ったお正月の重箱。ダニクルオステウスの鯉のぼり。恐竜の親子のお月見。マンモスが引くそりに乗ったサンタクロース。折られた生きものの名前は分からない人が多かったが、このためだけに全てを新しく創作した努力。卓越した折りの技術と繊細さはいちばん多く



さすが会場慣れたチャンピオン。司会者の受け答えも堂々としたもの

の票を得ていた。

ということでTVチャンピオン3連覇なる。



▲チャンピオンを
たたえる2人



決勝の会場には歴代チャンピオンの西川誠司氏(左)、北條高史氏(中)が応援に。右は「決勝に出なかったなー」とつぶやく中井努氏

◆前川淳 折り鶴コレクション展 おりがみはうすで 4月15日からしばらく

本誌「折紙散歩」でお馴染みの、前川淳氏が集めた折り鶴グッズ。こんなもんだと侮ると思わず唖ってしまうような貴重品、珍品の数々を一般公開する。中でも重さ30キロを超える折り鶴グッズ。一体なんでしょう、それは見てからの楽しみ。
●時間10時～6時。●日曜祭日休業。

折紙探偵団ホームページ
<http://www.origami.gr.jp/>
団員パスワード/Pyramid(大文字・小文字別)
関西友の会ホームページ
<http://kobe.cool.ne.jp/tatekoo/>

折紙探偵団

2003年3月25日発行 第13巻6号通巻78号
発行所/日本折紙学会
〒113-0001
東京都文京区白山1-33-8-216
Phone & Fax / 03-5684-6080

発行人/西川誠司
編集人/山口 真
編集スタッフ/松浦英子
デザイン/おりがみはうす
翻訳/立石浩一
発売元/おりがみはうす

●本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

定価 600 円



正四面体はカドが下に来るように
面が上になるように展示された



東京友の会

- 会場=文京シビックセンター
参加費=300円(中学生以下100円)/講習会=14:00~/研究会=16:00~
- 4月5日(土) BIF生涯学習センター学習室/講師:川村みゆき 作品:未定
- 5月3日(土) BIF生涯学習センター学習室/講師:未定 作品:未定

静岡友の会

- 5月は関西コンベンションのためお休み。
- 7月6日(日)/参加費=500円/時間=10:30~12:00/会場=増武ビル/お問い合わせは16~20時) 054-254-4541(増武内 山口)へ。

関西友の会

- 会場=長岡京産業文化会館
- 6月14日(日) 14:00~17:00参加費=500円
- 17:00から懇親会/参加費=5,000円程度

■ORIGAMITANTEIDAN / No.78 / Published on 25, Mar. 2003 by Japan Origami Academic Society, 1-33-8-216
Hakusan Bunkyo-ku 113-0001 Tokyo JAPAN / Cover Photo: "Hexagonal Boxes with Another Angle" Produced
by Fuse Tomoko / Photographed by Sato Hitoshi / Publisher: Nishikawa Seiji / Editor in Chief: Yamaguchi
Makoto / Editor: Matsuura Eiko / Editorial Design: ORIGAMI HOUSE / Translator: Tateishi Koichi

I♥ORIGAMI おりがみはうす商品案内

※このページの商品の取扱いはすべて おりがみはうす です。折紙探偵団の口座とは別になります。
※「おりがみドルハウス」以外の書籍は、一般書店で取り扱っておりませんのでご注意ください。

第8回折紙探偵団 コンベンション 折り図集VOL.8

神谷哲史氏「シャチ」、小松英夫氏「トラ」、Robert J. Lang氏の「さそり」等のコンプレックス作品や、川村みゆき氏「セレス」等のユニット作品も充実。45作品収録。

B5判/256ページ/定価：2,000円(税込)/送料：420円(梱包込)

第7回折紙探偵団 コンベンション 折り図集VOL.7

B5判/256ページ/国内・外の創作家の51作品を収録。定価：2,000円(税込)/送料：420円(梱包込)

※第6回以前の折り図集は全て絶版です。ご注意ください。

折り紙色紙百花 (しきしひゃくか) 田中具子 著

女性に大人気! 色紙折り紙のバイブル

B5判/全120ページ/カラー口絵8ページ/31作品収録
定価：2,500円(税込)/送料：390円(梱包込)

面～The Mask～ 布施知子 著

作者がユニット折り紙に出会う前の、面ばかりを集めた作品集
B5判/全200ページ/全27作品カラー写真紹介
定価：3,300円(税込)/送料：460円(梱包込)

折紙図鑑「昆虫II」 川畑文昭・西川誠司 共著 山口 真 編

B5判/全200ページ/カラー口絵4ページ/17作品収録
定価：3,100円(税込)/送料：460円(梱包込)

一生スーパーコンプレックスおりがみ

B5判/全200ページ/カラー口絵8ページ 吉野一生 著
トリケラトプス全身骨格を含む14作品収録
定価：2,900円(税込)/送料：460円(梱包込)

折るころ 再入荷 岡村昌夫 構成・執筆

A4判/全108ページ/フルカラー48ページ
定価：1,400円(税込)/送料：420円(梱包込)
折紙の貴重な歴史的資料満載の一冊

たのしいおりがみドルハウス 山口 真 著

ナツメ社刊 A5判/全312ページ/カラー口絵16ページ
/定価：1,260円(税込)/送料：420円(梱包込)
書店でも好評発売中：ISBN4-8163-3082-8

『折紙探偵団』専用ファイル

変形B5判/箔押しロゴ入/定価：750円(税込)/送料：250円(梱包込)/雑誌「折紙探偵団」1年分(6冊)収録可能

只今制作中 まだまだ制作中。気長に待っていて下さい。

西川誠司作品集/西川誠司 著・西川折り紙の集大成

折紙図鑑「昆虫II」/ロバート・J. ラング著

折紙図鑑「犬」/佐野康博・著 犬折り紙第一人者の作品集



ギャラリー おりがみはうす

〒113-0001 東京都文京区白山1-33-8-216

TEL:(03) 5684-6040 FAX:(03) 5684-6080

E-mail: origamih@remus.dti.ne.jp

四季の千代紙 30cm判 TOYOから発売中の「四季の千代紙」大判サイズ

※上質紙にカラー印刷したおりがみです。和紙ではありません。

四季をテーマにしたかわいい柄のおりがみです。モチーフが細かいのも魅力。75号のP.20、P.21の背景に春・秋・冬の模様を原寸で掲載。一般のおりがみ用紙より若干厚手。

30cm×30cm/20枚入(4柄×5枚)/定価：450円(税込)
送料：1セット(ロールにして発送)=240円, 1セット(梱包ケースに入れて発送)=490円, 2～3セット(梱包ケースに入れて発送)=680円

みながおられるDVD 暮らしの折り紙 山口 真 監修

人気の実用折り紙の折り方を、実写の動画でわかりやすく説明。

●テーブルウェア編/12作品 ●ギフト編/11作品

●季節のインテリア・雑貨編/12作品

定価：2500円(税込)/送料：1本=320円, 2～3本=470円

おりがみDVD ママとおりがみ 山口 真 監修

簡単でかわいい作品の折り方を実写の動画でわかりやすく説明。折り図が読めなくてもこれなら折れる?! 1本 各120分。

●りくのだうぶつ/8作品 ●みずべのだうぶつ/12作品 ●もりのとり・むし・はな/11作品

定価：2100円(税込)/送料：1本=320円, 2～3本=470円

たのしいおりがみドルハウス専用 おうち用クラフト用紙

張りがあって折りやすい、筋入りクラフト紙です。片面にそれぞれの色を印刷(裏面は黒色)。おりがみはうすオリジナル商品。

15cm×15cm/単色50枚入/定価：250円(税込)/色

赤・紺・緑・茶・こげ茶/送料：4～6セット=390円, 7～9セット

=580円, 10～12セット=700円 ※4セット以上で申込みお願いします。

恐竜柄おりがみ

70kgコルギーの表面に細かい恐竜模様をこげ茶色で印刷。

35cm×35cm/10枚入/定価：1,000円(税込)/

送料：1セット=200円, 2セット=270円

恐竜柄おりがみ折り図つきセット 3種類から選べます。

定価：各1,200円(税込) ※送料は恐竜柄おりがみと同様

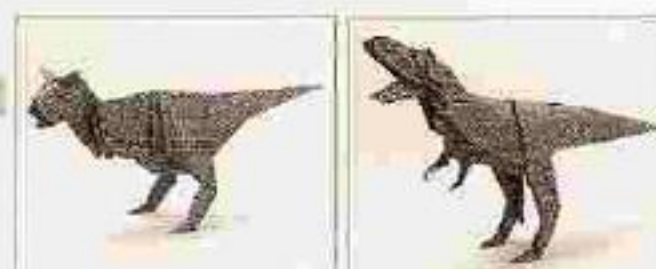
1. ドラゴン(北條高史作)

2. ティラノサウルス New!

(神谷哲史作)

3. カルノタウルス New!

(神谷哲史作)



カルノタウルス

ティラノサウルス

商品の申し込み方法

先に郵便振替か現金書留で料金(商品価格+送料)をお送り下さい。入金を確認後、商品を発送させていただきます。ご希望の商品名と連絡先の記入(郵便振替の場合は振替用紙の「通信欄」に記入)をお忘れのない様お願いします。

郵便振替番号 00120-9-715400

加入者名 おりがみはうす

※折紙探偵団の購読申込みとは別の口座です。くれぐれもご注意ください

※郵便振替用紙は郵便局備え付けのものをご利用ください。

※現金書留の場合は左記の住所へお送りください。

※商品のお届けは通常、送金から約1週間～10日です。(お盆・年末年始等を除く)

※書籍は冊子小包で発送している為、本とそれ以外の商品(ファイル・紙)を同時にご注文の場合、基本的に送料は別々に頂いております。ご了承ください。

TVチャンピオン 『折り紙王選手権』 特製カレンダープレゼント

テレビ東京系で平成15年3月13日放送の
「TVチャンピオン」の『折り紙王選手権』で
見事優勝しました、神谷哲史氏の作品カレンダーを

抽選で
20名様
プレゼント



【応募方法】
官製はがきに、住所、氏名、年齢、性別、
電話番号、ご職業を明記の上、郵送にて
ご応募ください。
【当選発表・発送】
厳正な抽選の上、商品の発送をもって
代えさせていただきます。

【応募締切】
平成15年4月19日(土) 当日消印有効
【応募先】
〒120-0022
東京都足立区柳原1-35-4
株式会社トーヨー「カレンダープレゼント係」

 **株式会社トーヨー**
ホームページ <http://www.kidstoyo.co.jp>

●写真は印刷ですので実際の商品とは色は違う場合があります。 ※内容・デザインは一部変更になることがあります。
本 社 〒120-0022 東京都足立区柳原1-35-4 TEL03-3882-8161
大阪支店/名古屋営業所/福岡営業所/札幌出張所/松山出張所

非売品